

※「取組状況」欄 ○: 継続して取り組んでいるもの
 △: 実施に向けて検討しているもの
 □: 事業を完了したものの

【環境政策局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	地球温暖化対策条例及び地球温暖化対策計画の推進	平成22年10月に全部改正した「京都市地球温暖化対策条例」及び平成23年3月に策定した「京都市地球温暖化対策計画<2011～2020>」を推進し、計画の戦略プロジェクトの1つとして掲げている「『歩くまち・京都』総合交通戦略」の推進により、自動車から公共交通機関への利用の転換を図る。	条例及び計画の推進	条例及び計画の推進 条例見直しに向けた検討	条例及び計画の推進 計画改定	条例及び計画の推進	条例及び計画の推進	まちづくり計画等策定	○	
			実績							
			「京都市地球温暖化対策計画<2011～2020>」の配布	・「京都市地球温暖化対策計画<2011～2020>」の強化・見直しの検討 ・市民しんぶん各区版への挟み込み「エコな暮らしで安心・快適!」の中で公共交通の優先利用について啓発	・「京都市地球温暖化対策計画<2011～2020>」の強化・見直しの検討(9月末時点) ・市民しんぶん各区版への挟み込み「暮らしをエコに」の中で公共交通の優先利用について啓発					
2	「DO YOU KYOTO?デー」等による「ノーマイカーデー」の周知	京都市「DO YOU KYOTO?」大使等の協力のもと、「DO YOU KYOTO?」を合言葉とする環境にやさしい取組の普及啓発を行うとともに、企業・学校・団体等に対して、毎月16日の「DO YOU KYOTO?デー」等の機会を通じて、「ノーマイカーデー(通勤などでマイカーを使わない日)」の取組を呼び掛け、公共交通機関の利用を促進する。	ノーマイカーデーの取組の推進	ノーマイカーデーの取組の推進	ノーマイカーデーの取組の推進	ノーマイカーデーの取組の推進	ノーマイカーデーの取組の推進	公共交通機関への転換、職員等利用、広報・PR	○	
			実績							
			・市区庁舎における啓発放送の実施 ・市バス リア部への標語広告の掲出(40台)	・市区庁舎における啓発放送の実施 ・ラッピング市バス、嵐電ラッピングトレイン、ラッピング京都バスの運行	・市区庁舎における啓発放送の実施 ・ラッピング市バス、ラッピング京都バス、嵐電ラッピングトレイン、ラッピング京都バスの運行					
3	友・遊・美化バスポート事業	市内の観光地や繁華街を散策しながら清掃活動を実施する。集合場所を地下鉄駅、バス停に設定し、月2～3回(年間約25回)実施予定。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			参加者数 1,294人	参加者数 1,507人	参加者数 (9月末) 384人					
4	世界の京都・まちの美化市民総行動	市民、事業者及び行政の協働により、門掃き、ごみのポイ捨て禁止、ごみの持帰り等の呼び掛け、不法投棄、放置自転車、違法広告物等のまちの美観を損なうものの一掃に向けた美化活動を実施する。	「京都・まち美化大作戦」の実施(6月1日、京都駅烏丸口周辺、11月2日、京都市役所前広場)	取組の推進(5月31日、京都駅烏丸口周辺及び八条口周辺、11月1日、京都市役所前広場)	取組の推進(6月4日、京都駅烏丸口周辺及び八条口周辺、11月6日、京都市役所前広場)	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			参加者数 6月:328人 11月:3580人	参加者数 5月:335人 11月:3,777人	参加者数 6月:386人					
5	KYOTO地球環境の殿堂・京都環境文化学術フォーラムの開催	「京都議定書」誕生の地・国立京都国際会館において、地球環境の保全に著しく貢献した方を顕彰し、その功績を永く後世にたたえる「KYOTO地球環境の殿堂」を運営するとともに、殿堂入り者表彰式と併せて自然との共生や持続可能な社会を形成するための、新たな価値観や経済・社会の仕組みを国内外に向けて発信する「京都環境文化学術フォーラム」を開催する。	KYOTO地球環境の殿堂・京都環境文化学術フォーラムの開催(12月及び2月)	KYOTO地球環境の殿堂・京都環境文化学術フォーラムの開催(12月及び2月)	KYOTO地球環境の殿堂・京都環境文化学術フォーラムの開催(12月及び2月)	KYOTO地球環境の殿堂・京都環境文化学術フォーラムの開催	KYOTO地球環境の殿堂・京都環境文化学術フォーラムの開催	イベント	○	
			実績							
			・フォーラム参加者数1,130人(12月130人、2月1,000人) ・チラシ1万枚及びポスター200枚作成	・フォーラム参加者数1,112人(12月112人、2月1,000人) ・チラシ1万枚及びポスター200枚作成	・フォーラム参加者数1,130人(12月110人、2月1,000人) ・チラシ1万枚及びポスター200枚作成 ※ 上記、いずれも予定					

【環境政策局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
6	環境に関する国際会議等の開催	環境先進都市・京都を積極的に発信するとともに、先進的な地球温暖化対策事例を収集するため、環境に関する国際会議等を開催。参加者の市バス・地下鉄の利用促進を図る。	イクレイ東アジア地域理事会京都及び国際環境シンポジウムの開催(11月)	日独温暖化防止シンポジウムの開催(11月)	予定なし	未定	未定	イベント	○	
			実績							
			・シンポジウム参加者数986人 ・チラシ2万枚及びポスター300枚作成	・シンポジウム参加者数300人 ・チラシ2000枚及びポスター200枚作成	—					
7	祇園祭ごみゼロ大作戦	祇園祭ごみゼロ大作戦は、繰り返し何度も洗って使用できる「リユース食器」を露店へ導入し、四条通や烏丸通等にリユース食器回収拠点及びごみの分別回収拠点として「エコステーション」を設営し、リユース食器の回収、ごみの分別回収、散乱ごみの清掃活動を実施する取組である。ボランティアや祭り関係者、祇園祭来場者の市バス・地下鉄の利用促進を図る。	祇園祭ごみゼロ大作戦の開催(7月)	祇園祭ごみゼロ大作戦の開催(7月)	祇園祭ごみゼロ大作戦の開催(7月)	祇園祭ごみゼロ大作戦の開催(7月)	祇園祭ごみゼロ大作戦の開催(7月)	イベント	○	
			実績							
			・ボランティア延べ2,000人参加 ・ポスター約2万2千枚作成	・ボランティア延べ1,800人参加 ・ポスター約2万2千枚作成 ・しおり約1万5千枚作成 ・地下鉄京都駅デジタルサイネージ ・地下鉄京都駅コトチカ広場でPRイベントを実施	・ボランティア延べ約2,300人参加 ・ポスター約2万2千枚作成 ・チラシ約1千枚作成 ・しおり約1万5千枚作成 ・地下鉄京都駅デジタルサイネージ					

【行財政局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度				
1	市庁舎前広場等の活用	市庁舎前広場においてイベントを行う場合に、資材の貸出し等の協力やパネル展示による広報・PR用の場所として本庁舎正面玄関内の一部を使用承認することで、より一層の地下鉄・市バス利用者の増加を図る。 また、市庁舎前広場の使用承認を行う際に、主催者に対して、イベント参加者等に公共交通機関を使用するよう周知することを依頼する。	イベント開催等	イベント開催等	イベント開催等		新庁舎整備工事に係る市庁舎前広場の事業使用の一時中止 (平成32年度末までの予定)	新庁舎整備工事に係る市庁舎前広場の事業使用の一時中止 (平成32年度末までの予定)	広報・PRイベント	○	
			実績								
			年間利用者数 約200,000人	年間利用者数 約200,000人			-	-			
2	京都市職員共済組合「歩こう会」のスタート地点又はゴール地点	年2回(4月、10月)実施している京都市職員共済組合「歩こう会」のスタート地点、ゴール地点について、可能な限り地下鉄駅付近に設定する。	会の運営、イベントの開催等	会の運営、イベントの開催等	会の運営、イベントの開催等	会の運営、イベントの開催等	会の運営、イベントの開催等	会の運営、イベントの開催等	職員等利用	○	
			実績								
			参加者数 4/20 471人 10/19 487人	参加者数 4/19 雨天中止 10/18 418人	参加者数 5/22 399人 10/23開催予定						
3	記念品等としてのトラフィカカード等の利用	職員提案制度表彰、事務事業評価サポーターの交通費及びふるさと納税寄付特典については、特段の事情がない限り、トラフィカカードなど交通局が発行するものを交付する。	取組の推進	取組の推進 ・事務事業評価サポーター ・ふるさと納税寄付特典 ・職員提案制度表彰 25枚(予定)	取組の推進 ・事務事業評価サポーター(枚数未定)	取組の推進	取組の推進		乗車券販売・広告収入等	○	
			実績								
			・事務事業評価サポーター 120枚 ・ふるさと納税寄付特典 142人 ・職員提案制度表彰 24枚	・ふるさと納税寄付特典 201枚 ・事務事業評価サポーター193枚	・事務事業評価サポーター0枚(12月に利用予定) ・ふるさと納税寄付特典 42枚						
4	市バス・地下鉄の利用促進の局内周知	局課長会等の定期的で開催される局内会議で、適宜、総務課から職員に対して、市バス・地下鉄を利用するよう協力を依頼する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進		職員等利用	○	
			実績								
			行財政局職員数717人(再任用、非常勤嘱託含む。)	行財政局職員1,024人(再任用、非常勤嘱託含む。)	行財政局職員1,029人(再任用、非常勤嘱託含む。)						

【総合企画局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度				
1	各種イベントにおける地下鉄・市バス利用の促進	各種イベントの開催に当たり、会場をできる限り地下鉄・市バス沿線に設定するとともに、広報資料やチラシ等で地下鉄・市バスの来場を呼び掛けるなど、参加者の地下鉄・市バス利用を促進する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進 <実施予定> ・「東九条春まつり」の開催 開催日：平成28年4月16日(土) 場所：京都市地域・多文化ネットワークセンター ・「ブラハのタベ」の開催 開催日：平成28年7月30日(土) 場所：京都駅ビル室町小路広場 ・「京都メルカート」の開催 開催日：平成28年10月1日(土)・2日(日) 場所：京都市役所前広場 ・「ニュー・ブランシュ KYOTO」の開催 開催日：平成28年10月1日(土) 場所：京都国際マンガミュージアム、アンスティチュ・フランセ関西、京都芸術センター、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA他、市内各所 ・「オープンデイ2016・京都市平和祈念事業」の開催 開催日：平成28年11月3日(木・祝) 場所：京都市国際交流会館	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							広報・PR	
			・京都市大学のまち交流センター来館者数：399,146人(平成27年3月末) ・西安のタベの開催 開催日：平成26年5月10日(土) 場所：京都駅ビル室町小路広場 イベント参加者数：約1200名 ・「ニュー・ブランシュ KYOTO」の開催 開催日：平成26年10月4日(土) 場所：京都国際マンガミュージアム、アンスティチュ・フランセ関西、京都芸術センター、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、地下鉄烏丸御池駅他、市内35箇所 イベント参加者数：約13,000人 ・「オープンデイ2014・京都市平和祈念事業」の開催 開催日：平成26年11月3日(月・祝) 場所：京都市国際交流会館 イベント参加者数：約13,000人	・京都市大学のまち交流センター来館者数：412,542人(平成28年3月末) ・「ニュー・ブランシュ KYOTO」の開催 開催日：平成27年10月3日(土) 場所：京都国際マンガミュージアム、アンスティチュ・フランセ関西、京都芸術センター、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA他、市内38箇所 参加者数：約11,000人 ・「フィレンツェのタベ」の開催 開催日：平成27年10月24日(土) 場所：京都駅ビル室町小路広場 参加者数：800人 ・「京都メルカート」の開催 開催日：平成27年10月24日・25日 場所：京都市役所前広場 参加者数：20,000人 ・「オープンデイ2015・京都市平和祈念事業」の開催 開催日：平成27年11月3日(火・祝) 場所：京都市国際交流会館 参加者数：12,000人	・京都市大学のまち交流センター来館者数：207,814人(平成28年9月末) ・「東九条春まつり」の開催 開催日：平成28年4月16日(土) 場所：京都市地域・多文化ネットワークセンター 参加人数約2000人 ・「ブラハのタベ」の開催 開催日：平成28年7月30日(土) 場所：京都駅ビル室町小路広場 参加人数約900人						
2	所管施設におけるPR	局が所管する施設(大学のまち交流センター、国際交流会館)の周知・広報に当たり、地下鉄・市バスでのアクセスが便利であることをPRし、来館者の地下鉄・市バス利用を促進する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進 <実施予定> ・「オープンデイ2016・京都市平和祈念事業」の開催 開催日：平成28年11月3日(木・祝) 場所：京都市国際交流会館	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○		
			実績								
			・京都市大学のまち交流センター来館者数：209,971人(平成26年9月末) ・「オープンデイ2014・京都市平和祈念事業」の開催 開催日：平成26年11月3日(月・祝) 場所：京都市国際交流会館 イベント参加者数：約13,000人	・京都市大学のまち交流センター来館者数：212,041人(平成27年9月末) ・「オープンデイ2015・京都市平和祈念事業」の開催 開催日：平成27年11月3日(火・祝) 場所：京都市国際交流会館 参加人数：12,000人	・京都市大学のまち交流センター来館者数：207,814人(平成28年9月末)						
3	外郭団体への働き掛け	所管する外郭団体に対して、事業実施に当たっては地下鉄・市バス利用を促進するよう働き掛ける。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	職員等利用	○		
			実績								
				外郭団体(京都市国際交流協会)職員数19人	外郭団体(京都市国際交流協会)職員数19人						
4	職員の利用促進	職員に対し地下鉄・市バスの利用を働き掛けるなど、利用促進に努める。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	職員等利用	○		
			実績								
			局職員数 180人(嘱託等除く)	局職員数 195人(嘱託等除く)	局職員数 202人(嘱託等除く)						

【総合企画局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
5	山ノ内浄水場の跡地利用の推進	山ノ内浄水場跡地について「京都市山ノ内浄水場跡地活用方針」に基づき大学を中核に複合的な用途の施設を誘導し、本市西部地域はもとより市全体の活性化や地下鉄増容に資する活用を図るための取組を推進する。	取組の推進 (南側) 京都学園大学京都太秦キャンパス第1期(学生数2200人規模)の開設に向け施設整備を支援 (北側) 優先交渉事業者の選定、学校法人大和学園及び社会医療法人太秦病院を跡地活用事業者に選定し、基本協定を締結	取組の推進 (南側) 京都学園大学京都太秦キャンパスの開設 京都学園大学京都太秦キャンパス第2期(学生数3,200人規模)の整備等について協議・調整 (北側) 調理・製菓の専門学校及び病院の第1期(1,400人規模)の整備等について協議・調整	取組の推進 (南側) 京都学園大学京都太秦キャンパス第2期(学生数3,200人規模)の整備等について協議・調整 (北側) 調理・製菓の専門学校及び病院の第1期(1,400人規模)の整備等について協議・調整	取組の推進 (南側) 京都学園大学京都太秦キャンパス第2期(学生数3,200人規模)の整備等について協議・調整 (北側) 調理・製菓の専門学校及び病院の第1期(1,400人規模)の整備等について協議・調整	取組の推進 (南側) 京都学園大学京都太秦キャンパス第2期(学生数3,200人規模)の整備等について協議・調整 (北側) 調理・製菓の専門学校及び病院の第1期(1,200人規模)の開設	施設の整備・誘致	○	
			実績							
			学校法人大和学園及び社会医療法人太秦病院を跡地活用事業者に選定し、基本協定を締結	(南側用地) ・京都学園大学京都太秦キャンパスの開設(4月)により、初年度で約1,200人の学生・教職員等が通勤・通学 (北側用地) ・契約締結・用地引渡し(7月) ・地区計画変更の決定告示(12月)	(北側用地) ・中高層条例に基づく近隣住民への建築計画の周知(5月) ・太秦病院工事着工(8月)					
6	大学の学びの環境向上に向けた施設整備の支援と誘導	学びと学術研究の環境の充実に向け、大学が行うキャンパスや研究施設等の拡充の支援策として、新たに用地を求める大学に対し、市有地活用や民有地情報の提供により、大学施設の開設を誘導する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	施設の整備・誘致	○	
			実績							
			・立命館大学次笠キャンパスに隣接する道路を用途廃止し、学校法人立命館にキャンパス用地として売却	・国立大学法人京都大学に教育施設敷地として平成24年度に売却した旧左京区役所跡地で、プロジェクト研究スペースとしての東一条館が開館	・各大学からの相談に応じ、随時必要な支援を実施中(各種手続きや市有地情報など)					
7	市民しんぶん等による情報発信	市民しんぶんをはじめとする各種市政広報媒体において、適宜、地下鉄・市バスの情報を発信する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			市民しんぶん等の自主広報媒体で適宜広報活動を行った。	市民しんぶん等の自主広報媒体で適宜広報活動を行った。	市民しんぶん等の自主広報媒体で適宜広報活動を行った。					
8	戦略的広域シティPR事業	全国・海外に対して発信力のある首都圏等のマスメディアに対し、京都の魅力や市政に関する先進的な取組をダイレクトに情報発信する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			新聞、テレビなど多数のメディアに露出	新聞、テレビなど多数のメディアに露出	新聞、テレビなど多数のメディアに露出					
9	地下鉄北山駅周辺地域の活性化	植物園や府立大学、総合資料館等さまざまな文化施設が集積する北山地域(北山文化環境ゾーン)の整備を行う京都府と協議し、京都コンサートホールや商店街、地元の関係団体等とも連携した地下鉄北山駅周辺地域の活性化に取り組むことで、更なる地下鉄・市バスの増容を図っていく。	府市協調による取組の推進 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」への参画 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」において、統一ロゴマーク及びキャッチコピーを制作(1月)、北山イラストマップ、公式フェイスブックページを作成(3月) ・北山あおいフェスティバルの開催を支援(3月)	府市協調による取組の推進 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」への参画 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」において、「北山月間～10月は北山がおもしろい!～」イベントスタンプラリーを開催(9月27日～10月25日) ・北山あおいフェスティバルの開催を支援(3月)	府市協調による取組の推進 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」への参画	取組の推進	取組の推進	まちづくり・計画策定等 イベント 広報・PR	○	
			実績							
				ラリー参加者数420人						
10	東部クリーンセンターの跡地活用の検討	地下鉄駅に近接している東部クリーンセンターの跡地について、市民の皆様からの御意見や地下鉄の増容の視点も踏まえ、京都の活性化のために活用するよう検討を進める。	跡地の活用方法の検討	当該跡地に関する基礎調査等の委託実施など、跡地活用について検討	取組の推進	取組の推進	取組の推進	施設の整備・誘致	○	
			実績							

【総合企画局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
11	岡崎地域活性化ビジョンの推進	<p>平成22年度に策定した「岡崎地域活性化ビジョン」に掲げる将来像の1つである「歩いて楽しい祝祭と賑わいの空間」づくりに向け、「官民地域連携のエリアマネジメント組織」京都岡崎魅力づくり推進協議会を中心に、地域を挙げての催しや魅力づくり、エリア全体での情報発信など、地下鉄・市バスの利用促進につながる賑わい創出に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎地域活性化ビジョンの推進 ・地域連携型魅力創出事業の実施 ・岡崎エリアの案内、情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携型魅力創出事業の実施 ・岡崎の地域ガイド拠点「岡崎・市電コンシェルジュ」の活用等による岡崎エリアの総合的な案内・情報発信の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携型魅力創出事業の実施（新規事業「京の七夕 岡崎プロムナード 星の響宴」含む） ・岡崎の地域ガイド拠点「岡崎・市電コンシェルジュ」の活用等による岡崎エリアの総合的な案内・情報発信 	取組の推進	取組の推進	まちづくり・計画策定等 イベント 広報・PR	○	
			<p>協議会主催の主な事業の来場者数 約24万6千人</p> <p>岡崎エリアの情報発信 ・岡崎手帖（秋号）の発行：13万部 ・エリアマップの発行：15万部 ・岡崎手帖（春号）の発行：8万部 ・エリアマップ（英語版）の発行：1万部</p>	<p>協議会主催の主な事業の来場者数 約24万2千人</p> <p>岡崎エリアの情報発信 ・岡崎手帖の発行 秋号：12万部 春号：9万部 ・岡崎グルメガイドの発行 秋冬号：5万部 春夏号：4万部 ・エリアマップの発行 日本語版：4万部 英語版：3万部 ・「岡崎・市電コンシェルジュ」の開設（12月）</p>	<p>協議会主催の主な事業の来場者数 約8万5千人（9月末現在）</p> <p>内訳 ・京の七夕 岡崎プロムナード 星の響宴（8月） 約3万2千人 ・京都岡崎レドカーベット × 京都文化芸術祭（9月） 約4万1千人 ・岡崎ときあかり（9月） 約1万2千人</p> <p>岡崎エリアの情報発信 ・岡崎手帖の発行 秋号：12万部 ・岡崎グルメガイドの発行 秋冬号：4万部</p>					
12	京都駅西部エリアの活性化	<p>平成26年度策定の「京都駅西部エリア活性化将来構想」に基づき、梅小路公園をはじめ、多彩な地域資源が集積する京都駅西部エリアの活性化を推進する。エリア内の施設・団体、事業者等、多様な地域主体との連携のもと、様々な媒体による地域の魅力情報の発信や回遊性向上に資する取組、新たな集客につながるイベント等を実施し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都駅西部エリア活性化将来構想」の策定 ・地域連携事業の実施（京都駅西部エリアの魅力情報の発信等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都駅西部エリア活性化将来構想の推進 ・エリアマネジメント組織の設立 ・エリアの魅力情報の発信、イベント開催等 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都駅西部エリア活性化将来構想の推進 ・エリアマネジメント組織「京都駅西部エリアまちづくり協議会」の運営 ・エリアの魅力情報の発信、イベント開催等 	取組の推進	取組の推進	まちづくり・計画策定等 イベント 広報・PR	○	
			<p>マップ型情報冊子「京都しもにしまめぐり」改訂版の発行：10万部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・梅小路公園周辺に新たな賑わいを創出する野外イベント「太陽と星空のサーカス」を共催：約5万1千人来場 ・マップ型情報冊子「京都えきにしまめぐり」の発行（日本語・英語）：3万部 						
13	記念品等としての一日乗車券等の利用	<p>各種事業において交付する記念品等については、可能な限り、一日乗車券やトラフィカ京カードなど、交通局が発行するものを利用する。 （市民しんぶん読者プレゼントの景品、市民憲章式典演奏者の謝礼（トラフィカ京カード））</p>	取組の推進	<p>取組の推進 （平成27年国勢調査実施に当たり御協力いただく市政協力委員連絡協議会会長等への謝礼（トラフィカ京カード））</p>	取組の推進	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○（広報） □（情報統計）	
			<ul style="list-style-type: none"> ・市民しんぶん読者プレゼントの景品（トラフィカ京カード：60枚）（広報担当） ・市民憲章式典演奏者謝礼（トラフィカ京カード：4枚）（広報担当） ・市政協力委員連絡協議会会長等への謝礼（トラフィカ京カード：248枚）（情報統計担当） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民憲章式典演奏者謝礼（トラフィカ京カード：4枚）（広報担当） 						
14	国立京都国際会館・多目的ホールへの京都らしい設え実施と拡充整備の促進	<p>国において整備が進められている多目的ホール（2,500人規模）の30年度の供用開始を踏まえ、5,000人規模への更なる拡充整備を早期に実現するため、国に対し積極的に要望する。 また、多目的ホールの顔ともいえるロビー、控室等の内装、調度品等に京都らしい設えを施すことにより、日本文化を発信する。</p>	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	施設の整備・誘致	○	
			<p>（国）多目的ホール（2,500人規模）の設計着手 [設計：26～27年度]</p>	<p>（国）多目的ホールの工事着手 [工事：27～30年度]</p>	<p>（国）多目的ホールの設計着手（9月）</p>	<p>（国）多目的ホールの工事契約締結（3月）</p>	<p>（国）多目的ホールの工事</p>			

【文化市民局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	男女共同参画センター(ウイングス京都)における各種イベントの開催	イベント周知用のチラシ等において、市バス・地下鉄等を利用した来場方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。	・イベントの開催 ・ウイングスフォーラム2014(12月6日(土)) ・その他講座等随時開催	・イベントの開催 ・ウイングスフォーラム2015(12月5日(土)) ・その他講座等随時開催	・イベントの開催 ・ウイングスフォーラム2016(12月3日(土)予定) ・その他講座等随時開催	・イベントの開催 ・ウイングスフォーラム2017(12月上旬予定) ・その他講座等随時開催	・イベントの開催 ・ウイングスフォーラム2018(12月上旬予定) ・その他講座等随時開催	広報・PR イベント	○	
			実績							
			ウイングスフォーラム参加者数240人	ウイングスフォーラム参加者数240人						
2	男女共同参画事業啓発広告(トラフィカ京カード)	男女共同参画施策の推進に向けた啓発広告のトラフィカ京カードを発売する。	男女共同参画週間(6月)等における企画乗車券の販売	男女共同参画週間(6月)等における企画乗車券の販売	女性に対する暴力をなくす運動期間(11月)における企画乗車券の販売	女性に対する暴力をなくす運動期間(11月)等における企画乗車券の販売	女性に対する暴力をなくす運動期間(11月)等における企画乗車券の販売	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			約32,000枚販売	30,000枚販売						
3	京都労働学校	申込み案内のポスター及びパンフレットにおいて、市バス・地下鉄を利用した来校方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。	事業の実施 春期:4~9月 秋期:10~3月	事業の実施 春期:4~9月 秋期:10~3月	事業の実施 春期:4~9月 秋期:10~3月	事業の実施 春期:4~9月 秋期:10~3月	事業の実施 春期:4~9月 秋期:10~3月	広報・PR	○	
			実績							
			入学者数約1,600人	入学者数約1,600人						
4	LIVE KIDSの開催	イベント周知用のポスター及びチラシにおいて、市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。	プレイベントを開催(27年3月8日)	イベントの開催(27年12月12日)	イベントの開催(28年8月21日)	イベントの開催	イベントの開催	広報・PR	○	
			実績							
			約500人	約750人	約1,500人					
5	地域コミュニティ活性化等に関するイベントの開催	地域コミュニティ活性化及びNPO・市民活動支援に向けたイベント等を開催するに当たり、地下鉄駅周辺の会場での開催に努める。	地下鉄駅周辺(ゼスト御池地下街)でのイベントの開催(27年1月24日開催)	地下鉄駅周辺(ゼスト御池地下街)でのイベントの開催(27年11月15日開催)	地下鉄駅周辺でのイベントの開催	地下鉄駅周辺でのイベントの開催	地下鉄駅周辺でのイベントの開催	イベント	○	
			実績							
			イベント来場者数約3,500人	イベント来場者数約3,500人						
6	安心安全まちづくり京都大会	地下鉄駅周辺でのイベントを開催するとともに、イベント周知用のポスター、チラシ等において、市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。	10月10日(金)に開催	10月9日(金)に開催	10月12日(水)に開催	イベントの開催	イベントの開催	イベント	○	
			実績							
			約400人	約400人						

【文化市民局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
7	「京都市犯罪被害者等支援条例」に基づく広報啓発	地下鉄駅周辺でのイベントを開催するとともに、イベント周知用のポスター、チラシ等において、市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。	「犯罪被害者週間」(11月25日～12月1日)における啓発事業(啓発イベント及び啓発パネル展)を開催 ・生命のメッセージ展in京都及び映画上映 ・第15回犯罪被害者支援京都フォーラム	・「犯罪被害者週間」(11月25日～12月1日)における啓発事業(啓発イベント及び啓発パネル展)を開催 ・生命のメッセージ展in京都及び映画上映・講演(12月6日) ・第16回犯罪被害者支援京都フォーラム(2月6日)	・「犯罪被害者週間」(11月25日～12月1日)における啓発事業(啓発イベント及び啓発パネル展)を開催 ・生命のメッセージ展in京都及び映画上映・講演(11月13日) ・第17回犯罪被害者支援京都フォーラム(2月4日)	イベントの開催	イベントの開催	イベント	○	
			実績							
			啓発イベント約100人 メッセージ展750人 フォーラム260人	啓発イベント60人 メッセージ展の映画・講演定員800人 フォーラム180人						
8	ヒューマンステージ・イン・キョウト	幅広い市民、特に若年層に対して、人々との交流の大切さや人権について考える機会を提供するため、コンサート、トーク、パネル展等を実施する。	イベントの開催	イベントの開催	イベントの開催 1月28日(土)開催予定	イベントの開催	イベントの開催	イベント	○	
			実績							
			1月31日(土)、京都コンサートホールアンサンブルホールムラタで開催。参加者417人。チラシ8,000枚、ポスター12,000を配布。	1月30日(土)、京都コンサートホールアンサンブルホールムラタで開催。参加者472人。チラシ8,000枚、ポスター12,000を配布。						
9	ツラッティ千本特別展・企画展	千本地区の歴史や生活、まちづくりの取組等に関する資料の展示を行う常設展とともに、特別展及び企画展を通じて市民に対し幅広い人権課題に対する啓発を行う。	特別展・企画展の開催	特別展・企画展の開催	特別展・企画展の開催	特別展・企画展の開催	特別展・企画展の開催	イベント	○	
			実績							
			・柳原銀行記念資料館との共同特別展(11月4日～29日)を開催し、両館合わせてチラシ6,900枚、ポスター1,150枚を配布。 ・企画展(3月3日)を開催し、チラシ6,250枚、ポスター1,100枚を配布。	・特別展(10月1日～31日)を開催。チラシ5,773枚、ポスター721枚を配布。 ・企画展(3月1日～26日)を開催。チラシ5,806枚、ポスター721枚を配布。	・特別展(10月1日～29日)を開催予定。チラシ5,790枚、ポスター716枚を配布。 ※企画展の日程は未定。	29年度以降の日程は未定				

【文化市民局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
10	柳原銀行記念資料館特別展・企画展	崇仁地区の歴史や生活、まちづくりの取組等に関する資料の展示を行う常設展とともに、特別展及び企画展を通じて市民に対し幅広い人権課題に対する啓発を行う。	特別展・企画展の開催	特別展・企画展の開催	特別展・企画展の開催	特別展・企画展の開催	特別展・企画展の開催	イベント	○	
			実績							
			・ツラッティ千本との共同特別展を開催し、両館合わせてチラシ6,900枚、ポスター1,150枚を配布。 ・企画展を開催し、チラシ5,020枚、ポスター1,100枚を配布。	・特別展(8月28日～9月27日)を開催し、チラシ5,050枚、ポスター1,090枚を配布。 ・企画展(3月1日～31日)を開催。チラシ4,370枚、ポスター690枚を配布。	・特別展(9月2日～10月16日)を開催。チラシ4,390枚、ポスター688枚を配布。 ※企画展の日程は未定。	29年度以降の日程は未定				
11	消費生活フェスタの開催	幼児から高齢者まで消費生活について楽しみながら学べるステージや体験ブースなどを展開する参加型イベントを開催する。(平成26年度は「コンシューマーフェスティバル」の名称で開催)	イベントの開催(11月30日)	イベントの開催(11月28日開催) (環境政策局及び保健福祉局のイベントと同時開催)	イベントの開催(11月26日開催予定) (環境政策局及び保健福祉局のイベントと同時開催)	未定	未定	イベント	○	
			実績							
			参加者数 713人	参加者数 2,751人						
12	落語を採り入れた消費生活イベントの開催	高齢者やその家族等に対し、消費生活に関する話題を分かりやすく伝えることにより、消費者問題への関心を高めてもらうことを目的として、落語を採り入れた啓発事業を実施する。	イベントの開催(12月7日)	イベントの開催(12月13日)	イベントの開催(11月13日開催予定)	未定	未定	イベント	○	
			実績							
			参加者数 587人	参加者数 690人						
13	京都会館再整備事業	ロームシアター京都(京都会館)は、文化芸術活動の拠点となるとともに岡崎地域の活性化にも寄与するよう、再整備を行い、平成28年1月にリニューアルオープンした。ホールの舞台機能が大幅に向上した他、新しい憩いの場となるカフェなど、賑わいスペースを設置した。平成28年度は、12月まで多彩なオープニング事業を実施する。	・再整備工事 ・オープニング・プレ事業第一弾の実施 9月11日:オープニング事業の発表 3月26日:プレ事業として、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトを開催	・竣工 ・オープニング・プレ事業の実施 ・開館(1月10日)、オープニング事業の実施(1月～) 9月12日:プレ事業として、小澤征爾音楽塾二条城特別演奏会を開催	オープニング事業の実施(～12月)	文化芸術事業の実施	文化芸術事業の実施	施設の整備・誘致、イベント	○	
			実績							
			小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト 市バス・地下鉄利用者872人	小澤征爾音楽塾二条城特別演奏会 参加者数約400人						
14	市民ふれあいステージ	イベント周知用のポスター、チラシ等において、市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。また、当日の会場内においてPRブースを設け、来場者に対して啓発を行う。	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	イベント 広報・PR	○	
			実績							
			10月4、5日 梅小路公園 来場者数 56,000人	10月3、4日 梅小路公園 来場者数 68,000人						

【文化市民局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
15	PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015の開催	京都市美術館を主会場とし、世界の現代美術と先鋭的な文化活動の現状を紹介する大規模な国際芸術祭として、「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015」を開催する。	事業の実施 ・プレイベントの実施 ・芸術祭(3/7~5/10)	事業の実施 ・芸術祭(3/7~5/10)				イベント	□	
			実績							
				参加人数速報 264,218人						
16	琳派400年記念事業	平成27年(2015年)は、本阿弥光悦が徳川家康から鷹峯の土地を拝領した元和元年(1615年)から400年目に当たり、いわば「琳派400年」というべき記念すべき年になる。この記念すべき年に、京都を挙げて、文化芸術と産業等のエネルギーを結集することにより、京都のまち全体の活性化を目指す。	・琳派400年記念祭公式ポスター、ロゴ・イメージキャラクターの創作、ホームページの立ち上げ(6月) ・オープニングイベントとして『琳派400年記念祭「開幕記念フォーラム」』を平成27年1月31日に開催	・琳派400年記念祭の実施 ・大交流祝典の実施(11月) ・大琳派祭スタンプラリー(10~11月) ・京都市美術館展覧会(1~2月)				イベント	□	
			実績							
			記念フォーラム 参加者数 約900人	大交流祝典 参加者数 約3,000人						
17	京都芸術センター事業	当センターにおけるイベントの開催に当たり、イベント周知用のポスター、チラシ等において、市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	広報・PR	○	
			実績							
			81,103人	約60,000人	ギャラリー関係 (4月5日~5月22日:「林勇気展」 4月14日~4月20日:「都に届いた異国の風」 6月10日~7月18日:「ジオラマとパノラマ」 7月9日~24日:「LOVERS」 7月26日~9月11日:「感覚のあそび場」 9月17日~(9月末現在):「DO MANI・明日展」)					
18	市営地下鉄構内における文化市民局所管施設の紹介	・動物園月間イベント案内ポスター掲示(13駅) ・イベントポスターの掲示(全駅) ・チラシの配布(全駅) ・蹴上駅での京都市動物園PRパネルの展示等	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			蹴上駅でのタイトルアート(ソウ)制作							
19	文化施設へのアクセス紹介	各文化施設へのアクセス方法として、市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。(ポスター、チラシ、ホームページへの掲載のほか、問合せがあった場合においても、同様の来場方法を案内する。)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							

【文化市民局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
20	文化施設入場料減免	「市営地下鉄1dayフリーチケット」提示による入場料減額(動物園・団体入園料の適用。)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	特典付与	○	
			実績							
21	トラフィカカード(美術館シリーズ、動物園シリーズ)の販売	「美術館シリーズ」として、所蔵品をデザインしたカード2種類を販売する。そのほか、期間限定で海外展等とタイアップしカードを販売する。また、「動物園シリーズ」として、動物の画像を提供し、カードを販売する。	取組の推進 ・7月:バルテュス展 ・9月:動物園と太秦萌コラボ地下鉄1dayフリーチケット ・9月:ポストン美術館展	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
22	京都ミュージアムズ・フォー(京都市内4館連携協力協議会)	展覧会スケジュール等の印刷物において、市バス・地下鉄を利用した交通案内を実施し、その利用促進に努めている。※4館とは、京都市市美術館のほか、国立博物館、国立近代美術館、文化博物館のことをいう。	事業の実施	事業の実施	未定	未定	未定	広報・PR	○	
			実績							
23	東アジア文化都市2017の開催	「東アジア文化都市」は、日・中・韓の3箇国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、様々な文化の国際発信力を高めるとともに、観光や国際交流などの振興・発展を目的として開催している。京都市は平成29年(2017年)の開催候補都市に決定している。		・開催準備 ・準備委員会設立	・実行委員会設立 ・プレ事業 ・オープニング事業	・開催都市間交流事業	広報・PRイベント	○		
			実績							
24	大政奉還150周年記念プロジェクト	平成29年は、二条城を舞台にした大政奉還から150周年にあたり、本市を中心に関係各都市とも連携して、広く全国に向けてアピールするための記念事業を実施する。		・開催準備	・プレイベント ・オープニング事業(記念シンポジウム) ・関係都市との連携事業(ミュージアム・スタンプラリー等)	・関係都市との連携事業 ・関係都市サミット(仮称)	広報・PRイベント	○		
			実績							
25	伊藤若冲生誕300年記念事業	平成28年は、江戸時代に京都・錦市場に生まれ活躍した絵師・伊藤若冲の生誕300年を迎えることから、美術館、寺院、商店街等と連携し、多彩な取組を展開する。			・記念展覧会(10月4日～) ・シンポジウム(7月、10月) ・ワークショップ(8月)		広報・PRイベント	○		
			実績							
				・若冲の魅力を語る懇話会	・シンポジウム(7月)参加者1,650人					

【文化市民局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
26	世界考古学会議第8回京都大会(WAC8)	世界最大の考古学の学会が東アジアで初めて開催される。本市は市民を対象とした講座の共催をすとともに世界各地から研究会が来訪する。			・事業の実施 ・市バス・地下鉄利用促進			広報・PRイベント	□	
			実績							
					参加者 800人/日×7日間 =5,600人					
27	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム	ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、関西ワールドマスターズゲームズ2021等に向け、スポーツや文化による国際貢献等について議論・情報発信するフォーラムが国主催で開催される。平成28年10月19日に、ロームシアター京都をメイン会場としたオープニング、全体会及び二条城における文化イベント等を行うことにより、文化芸術都市・京都の魅力の世界に向けて発信・アピールする。			・オープニングイベント、全体会(ロームシアター京都) ・文化イベント(二条城)			広報・PRイベント	○	
			実績							
28	美術館における展覧会の開催	美術館主催・共催の魅力ある展覧会を開催するとともに、市バス・地下鉄を利用した交通案内を実施し、その利用促進を図る。(広報用チラシ及び案内人による案内の両面に努める。)	事業の実施 ・バルテュス展(7/5～9/7) ・ポストン美術館展(9/30～11/30)	事業の実施 ・ルーヴル美術館展(6/16～9/27) ・マグリット展(7/11～10/12) ・フェルメールとレンブラント展(10/24～1/5) ・モノ展(3/1～5/8) ・ルノワール展(3/19～6/5)	事業の実施 ・モノ展(～5/8) ・ルノワール展(～6/5) ・ダリ展(7/1～9/4) ・若沖の真実展(10/4～12/4)	未定	未定	広報・PR	○	
			実績							
			26年度の入場者数656,154人(内共催展296,003人)	27年度の入場者数1,402,958人(内共催展1,044,492人)	28年度の入場者数678,392人(4～9月)※暫定値(内共催展534,078人)					
29	美術館再整備事業	京都市美術館は、開館以来、日本の美術・文化振興に大きな役割を果たしてきた。しかしながら、美術館を取り巻く状況は時代とともに、変化しており、ソフト・ハード両面からの検討が必要である。こうした現状を踏まえ、京都市美術館が今後とも、国内外を問わず多くの人々を魅了し、世界に誇れる美術館となるよう、求められる役割や目指すべき美術館像を明らかにするとともに、時代の変化に適應した機能・施設の充実等について検討を行っていく。	・北西角の建物(美術教室及び旧喫茶店)の解体工事(10月完了) ・同地の埋蔵文化財調査の実施(8月～) ・再整備基本計画の策定	・本館及び新館の基本設計 ・同地の埋蔵文化財調査の実施	・本館及び新館の実施設計 ・同地の埋蔵文化財調査の実施	再整備の推進	再整備の推進	施設の整備・誘致	○	
			実績							
			再整備基本計画の策定(3月)	京都市美術館再整備工事基本設計案の取りまとめ(3月)						
30	動物園デジタルサイネージ(ディスプレイに映像や情報を表示するシステム)の整備・活用	平成21年度に総務省から「ユビキタスタウン構想推進事業(地域ICT活用推進交付金)」の交付金を受け、その一部を活用して地下鉄京都駅にデジタルサイネージを設置し、動物園や京都市交通局のPRにも活用する。	再設置の検討	実施検討				広報・PR	□	
			実績							
				26年度をもって事業完了						

【文化市民局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
31	新京都市動物園構想の推進	平成21年11月に策定した新「京都市動物園構想」に基づき、「心の教育」と「環境学習」を柱に生涯学習施設として、子どもから高齢者まですべての世代に「喜び・安らぎ・癒し」を与え、「感動・交流・学習」する施設として27年度末まで再整備、動物舎、利便施設等の新設、園路整備等を行う。動物園整備の進捗に応じて集客増が図れるとともに、その効果として地下鉄蹴上駅、東山駅の利用者増も見込める。	・「京都の森」, 「ゾウの森」, 「学習・利便施設」他整備	・「京都の森」(9月4日公開),「ゾウの森」(7月公開),「学習・利便施設」(7月公開)				施設の整備	□	
			実績							
			・「ゾウの森」の一部公開(2月28日) ・来園者数 819,892人	・「ゾウの森」(7月4日公開),「学習・利便施設」(7月11日公開),「京都の森」(9月5日公開)27年度秋に再整備工事を完了し、グランドオープン。 ・来園者数 1,206,160人	・来園者数 500,661人 (9月末現在)					
32	4園館交流連携事業	京都市動物園・京都府立植物園・京都水族館・京都市青少年科学センターの4園館が、「いのちかがやく」を共通のコンセプトに連携、次世代に向けた自然環境の継承及び体験・啓発等を実施し、4園館を結ぶ交通手段として、市バス・地下鉄の利用者増を図る。	包括交流連携協定の締結(3月20日)	・連携事業の開催 ・連携事業の検討 ・科学センターの参画(3月20日)	・連携事業の開催			広報・PRイベント	○	
			実績							
			ワークショップ 8回開催	ワークショップ 4回開催						
33	元離宮二条城におけるイベントの開催及びアクセス紹介	元離宮二条城において、魅力あるイベントを開催するとともに、市民しんぶん等において、市バス・地下鉄を利用した来城方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。また、元離宮二条城出口に市営地下鉄二条城前駅への進路案内板を常時設置しており、引き続き地下鉄の利用促進に努める。	取組の推進 イベントの開催 ○「築城400年記念 展示・収蔵館」展(年間4回) ○二条城まつり <10月18日～3月1日> ○アートアクアリウム城 <10月24日～12月14日> ○ライトアップ2014 <開催日> 3月21日【金】～4月13日【日】 ≪平成25年度～≫	取組の推進 イベントの開催 ○「築城400年記念 展示・収蔵館」展(年間4回) ○二条城まつり <10月17日～12月14日> ○アートアクアリウム城 <10月23日～12月14日> ○ライトアップ2015 <開催日> 3月20日【金】～4月12日【日】 ≪平成26年度～≫	取組の推進 イベントの開催 ○「築城400年記念 展示・収蔵館」展(年間4回) ○二条城まつり <10月23日～12月11日> ○ライトアップ2016 <開催日> 3月25日【金】～4月17日【日】 ≪平成27年度～≫	取組の推進	取組の推進	広報・PRイベント	○	
			実績							
			入城者数 1,628,798人	入城者数 1,738,815人	入城者数 982,682人 (4月～9月)					
34	世界遺産・二条城本格修理事業	二条城の文化財としての価値を守り、京都を代表する文化観光施設として観覧者の安心安全を確保するため、構造補強を含む本格的な保存修理工事を行う。	・東大手門修理	・東大手門修理 ・番所修理	・東大手門修理 ・番所修理	・番所修理 ・本丸御殿修理	・本丸御殿修理	施設の整備	○	
			実績							
			計画通り進捗	計画通り進捗	計画通り進捗中					
35	歴史資料館事業	歴史資料館主催・共催の展示会等のイベントを開催するに当たって、ポスター・チラシ等において、地下鉄・市バスを利用した来館方法をわかりやすく周知し、地下鉄・市バスの利用促進を図る。	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	広報・PR	○	
			実績							
			入館者数 15,711人	入館者数 17,398人	入館者数 (4月～9月) 11,606人					

【文化市民局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
36	西京極総合運動公園の集客事業による市バス・地下鉄増客対策(京都サンガF.C.及び京都ハンナリーズのホームゲーム、並びに日本女子プロ野球リーグの他、プロスポーツゲームの誘致等)	<p>・臨時バスの運行(サンガ・ホームゲーム終了時間帯に「西京極運動公園前」停留所と①東西線「太秦天神川駅」間②烏丸線「京都駅」に臨時バスの運行、ハンナリーズ:試合開始時刻に合わせ烏丸線「京都」と「西京極運動公園前」停留所に臨時バスの運行)</p> <p>・トラフィカカード販売(サンガ、ハンナリーズ、女子プロ野球リーグについて、それぞれチーム仕様のカードを発行。このカードを利用して、試合当日に市バス・地下鉄に乗車することで、優待価格で観戦できる。)</p> <p>・地下鉄・市バスの利用促進を記載したポスター等の作成</p> <p>・市広報誌や公益財団法人京都市体育協会 広報誌「ダッシュ」での集客呼びかけ</p>	<p>・臨時バスの運行</p> <p>・トラフィカカードの販売</p> <p>・市バス・地下鉄利用促進を記載したポスター等の作成</p> <p>・市広報誌等での集客呼びかけ</p>	<p>・臨時バスの運行</p> <p>・トラフィカカードの販売</p> <p>・市バス・地下鉄利用促進を記載したポスター等の作成</p> <p>・市広報誌等での集客呼びかけ</p>	<p>・臨時バスの運行</p> <p>・トラフィカカードの販売</p> <p>・市バス・地下鉄利用促進を記載したポスター等の作成</p> <p>・市広報誌等での集客呼びかけ</p>	<p>・臨時バスの運行</p> <p>・トラフィカカードの販売</p> <p>・市バス・地下鉄利用促進を記載したポスター等の作成</p> <p>・市広報誌等での集客呼びかけ</p>	<p>・臨時バスの運行</p> <p>・トラフィカカードの販売</p> <p>・市バス・地下鉄利用促進を記載したポスター等の作成</p> <p>・市広報誌等での集客呼びかけ</p>	イベント	○	
			実績							
			京都サンガF.C.仕様のトラフィカカードを発行	・京都サンガF.C.仕様のトラフィカカードを発行 ・広報誌「ダッシュ」で公共交通機関の利用呼びかけ	・京都サンガF.C.仕様のトラフィカカードを発行(1,000枚) ・広報誌「ダッシュ」で公共交通機関の利用呼びかけ					
37	京都ツーデーウォーク	<p>全国各地からウォーカーの参加を募り、ウォーキングを通じて心と身体の健康づくりのきっかけを提供するとともに、魅力と活力あふれるまち・京都を広く発信していくことを目的として、都大路を歩くウォーカーの祭典を2日間にわたり開催する。</p>	京都府ウォーキング協会が主体となって実施(平成27年3月7～8日に開催)	京都府ウォーキング協会が主体となって実施(平成28年3月5～6日に開催)	京都府ウォーキング協会が主体となって実施(平成29年3月4日～5日に開催予定)	京都府ウォーキング協会が主体となって実施	京都府ウォーキング協会が主体となって実施	広報・PRイベント	○	
			実績							
			参加者数5,225人(2日間の延べ人数)	参加者数5,097人(2日間の延べ人数)						
38	京都マラソンの開催	<p>市民スポーツの振興のみならず、高い経済波及効果や都市ブランドの更なる向上が見込める京都マラソンを開催する。</p>	事業の実施(平成27年2月15日開催)	事業の実施(平成28年2月21日開催)	事業の実施(平成29年2月19日開催予定)	事業の実施(平成30年2月18日開催予定)	事業の実施(平成31年2月17日開催予定)	公共交通への転換 広報・PRイベント 臨時バスの運行 特典付与 乗車券販売 広告収入 職員等利用 その他	○	
			実績							
			出走者数: 16,236人 携わった人数: 53万1千人	出走者数: 16,000人 携わった人数: 53万4千人						
39	府市協調で進めるスポーツ施設整備(西京極総合運動公園)	<p>府内随一の広域的・基幹的施設として、陸上競技をはじめ各種大規模大会にふさわしい機能・水準の維持、向上を図るため、府市協調により、陸上競技場兼球技場の計画的改修を行う。</p>	設計	整備工事	・設計 ・整備工事	整備工事	整備工事	施設の整備	○	
			実績							
			基本設計実施	・陸上競技場兼球技場の大型映像装置更新 ・新メインゲートの設置						
40	宝が池公園体育館(仮称)整備	<p>宝が池球技場南側を候補地として、新たな体育館の整備を行う。</p>	設計	設計	設計	・準備工事予定 ・整備工事予定		施設の整備	○	
			実績							
				設計を実施						

【文化市民局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
41	宝が池公園球技場 夜間照明設備の整備	宝が池公園球技場に夜間照明設備を整備し、市民が身近にスポーツを親しむ環境整備を図る。	設計 ・整備工事	・供用開始				施設の 整備	□	
			実績							
			設計及び整備 工事実施							

【産業観光局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	京都館での市バス・地下鉄乗車券の販売	首都圏における京都情報の発信拠点である京都館において、市バス・地下鉄の乗車券を販売し、観光客の市バス・地下鉄の利用を促進する。 ・京都観光一日乗車券 ・京都観光二日乗車券 ・市バス専用一日乗車券カード ・市営地下鉄1dayフリーチケット	取組の推進	取組の推進	取組の推進	未定	未定	広報・PR 乗車券販売・広告 収入等	○	
			実績							
			左記4種類カード販売枚数: 2,584枚	左記4種類カード販売枚数: 2,968枚						
2	京都ものづくりフェアにおける公共交通機関の利用促進	伝統産業から先端産業まで、京都の優れた技術・技能を紹介し、実演や体験等を通じて「ものづくり」の大切さをアピールすることにより、京都産業の振興と技能尊重気運の醸成を図る。約2,500枚のリーフレット及び約350枚のポスターを発行のうえ関係機関に配布し、フェアの案内とともに、公共交通機関の利用を呼び掛けている。	京都ものづくりフェアの開催	京都ものづくりフェアの開催	京都ものづくりフェアの開催	京都ものづくりフェアの開催	京都ものづくりフェアの開催	イベント、 広報・PR	○	
			実績							
			11月開催 参加者数 約2.5万人	11月開催 参加者数 約3.1万人						
3	合同企業説明会における公共交通機関の利用促進	京都労働局、京都ジョブパーク等が主催し、京都市が共催する合同企業説明会の周知に際し、説明会の案内ポスター及びチラシに、公共交通機関の利用を呼び掛ける旨を記載している。	「京のまち企業訪問」合同企業説明会の開催	「京のまち企業訪問」合同企業説明会の開催 10月、1月開催	合同就職フェアの開催(7月)			広報・PR、 その他	○	
			実績							
			1月開催 参加者数 約1,500人	10月、1月開催 参加者数 約1,800人	7月開催 参加者数 約400人					
4	きものでおでかけ乗車無料(「伝統産業の日」事業として実施)	「伝統産業の日」事業の一環として、きもの着用者を対象に、市バスと地下鉄の運賃を無料にする。	取組の推進	平成28年3月19日～21日の3日間実施	事業終了予定 市内約40箇所の施設を対象としたきものでおでかけ入場無料のみ、引き続き実施予定。	29年度以降の実施有無は未定		特典付与	○	
			実績							
			22,176人	8,843人						
5	「計量の図画・作文展」	青少年期における計量への関心を深めるために、市内小・中学校の児童・生徒を対象とした図画及び作文の募集を実施。審査会により、選出された入選以上の優秀作品を展示することで、広く一般市民にも計量に対する意識高揚を図る。	「計量の図画・作文展」の作品展を元有隣小学校で開催	「計量の図画・作文展」を元山王小学校で開催(10月31日、11月1日)				イベント	□	
			実績							
			来場者数 1,937人	来場者数 1,790人						
6	KYOTO CMEX (KYOTO Cross Media Experience)	京都が持つ、マンガ・アニメ、映画・映像、ゲーム等のコンテンツのポテンシャルと魅力を国内外に発信するとともに、これらのコンテンツ産業を支える人材育成・人材交流を図ることを目的としたイベントを実施する。	「京都国際マンガ・アニメフェア」などの開催	「京都国際マンガ・アニメフェア」などの開催	「京都国際マンガ・アニメフェア」などの開催	「京都国際マンガ・アニメフェア」などの開催	「京都国際マンガ・アニメフェア」などの開催	イベント、 広報・PR	○	
			実績							
			・京都国際マンガ・アニメフェア 来場者:40,576人 ※CMEX(オフィシャルイベント) 全体の来場者:64,215人 ・アニメ列車運行(烏丸線:26年3月～5月、7月～10月。東西線:26年9月～10月)	・京都国際マンガ・アニメフェア 来場者:36,951人 ※CMEX(オフィシャルイベント) 全体の来場者:91,367人 ・アニメ列車運行(烏丸線:27年7月～10月、東西線:27年9月～11月)	・京都国際マンガ・アニメフェア 来場者:43,936人 ・アニメ列車運行(烏丸線:28年8月～9月、東西線:28年9月～10月)					

【産業観光局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
7	寺院の写真や書をデザインしたトラフィカ京カードの発行	京都仏教会の協力の下、寺院の写真や書をデザインしたトラフィカ京カードをシリーズで発行する。	・トラフィカ京カードの発行	・トラフィカ京カードの発行	・トラフィカ京カードの発行	・トラフィカ京カードの発行		乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			発行枚数 約10万枚	発行枚数 10万枚	発行予定					
8	「修学旅行1dayチケット」のPRと発売	修学旅行生の誘致と市バス・地下鉄の新規旅客獲得を一体的に行うために、優待施設で特典を受けられる「修学旅行バスポート」と同様の機能を持つ「修学旅行1dayチケット」の販売促進に向けたPRを行う。	販売促進のPR	販売促進のPR	販売促進のPR	販売促進のPR		乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			販売部数 91,487枚	販売部数 89,861枚	販売部数 58,647枚 (9月末時点)					
9	京都コンベンションバス利用の推進	京都で開催されるコンベンション参加者を対象に、地下鉄・市バスが乗り放題となる格安一日乗車券を発行、斡旋。(最低購入枚数100枚)	販売促進のPR ・第55回日本肺癌学会学術集会(11月14～16日)	販売促進のPR	販売促進のPR	販売促進のPR		イベント、乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			1,818枚	市バス・地下鉄 1,338枚 地下鉄770枚	6,158枚 (9月末時点)					
10	「歩いて楽しいまち・京都」観光案内標識アップグレードプロジェクト	観光客の視点に立った分かりやすい観光案内標識の在り方について、関係局からなるプロジェクトチームを設置するとともに、学識者や交通事業者等からなる「観光案内標識アップグレード検討委員会」を設置し、「京都市観光案内標識アップグレード指針」を策定。また平成23年度から平成27年度までの5箇年計画で指針に基づいた観光案内標識の整備を行う。	・岩倉・八潮、上賀茂、修学院、山科、醍醐、大原、中心市街地エリアにおける整備	・鞍馬・貴船、京北、高雄、西山・大原野、淀、苔寺・桂離宮、中心市街地エリアにおける整備	事業の終了		施設の整備・誘致	□		
			実績							
			整備数505箇所	整備数629箇所						
11	宇多野ユースホテルとの連携による市バス・地下鉄増客	年間3万人以上が利用する宇多野ユースホテルにおいて、公共交通を利用した観光コースの提案や乗車券等の販売強化等により、宿泊者や集会所等利用者に市バス・地下鉄の利用を呼びかける。	・トラフィカ京カード等の販売・公共交通を利用した観光コースの提案	・トラフィカ京カード等の販売・公共交通を利用した観光コースの提案	・トラフィカ京カード等の販売・公共交通を利用した観光コースの提案	・トラフィカ京カード等の販売・公共交通を利用した観光コースの提案		広報・PR	○	
			実績							
			年間利用者数 38,874人	年間利用者数 40,368人	年間利用者数 18,663人 (8月末時点)					
12	観光客を対象とした公共交通機関の利用促進	16団体で構成する「公共交通機関でおこしやす・京都市協議会」で春秋の観光シーズン前に、近畿、山陽及び中部地方等の主要駅等において、公共交通機関を利用した観光客誘致のためのキャンペーン活動を展開。	・秋、春の観光シーズン前にキャンペーン活動を展開 ・期間限定での文化財、庭園等の特別公開など、各種イベントの開催	・秋、春の観光シーズン前にキャンペーン活動を展開 ・期間限定での文化財、庭園等の特別公開など、各種イベントの開催	・秋、春の観光シーズン前にキャンペーン活動を展開 ・期間限定での文化財、庭園等の特別公開など、各種イベントの開催	・秋、春の観光シーズン前にキャンペーン活動を展開 ・期間限定での文化財、庭園等の特別公開など、各種イベントの開催		公共交通への転換	○	
			実績							

【産業観光局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
13	京の七夕	「一年に一度、願いごとをする」という七夕にちなんで「願い」をテーマに旧暦の七夕に開催する。 堀川、鴨川を竹や光で幻想的に演出し、京都ならではの七夕を表現する。	開催期間 平成26年8月2日～11日 ※8月9日、10日は台風で中止 ※点灯時間 19時～21時30分	開催期間 平成27年8月1日～10日	開催期間 平成28年8月1日～15日 ※点灯時間 19時～21時30分※堀川・鴨川会場をはじめ市内に広く会場を拡充して実施			イベント	○	
			実績							
			総来場者数 65万1千人 ※堀川会場のみ 27万8千人	総来場者数 76万2千人 ※堀川会場のみ 32万1千人	総来場者数 85万3千人 ※堀川会場のみ 17万6千人					
14	東山花灯路	東山地域の寺院・神社をはじめとする歴史的な文化遺産、白壁や石畳、門前町などのまち並みを生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、春の訪れを魅力的に表現する。	開催期間 平成27年3月6日～15日 ※点灯時間 18時～21時30分	開催期間 平成28年3月12日～21日 ※点灯時間 18時～21時30分	開催期間 平成29年3月3日～12日(予定) ※点灯時間 18時～21時30分	開催期間 平成29年3月3日～12日(予定) ※点灯時間 18時～21時30分	30年度以降の日程は未定	イベント	○	
			実績							
			総来場者数 112万8千人	総来場者数 116万5千人						
15	嵐山花灯路	嵯峨・嵐山地域の自然、水辺空間、竹林や歴史的な文化遺産、景観など地理的諸条件を生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、初冬の季節感を魅力的に表現する。	開催期間 平成26年12月12日～21日 ※点灯時間 17時～20時30分	開催期間 平成27年12月11日～20日 ※点灯時間 17時～20時30分	開催期間 平成28年12月9日～18日(予定) ※点灯時間 17時～20時30分	開催期間 平成28年12月9日～18日 ※点灯時間 17時～20時30分	30年度以降の日程は未定	イベント	○	
			実績							
			総来場者数 92万9千人	総来場者数 139万3千人						
16	岡崎桜・わかば回廊 十石舟めぐり	春爛漫の岡崎・琵琶湖疏水において、遊覧船を運航。 ポスター・チラシを作成し、公共交通機関の利用を呼び掛けているほか、実施期間の一部において交通局発行カードの提示で乗船料の割引を実施。	取組の推進 割引実施期間 4月18日～5月6日	取組の継続 割引実施期間 4月18日～5月6日	取組の継続 割引実施期間 4月16日～5月8日	取組の継続 割引実施期間 4月16日～5月8日	30年度以降の日程は未定	イベント・ 広報・ PR・特典 付与	○	
			実績							
			割引利用者 141人	割引利用者 260人	割引利用者 164名					
17	京の旬野菜普及啓発事業	認定農家が生産した地場の旬野菜や加工品等を即売しながら、旬の時期を待つ食する京都の伝統的でエコな食生活を推進する京の旬野菜普及啓発事業を地下鉄駅構内で実施する。 実施駅：東野駅、二条城前駅、太秦天神川駅	地下鉄駅構内での野菜直売及び啓発活動の実施(26年8月で閉店終了)					イベント	□	
			実績							
			6店舗(終了時)							
18	日本酒条例サミットin京都の開催	全国に広がった日本酒条例の施行自治体に参画・協力を求め、日本酒条例サミットin京都を開催する。	事業の実施 日本酒条例サミット開催(11月)	事業の実施 日本酒条例サミット開催(9月22日)	事業の実施 日本酒条例サミット開催(11月19日予定)		29年度以降の実施有無は未定	イベント	○	
			実績							
			・4,381人集客 ・チラシ6万枚配布	・3,655人集客 ・チラシ6万枚配布						

【産業観光局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度				
19	世界遺産スタンプラリー	世界遺産登録20周年を記念して、市内の世界遺産の寺社を巡るスタンプラリーを実施する。	事業の実施 11月15日～ 12月7日実施 醍醐寺、東寺、 西本願寺、二条城						イベント	□	
			実績								
			参加者数 768人								
20	「京都肉祭」の開催	京都肉流通推進協議会において、京の自然と食文化が育んだ極上の最高級和牛ブランド肉「京都肉」を市民の皆さんに周知するため実施（京都市共催）	事業の実施 9月27日（土） 京都市役所前 広場において 実施	事業の実施 10月3日（土） 京都市役所前 広場において 実施	事業の実施 10月30日（日） 京都市役所前 広場において 実施			29年度以降も実施予定	イベント	○	
			実績								
			来場者数 15,000人	来場者数 20,000人							
21	「京都市MICE戦略2020」の推進	「京都観光振興計画2020」（平成16年10月～平成32年度末）の中にMICE戦略を一つの柱と位置付け、「世界があこがれる観光MICE都市」へと更なる飛躍することを目標に、グローバルMICE戦略都市として、京都の強みを生かした京都にふさわしいMICEの誘致を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進			イベント、 広報・PR	○	
			実績								
22	鉄道事業者との連携による「京の冬の旅」50周年、「京の夏の旅」40周年を契機とした魅力的な観光素材の創出	「京の冬の旅」50周年、「京の夏の旅」40周年に合わせた観光PR事業の実施	事業の準備	事業開催 夏の旅（7月～9月） 冬の旅（1月～3月）					イベント、 広報・PR	□	
			実績								
				夏の旅 151,555人 冬の旅 348,705人							
23	「京都伝統産業ふれあい館」の運営	「京都伝統産業ふれあい館」の充実・活性化を図り、来場者増、公共交通機関の利用者増につなげる。	ふれあい館の運営	ふれあい館の運営 ・運営体制の確立 ・見学ツアー等の設定	取組の推進	取組の推進	取組の推進		施設の整備・誘致、イベント、 広報・PR	○	
			実績								
			来館者数 160,071人	来館者数 163,628人							
24	京の食文化を学び・味わう 冬の京野菜まつり	京野菜が培ってきた「京の食文化」を学び、味わう多様なイベントを通じて、その素晴らしさを未来に繋ぎ広く発信するとともに、京野菜をはじめとする市内農林業の地産地消を推進し、環境にやさしく健康的・文化的な市民生活の実現を図る。	市内産農林水産物加工品の販売 啓発・PRブース設置	市内産農林水産物加工品の販売 啓発・PRブース設置	市内産農林水産物加工品の販売 啓発・PRブース設置 平成29年1月下旬または2月上旬実施予定				イベント	○	☆
			実績								
			来場者数 9,200人	来場者数 10,000人							

【産業観光局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
25	「京の花」物語～母の日フェア～	京都の伝統文化や慣習行事に欠かせない、花と緑の継承と、現代様式に合わせた新たな花文化の啓発により、花と緑の溢れる美しいまちづくりと、明るく豊かな心と潤いのある市民生活を、業界あげて提案する。			モデル事業 ・花のコンクール ・花の大装飾 開催期間 平成28年5月6日～7日ゼスト御池(河原町広場、市役所前広場)	モデル事業 ・花のコンクール ・花の大装飾		イベント	○	☆
			実績							
					来場者数 2,500人					
26	「京の伝統と食のイベント2016」	京都産食材や京都の伝統産業、伝統文化、花文化等をPRするため、イベントサントリー酒類㈱と連携し、ゴールデンウィーク期間の多くの人が集まる時期を狙い、市役所前広場において飲食ブースの設置や伝統産業の実演・製品販売等のイベントを実施する。			事業の実施 5月3日(火・祝)～8日(日) 京都市役所前広場において実施	29年度以降の日程等は未定	イベント	○	☆	
			実績							
					来場者数 10,000人以上					

【保健福祉局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	全国車いす駅伝競走大会	障害のある人々の社会参加の促進と障害者スポーツの振興を図るとともに、障害のある人々に関する理解と認識を深めることを目的として、全国規模の車いす駅伝競走大会を開催している。 地下鉄駅にスタート地点を設けるとともに、地下鉄駅を通るコースとしている。	大会の開催 (3月7・8日)	大会の開催 (3月12・13日)	大会の開催 (3月11・12日開催予定)	大会の開催	大会の開催	イベント	○	
			実績							
			24チーム、216人参加(選手、監督、コーチ)	23チーム、193人参加(選手、監督、コーチ)						
2	ほほえみ広場	・障害のある市民もない市民も互いに交流できる催しを実施することにより、障害のある市民への理解を促進するとともに、障害のある市民の社会参加を推進することを目的としている。 ・チラシ、ポスターに地下鉄最寄駅名を記載 ・交通局のブースを設け、公共交通利用の啓発を行うことを予定している。 ・都くんの着ぐるみにボランティアが入り会場内を回る。	イベント開催 (10月18日)	イベント開催 (10月17日)	イベント開催 (10月15日)	イベント開催	イベント開催	イベント	○	
			実績							
			参加者数 約7,800人	参加者数 約7,600人						
3	みやこユニバーサルデザイン賞 表彰式	市民からユニバーサルデザインに関するアイデア等を募集し表彰する「みやこユニバーサルデザイン賞」の表彰式を行う。	みやこユニバーサルデザイン賞の募集及び表彰	ほほえみ広場にて表彰 ※27年度から、ほほえみ広場の式典でユニバーサルデザイン賞の表彰もすることとなった。	ほほえみ広場にて表彰	ほほえみ広場にて表彰	ほほえみ広場にて表彰	イベント	○	
			実績							
			参加者数 約160人	参加者数 約7,600名						
4	ユニバーサルデザインフォーラム京都	ユニバーサルデザインについて市民に対する普及・啓発活動の一環として講座・講演等を行う。	ユニバーサルデザインの普及・啓発活動	ユニバーサルデザインの普及・啓発活動	ユニバーサルデザインの普及・啓発活動	ユニバーサルデザインの普及・啓発活動	ユニバーサルデザインの普及・啓発活動	イベント	○	
			実績							
			参加者数 約180人	参加者数 約150人						
5	若杉祭	地域とともに歩み地域に根ざした若杉学園を旨として、学園内において学園紹介・遊びコーナー等を「親の会」と共催で実施し、若杉学園周辺の地域住民と交流を図ることにより、障害のある方の理解を深めるという行事であり、毎年1回開催している。	取組の推進 (11月8日開催)	取組の推進 (11月7日開催)				その他	□	
			実績							
			参加者数 200人	参加者数 200人						
6	世界自閉症啓発デーに係る啓発イベント	4月2日の「世界自閉症啓発デー」に合わせ、発達障害への理解促進のための啓発事業として、京都タワーや市役所塔屋のブルーライトアップ、京都駅前での啓発イベントを実施する。	イベントの開催等 (26年4月2日開催) (後援)	イベントの開催等 (27年4月2日開催) H27より主催	イベントの開催等 (28年4月2日開催)	イベントの開催等 (29年4月2日開催 予定)	イベントの開催等 (30年4月2日開催 予定)	イベント	○	
			実績							
			参加者数: 流動的のため不明	参加者数: 流動的のため不明	参加者数: 流動的のため不明					

【保健福祉局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
7	福祉ボランティア・社協フェスタ	<p>京都市では、福祉をはじめとする様々な分野におけるボランティア活動など、市民の皆様の自主的な活動を支援している。また、各社会福祉協議会においては、地域を基盤とした住民主体の地域福祉活動の推進に取り組まれている。</p> <p>このような地域福祉活動団体及びボランティアグループの取組の紹介や交流によって、団体相互のネットワークづくりや協働を進めるとともに、ボランティア活動や地域福祉活動について広く市民の皆様を知っていただくため、イベントを開催する。</p>	イベントの開催 (10月19日)	イベントの開催 (10月18日)	イベントの開催 (10月16日)	イベントの開催	イベントの開催	イベント	○	
			実績							
			参加者数 約2,000人	参加者数 約2,500人						
8	子どもを共に育む京都市民憲章実践推進者表彰式	<p>「子どもを共に育む京都市民憲章」の普及啓発と実践活動を推進するため、モデルになる活動等に取り組む個人や団体への表彰式典を実施する。</p> <p>また、実践推進者表彰の受賞者には、副賞としてトラフィカ京カード等を贈呈。</p>	実践推進者表彰式、講演会、普及啓発イベントの実施	実践推進者表彰式、講演会、普及啓発イベントの実施	実践推進者表彰式、講演会、普及啓発イベントの実施	実践推進者表彰式、講演会、普及啓発イベントの実施	実践推進者表彰式、講演会、普及啓発イベントの実施	イベント、乗車券販売広告収入等	○	
			実績							
			参加者数650人 受賞10団体	参加者数600人 受賞8団体						
9	児童虐待防止啓発事業(京都タワー(株)等との共同による街頭啓発)	<p>「児童虐待防止推進月間」(11月)や子どもの虐待をなくすための市民運動「オレンジリボン運動」を周知するため、京都タワー株式会社等と共同で、京都タワー付近(地下鉄京都駅近辺)において、グッズの配布等の街頭啓発を実施する(平成24年度から毎年11月上旬に実施。平成25年度は京都府警察及び児童館学童連盟とも共同実施)。</p>	街頭啓発の実施 (11月7日)	街頭啓発の実施 (11月6日)	街頭啓発の実施 (11月1日)	街頭啓発の実施	街頭啓発の実施	イベント、乗車券販売広告収入等	○	
			実績							
			・啓発物品(リーフレット、ウェットティッシュ、クリアファイル)の2,000部配布 ・トラフィカ京カード10,000枚販売	・啓発物品(リーフレット、ウェットティッシュ、クリアファイル)の2,000部配布 ・トラフィカ京カード10,000枚販売	・啓発物品(リーフレット、ウェットティッシュ、クリアファイル)の2,000部配布 ・トラフィカ京カード10,000枚販売					
10	「京の七夕列車」及び絵画列車「子どもたちの願いを乗せて」の運行(主催 公益社団法人京都市児童館学童連盟・京都市日本保育協会)	<p>「京の七夕」関連事業として、児童館、学童保育所、保育園の子どもたちの願いのこもった短冊を掲出した地下鉄「京の七夕列車」等の運行のほか、時期を別にして、子どもたちが描く絵画を掲出した地下鉄「絵画列車」の運行により、地下鉄の利用促進を図る。</p>	【七夕列車】 7/31～8/11実施 【絵画列車】 10/16～10/27、 12/9～12/20実施	【七夕列車】 7/31～8/10実施 【絵画列車】 10/12～10/24、 11/18～11/28実施	【七夕列車】 8/1～8/15実施 【絵画列車】	【七夕列車】 【絵画列車】	【七夕列車】 【絵画列車】	イベント	○	
			実績							
			・七夕列車: 短冊約2,200枚 ・絵画列車: 絵画約200枚	・七夕列車: 短冊約2,200枚 ・絵画列車: 絵画約220枚	・七夕列車: 短冊約2,200枚					
11	京都やんちゃフェスタ(第1部、第2部)	<p>子ども、子育て中の家庭、子育て支援者ほか全ての市民を対象に、児童の健全育成と子育て支援を推進する総合的な次世代育成イベントを開催。イベントでは、親子で楽しめるステージ、各種遊び・工作・体験のコーナー、各種展示コーナー等を展開する。</p> <p>イベントのポスターやチラシに地下鉄の最寄駅からのアクセスを地図で表示している。</p>	イベントの開催 第1部10月25日、 第2部12月20日	イベントの開催 第1部10月24日、 第2部11月28日	イベントの開催 第1部10月29日、 第2部11月26日	(1部・2部)開催 予定	(1部・2部)開催 予定	イベント	○	
			実績							
			1部:47,000人 2部:9,000人	1部:43,500人 2部:9,500人						
12	右京ブロック児童館・学童保育所まつり(主催 公益社団法人京都市児童館学童連盟・京都市)	<p>児童館、学童保育所が、ステージ発表、各種コーナーなど、子ども向けの工夫を凝らした出し物を実施し、その中で交通局のブースを設け地下鉄利用をアピールする。</p>	5月18日開催	5月16日開催	5月21日開催	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			参加者数 約2,700人	参加者数 約2,100人	参加者数 約2,100人					

【保健福祉局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
13	保育フェスタ	京都市(保育課・市営保育所)、公益社団法人京都市保育園連盟等の代表で組織される「笑顔いっぱい元気いっぱい保育フェスタ実行委員会」での協議をもとに、乳幼児及びその保護者をはじめとする一般市民を対象とした子育て講演会、絵画展、イベントを開催する。事業を通じて、「子育て支援都市・京都」の実現に向け、乳幼児健全育成に対する市民の理解と認識を深め、職員の資質向上を図るとともに、本市の保育所(園)及び昼間里親の保育実践を広く市民に周知する。	イベントの開催等 (27年2月4,7,8,9日開催)	イベントの開催等 (28年2月13～15日開催)	イベントの開催等 (29年2月11～13日開催予定)	イベントの開催等	イベントの開催等	イベント	○	
			実績							
			参加者数 19,574人	参加者数 17,711人						
14	京都幼児音楽フェスティバル	市内約27箇園の保育所が、こどもの豊かな心の育成を促進するために、日頃積み重ねてきた音楽リズム保育の成果を市民に広く発表する。	イベントの開催等 (27年2月7,8日開催)	イベントの開催等 (28年1月23, 24日開催)	イベントの開催等 (29年2月11,12日開催予定)	イベントの開催等	イベントの開催等	イベント	○	
			実績							
			・出演者数 1,440人 ・観客数 約9,000人	・出演者数 1,440人 ・観客数 約9,000人						
15	こどもSLフェスタ	こどもの豊かな心の育成を促進するために、日頃の保育では体験できない感動や普段とは違う人々との触れ合いを体験することのできる機関車体験乗車・コンサート及びパフォーマンショーを通じて、児童に社会見学及びレクリエーションの場を提供する。	イベントの開催等 (26年5月19日開催)	イベントの開催等 (27年5月19日開催)	(※鉄道博物館開館に伴い、当該イベントは終了)			イベント	□	
			実績							
			参加者数 1,738人	参加者数 968人						
16	敬老乗車証制度の普及・啓発	70歳以上の市民を対象に市バス・地下鉄に乗車できる敬老乗車証を交付。交付率の向上のため、制度見直しの検討を進めるとともに、積極的な普及啓発に努める。	制度見直しの検討及び積極的な普及啓発の実施	継続的な制度見直しの検討及び普及啓発の実施	継続的な制度見直しの検討及び普及啓発の実施	継続的な制度見直しの検討及び普及啓発の実施	継続的な制度見直しの検討及び普及啓発の実施	その他	○	
			実績							
17	市民すこやかフェア	高齢者をはじめとするすべての市民が、世代を越えスポーツや文化活動を通じて交流し、「明るく豊かな長寿社会」について考えるひとつの契機となるような総合福祉イベントとして位置付け、各種の催しを展開する。	市民すこやかフェアの開催 (12月20, 21日開催)	市民すこやかフェアの開催 (11月28, 29日開催)	市民すこやかフェアの開催 (11月26日開催予定)	市民すこやかフェアの開催	市民すこやかフェアの開催	イベント	○	
			実績							
			参加者数 20,000人	参加者数 23,000人						
18	看護の日イベント	5月12日のナイチンゲール誕生日に合わせ、看護の心を普及するイベントを開催する。	イベントの開催等 (26年5月10日開催)	イベントの開催等 (27年5月9日開催)	イベントの開催等 (28年5月8日開催)	イベントの開催等	イベントの開催等	イベント	○	
			実績							
			参加者数 1,420人	参加者数 1,209人	参加者数 782人					

【保健福祉局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
19	京都市骨髄バンク推進キャンペーン	10月の骨髄バンク推進月間の取組として、わかりやすく骨髄バンクを紹介するイベントを開催する。	イベントの開催等 (26年10月25日開催)	イベントの開催等 (27年10月18日開催)	イベントの開催等 (28年10月23日開催)	イベントの開催等	イベントの開催等	イベント	○	
			実績							
			啓発物品配布約2,000部	啓発物品配布約3,000部						
20	世界エイズデー街頭啓発キャンペーン	12月1日の「世界エイズデー」に合わせ、市民一人ひとりにエイズについて理解を深めていただくためのイベントを実施する。	イベントの開催等 (26年12月6日開催)	イベントの開催等 (27年12月5日開催)	イベントの開催等 (28年11月23日開催予定)	イベントの開催等	イベントの開催等	イベント	○	
			実績							
			・ワークショップ参加者数100人 ・啓発グッズ配布約1,000人	・ワークショップ参加者数100人 ・啓発グッズ配布約1,000人						
21	健康長寿のまち・京都 いきいきフェスタ	市民全体で健康づくりの機運を高めていくため、「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた取組のイベントを開催する。		健康長寿のまち・京都キックオフイベントの開催 (27年11月29日開催)	イベントの開催等 (28年11月26日開催予定)			イベント	○	
			実績							
				参加者数約10,000人						
22	「健康長寿のまち・京都市民会議」正式発足記念イベント	「健康長寿のまち・京都推進プロジェクト」の取組を広く市民に周知し、また取組を盛り上げていく機運を醸成することを目的に、「健康長寿のまち・京都市民会議」の正式発足を記念したイベントを開催する。			イベントの開催等 (28年6月4日開催)			イベント	□	
			実績							
					参加者約700人					
23	京都市特定給食施設等講習会	京都市内の特定給食施設等に対して、栄養・給食管理に必要な情報を提供するために、年に一回講習会を開催する。(平成28年度から、一般参加者を公募。)	講習会の開催 (平成26年10月29日)	講習会の開催 (平成27年5月22日)	講習会の開催 (平成28年8月30日)	講習会の開催	講習会の開催	イベント	○	☆
			実績							
			参加者数258人	参加者数322人	参加者数116人					
24	目の愛護デー	「目の愛護デー」と定められた10月10日に近い日曜日に、京都府眼科医会との共催で、目の無料健康診断や啓発等の催しを毎年開催している。	イベントの開催 (26年10月5日開催)	イベントの開催 (27年10月4日開催)	イベントの開催 (28年10月2日開催)	イベントの開催	イベントの開催	イベント	○	☆
			実績							
			一般市民約500人参加	一般市民約500人参加						
25	Kyoto-ani-love festival	動物の愛護と適正な飼養に関する普及啓発をはかるため、毎年9月20日から同月26日までの動物愛護週間1日に、地下鉄沿線の会場を借りて開催している。	フェスティバルの開催	フェスティバルの開催	フェスティバルの開催	フェスティバルの開催	フェスティバルの開催	イベント	○	
			実績							
			来場者数約10,000人	来場者数約8,000人	来場者数約6,000人					

【保健福祉局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
26	犬のしつけ方教室 (ガイダンスセミナー 講座)	人と動物が共存できる生活環境を確保するための啓発事業として、犬の飼い主に対し、犬の習性・生理などの理解を深めるとともに、飼犬の適正な飼養方法、しつけ方を取ってもらうことを、また、これから犬を飼われる方に対し、犬を迎え入れるための準備及び心構えをしていただくために、開催している。	講座の開催 (26年10月18日、24日、31日、11月14日開催 ※10月24日～計3回は実技講習	講座の開催 (2月27日、3月12日)	講座の開催	講座の開催	講座の開催	イベント	○	
			実績							
			参加者数 148人	参加者数 51人						
27	京都市動物取扱責任者研修会	動物の愛護及び管理に関する法律に規定する動物取扱業者を営む業者の動物取扱責任者を対象に、動物取扱責任者の業務に必要な知識及び能力の向上を図るため、毎年1～2月に5～6回に分けて、地下鉄沿線の会場を借りて開催している。	研修会の開催	研修会の開催	研修会の開催	研修会の開催	研修会の開催	イベント	○	
			実績							
			参加者数 384人	参加者数 416人						

【都市計画局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	パークアンドライド駐車券の販売	京都市醍醐駐車場の収益増加を図る取組の一環として、同駐車場の利用当日に地下鉄東西線醍醐駅で地下鉄に乗降された方に対して、パークアンドライド駐車券として、1,200円相当の駐車券を960円で販売する。 (パークアンドライド駐車券の販売場所：パセオ・ダイゴロー西館インフォメーション、販売時間：午前10時から午後8時まで)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	公共交通への転換特典付与	○	
			実績							
			132枚 (パークアンドライド駐車券販売枚数)	140枚 (パークアンドライド駐車券販売枚数)	54枚 (パークアンドライド駐車券販売枚数)					
2	バス停・地下鉄駅近隣の公共施設等におけるイベントの開催	市バスのバス停や地下鉄駅に近い公共施設等において積極的にイベントを開催し、施設等の利用者を増やすことにより、市バス・地下鉄の利用促進に寄与する。 ＜関連施設＞ ア 御池公共地下広場 イ パセオ・ダイゴロー西館アトリウム(公共空間) ウ 京都市景観・まちづくりセンター エ 京(みやこ)安心すまいセンター オ 平成の京町家モデル住宅展示場	イベント、事業の開催	イベント、事業の開催	イベント、事業の開催	イベント、事業の開催	イベント、事業の開催	イベント	○	
			実績							
			(イベント参加者数等) ア. 6,764,000人 イ. 22,218人 ウ. 1,377人 エ. 11,311人 オ. 11,623人	(イベント参加者数等) ア. 6,305,899人 イ. 25,360人 ウ. 1,104人 エ. 11,665人 オ. 10,931人	(イベント参加者数等) ア. 2,869,373人 イ. 16,740人 ウ. 437人 エ. 3,781人 オ. 4,448人					
3	空き家対策推進事業	「地域の空き家相談員」等による総合的なコンサルティングを行うほか、地域連携型空き家流通促進事業や支援制度の創設等により、空き家所有者の活用意向を引き出すとともに、空き家の発生の予防や適正管理の推進等、空き家対策を総合的に推進する。	・リーフレット等による啓発の実施 ・総合的なコンサルティング体制の充実 ・地域連携型空き家流通促進事業の拡充・実施 ・活用促進制度の創設 ・適正管理の推進による活用への誘導	・リーフレット等による啓発の実施 ・総合的なコンサルティング体制の充実 ・地域連携型空き家流通促進事業の拡充・実施 ・活用促進制度の推進による活用への誘導	・リーフレット等による啓発の実施 ・総合的なコンサルティング体制の充実 ・地域連携型空き家流通促進事業の拡充・実施 ・活用促進制度の推進による活用への誘導 ・空き家等対策計画の策定	・リーフレット等による啓発の実施 ・総合的なコンサルティング体制の充実 ・地域連携型空き家流通促進事業の拡充・実施 ・活用促進制度の推進による活用への誘導	・リーフレット等による啓発の実施 ・総合的なコンサルティング体制の充実 ・地域連携型空き家流通促進事業の拡充・実施 ・活用促進制度の推進による活用への誘導	まちづくり・計画策定等	○	
			実績							
			・空き家条例に関する啓発リーフレット及び情報冊子の作成 ・「地域の空き家相談員」の登録(201人) ・専門家派遣制度の実施(平成26年度:30件) ・地域連携型空き家流通促進事業→今年度新規認定17地域(12団体) ・空き家活用・流通支援等補助金制度の創設(6月)(平成26年度:46件) ・「空き家活用×まちづくり」モデル・プロジェクト制度創設(平成26年度:4件) ・「京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例」平成26年4月施行	・空き家条例に関する啓発リーフレット及び情報冊子の作成 ・「地域の空き家相談員」の登録(304人) ・専門家派遣制度の実施(平成27年度:63件) ・地域連携型空き家流通促進事業→今年度新規認定5地域(3団体) ・空き家活用・流通支援等補助金制度の実施(平成27年度:91件) ・「空き家活用×まちづくり」モデル・プロジェクトの実施(平成27年度:3件) ・「京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例」(27年12月施行)	・空き家条例に関する啓発リーフレット及び情報冊子等を活用した普及啓発 ・「地域の空き家相談員」の登録(303人)(平成28年9月末時点) ・専門家派遣制度の実施(平成28年9月末時点:32件) ・地域連携型空き家流通促進事業→今年度新規認定3地域(3団体)(平成28年9月末時点) ・空き家活用・流通支援等補助金制度の実施(平成28年9月末時点:43件) ・「空き家活用×まちづくり」モデル・プロジェクトの実施(平成28年9月23日プロジェクト募集期間終了。提案:5件) ・「京都市空き家等対策協議会」の開催(第1回:7月8日、第2回:8月19日)					

【都市計画局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
4	地域住民・事業者の主体的な都心のぎわい創出支援(烏丸通沿道のまちづくり)	烏丸通のにぎわい創出に向け、平成18年度から烏丸通沿道(三条～高辻間)の地権者等からなる烏丸通沿道懇談会が立ち上がり、地区計画策定や街路樹のイルミネーション等のイベント事業に取り組み、京都市は、これらの取組支援を行ってきた。また、平成24年には「烏丸通まちづくり協議会」に組織が移行し、烏丸通の将来像策定や賑わい創出等に取り組んでいる。 中長期的には、これら様々な取組を通じて、ビジネス機能・商業サービス機能の集積を図っていくことで、結果として通勤客・買い物客の増加が期待できる。 ※イベントについては、烏丸通の一般通行客との区別ができないため、参加者数を定めていない。	烏丸通まちづくり協議会の運営、イベント等の開催の支援	烏丸通まちづくり協議会の運営、イベント等の開催の支援	烏丸通まちづくり協議会の運営、イベント等の開催の支援	烏丸通まちづくり協議会の運営、イベント等の開催の支援	烏丸通まちづくり協議会の運営、イベント等の開催の支援	まちづくり・計画策定等	○	
			実績							
5	らくなん進都公共交通マップの発行	らくなん進都における公共交通の更なる利便性向上のため、市バス、地下鉄等の各交通事業者の時刻表や路線図などの情報をまとめた「らくなん進都公共交通マップ らくらくMAP」を発行。	・マップの活用促進 ・ダイヤ改正等を踏まえた改訂版の発行	・マップの活用促進 ・ダイヤ改正等を踏まえた改訂版の発行	・マップの活用促進 ・ダイヤ改正等を踏まえた改訂版の発行	・マップの活用促進 ・ダイヤ改正等を踏まえた改訂版の発行	・マップの活用促進 ・ダイヤ改正等を踏まえた改訂版の発行	公共交通への転換・利便性向上・広報・PR	○	
			実績							
6	らくなん進都におけるウォーキング等のイベントの開催	ウォーキングイベントを実施し、らくなん進都に多くの来訪者呼び込み、地区の魅力を発信するとともに、鉄道事業者と共催することにより、公共交通の利用促進を図る。また、京都の次代を担う子ども達に、地区の魅力の一つであるものづくりの面白さを体験してもらうため、ものづくり見学会を実施。	・ウォーキング・企業探訪等のイベントの実施 ・大学生対象の企業見学会の開催(11月)	・ウォーキング・企業探訪等のイベントの実施 ・大学生対象の企業見学会の開催(11月)	ウォーキング・企業探訪等のイベントの実施	ウォーキング・企業探訪等のイベントの実施	ウォーキング・企業探訪等のイベントの実施	イベント	○	
			実績							
7	公共交通利用促進策に対する付置義務引下げ(京都市駐車場条例)	自家用車から公共交通機関への利用転換の促進及び地球環境への負荷が少ないエコ・コンパクトな都市構造を目指すことを目的に、地下鉄等の公共交通機関を利用し、来店される方に対する割引サービスなどを実施する特定用途の建築物に対して、公共交通への利用転換に応じた付置義務台数の引き下げを行う。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	公共交通への転換	○	
			実績							
8	エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進	本市の都市計画の基本的な方針となる都市計画マスタープランに示されている土地利用の方針に基づき、エコ・コンパクトな都市を実現するために、地下鉄をはじめとする公共交通拠点周辺における都市機能の集積や充実を目的として、「地域地区の見直しに関する方針」を検討したうえで用途地域等の見直しを行う。	・都市計画マスタープランの推進 ・エコ・コンパクトな都市構造の実現に向け、用途地域等の都市計画の見直しを行う					公共交通への転換	○	
			実績							

【都市計画局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
9	「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	平成22年1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略について、総合的な推進及び点検を図る全庁挙げた「歩くまち・京都」推進本部を設置するとともに、実施プロジェクトの進捗を点検し、社会情勢の変化も踏まえた戦略の充実や見直しを検討するため、関係団体、学識経験者、関係行政機関で構成した「歩くまち・京都」推進会議を設置し、推進を図る。	・「歩くまち・京都」推進本部会議、「歩くまち・京都」推進会議の開催 ・効果検証のための調査・分析	・「歩くまち・京都」推進本部会議、「歩くまち・京都」推進会議の開催 ・効果検証のための調査・分析	・「歩くまち・京都」推進本部会議、「歩くまち・京都」推進会議の開催 ・効果検証のための調査・分析	・「歩くまち・京都」推進本部会議、「歩くまち・京都」推進会議の開催 ・効果検証のための調査・分析	・「歩くまち・京都」推進本部会議、「歩くまち・京都」推進会議の開催 ・効果検証のための調査・分析	まちづくり計画策定等	○	
			実績							
			・推進本部会議(1回) ・推進会議(1回)	・推進本部会議(1回) ・推進会議(1回)	・推進本部会議(1回)					
10	「スローライフ京都」大作戦	市民のライフスタイルの中で交通行動の変革を意識付けるため、全国で初めて、全市民、観光客等に向けた大規模なモビリティ・マネジメント(MM)を体系的に実施する。市内を運行する電車やバスの便利な情報等を、あらゆる機会を捉えて重層的、複合的に市民に提供し、環境や健康、経済面での公共交通利用の優位性に気付いていただき、自発的な意識改革による交通行動の変化を図り、自動車利用の抑制と公共交通の利用促進を図る。	・「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 ・市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 ・未来の公共交通利用者を確保するため学校でのMMの実施 ・企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 ・出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 ・タクシー-MMの実施	・「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 ・市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 ・未来の公共交通利用者を確保するため学校でのMMの実施 ・企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 ・出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 ・タクシー-MMの実施	・「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 ・市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 ・未来の公共交通利用者を確保するため学校でのMMの実施 ・企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 ・出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 ・タクシー-MMの実施	・「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 ・市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 ・未来の公共交通利用者を確保するため学校でのMMの実施 ・企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 ・出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 ・タクシー-MMの実施	・「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発 ・市民とともに環境に優しいライフスタイルを目指すMMの実施 ・未来の公共交通利用者を確保するため学校でのMMの実施 ・企業や職場における交通マネジメントを見直すMMの実施 ・出発から公共交通利用を考える観光来訪者へのMMの実施 ・タクシー-MMの実施	公共交通への転換	○	
			実績							
			・高齢者への運転免許返納を促すMMの実施(チラシ40,000部) ・学校MM検討会の実施(2回) ・転入者を対象としたMMの実施 ・自動車教習所MMの実施(チラシ40,000部)	・高齢者への運転免許返納を促すMMの実施(チラシ40,000部) ・学校MM検討会の実施(3回) ・転入者を対象としたMMの実施 ・自動車教習所MMの実施(チラシ40,000部)						
11	「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化	「歩くまち・京都」総合交通戦略の先行実施プロジェクトとして交通事業者、関係機関と協議を行ってきた、市内で運行する鉄道、バス事業者間の連携による公共交通ネットワーク強化のための施策について具体的な実現を図り、公共交通の更なる利便性の向上を図る。また、歩くまち京都アプリ「バス・鉄道の達人」の運用など、NPO法人「歩くまち・京都」フォーラムと連携した利便性向上についても推進する。	・京都域におけるバス・鉄道の情報提供充実による利便性向上 ・京都フリーパスの利用促進 ・公共交通不便地域等の対応策に関する検討	・京都域におけるバス・鉄道の情報提供充実による利便性向上 ・公共交通不便地域等の対応策に関する検討	・京都域におけるバス・鉄道の情報提供充実による利便性向上 ・公共交通不便地域等の対応策に関する検討	・京都域におけるバス・鉄道の情報提供充実による利便性向上 ・公共交通不便地域等の対応策に関する検討	・京都域におけるバス・鉄道の情報提供充実による利便性向上 ・公共交通不便地域等の対応策に関する検討	利便性向上	○	
			実績							
			-	-						
12	歩いて楽しいまちなか戦略	京都の活力と魅力が凝縮した歴史的都心地区(四条通、河原町通、御池通、烏丸通)に囲まれた地区を中心とした「まちなか」において、四条通の歩道拡幅や公共交通優先化をはじめとする、安心・安全で快適な歩行空間の確保と賑わいの創出など、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちなか」を推進する。	・四条通歩道拡幅事業の工事着工(11月17日)	・四条通歩道拡幅事業完成(10月末)	・四条通歩道拡幅事業に伴う効果検証・影響検証のための自動車交通量等の調査の実施及び結果の取りまとめ	・「まちなか」において人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちなか」を推進	・「まちなか」において人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちなか」を推進	公共交通への転換	○	
			実績							
			・四条通歩道拡幅事業の工事着工(11月17日)	・四条通歩道拡幅事業完成(10月末) ・四条通歩道拡幅事業に伴う効果検証・影響検証のための自動車交通量等の調査の実施						

【都市計画局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
13	「歩いて楽しいまちなかゾーン」の推進	歩行者の安全な歩行空間を確保するための道路拡幅や歩道の築造が困難な都心の細街路において、幹線道路に囲まれた地域を「歩いて楽しいまちなかゾーン」と指定し、ゾーンを明示するとともに、ゾーン内を走行する自動車の速度抑制対策や路側帯の拡幅等を行う。	・歴史的都心地区の西側エリア（一部済）及び南側エリアに拡大	・歴史的都心地区の南側エリアに拡大	取組の推進	取組の推進	取組の推進	公共交通への転換	○	
			実績							
14	安心・安全な東大路歩行空間創出事業	多くの市民・来訪者が訪れる東大路通及びその周辺において、「環境」「景観」「地域コミュニティ」「観光振興」等の観点から歩行環境の改善等を行うことにより、安心・安全で快適な歩行空間を創出する。	・取組の推進（交通解析、予備設計）	・取組の推進（関係者等との情報共有）	・交通への影響を考慮した歩行環境改善等の検討実施	・交通への影響を考慮した歩行環境改善等の検討実施	・交通への影響を考慮した歩行環境改善等の検討実施	まちづくり計画策定等	○	
			実績							
15	観光地交通対策	人と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現を図るため、秋の観光ピーク期に、我が国を代表する観光地である嵐山地区と東山地区において、京都府警察等関係機関と連携の下、臨時交通規制やシャトルバスの運行等、交通の円滑化と安全快適な歩行者空間を創出する交通対策を実施する。	・観光地交通対策の実施	・観光地交通対策の実施	・観光地交通対策の実施	・観光地交通対策の実施	・観光地交通対策の実施	公共交通への転換	○	
			実績							
16	パークアンドライドの実施	市内への自動車流入抑制と公共交通の利用促進を図るため、近隣自治体や駐車場事業者等からなる「京都市圏パークアンドライド連絡協議会」との連携の下、実施箇所及び実施期間の拡大など、広域的なパークアンドライドを展開する。	・パークアンドライド実施箇所の拡充及び利用促進	・パークアンドライド実施箇所の拡充及び利用促進	・パークアンドライド実施箇所の拡充及び利用促進	・パークアンドライド実施箇所の拡充及び利用促進	・パークアンドライド実施箇所の拡充及び利用促進	公共交通への転換	○	
			実績							
17	交通施設バリアフリー化の推進	平成23年度に策定した「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想において選定した10地区の「重点整備地区」を対象に、旅客施設及び周辺道路等の重点的・一体的なバリアフリー化を推進する。	・基本構想の策定 ・駅の整備に対する補助金の交付	・基本構想の策定 ・駅の整備に対する補助金の交付	・基本構想の策定 ・駅の整備に対する補助金の交付	・基本構想の策定 ・駅の整備に対する補助金の交付	・基本構想の策定 ・駅の整備に対する補助金の交付	利便性向上	○	
			実績							
			・阪急嵐山・松尾大社地区、上桂地区及び桃山地区においてそれぞれ「バリアフリー移動等円滑化基本構想」を策定	・太秦駅、JR藤森駅（以上、JR西日本）及び深草駅（京阪）のバリアフリー化設備の供用開始						

【都市計画局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
18	崇仁地域のまちづくり	<p>「京都市崇仁地区将来ビジョン検討委員会」からの報告書を踏まえ、住宅地区改良事業を早期完了させるため、土地区画整理事業との合併施行を推進するとともに、「創造・交流・賑わいのまち」の実現に向けた、市民、民間事業者、NPO、京都市立芸術大学などの多様な主体の参画によるまちづくりを推進する。</p>	<p>【土地区画整理事業】 ・導入区域拡大 ・事業計画策定 【住宅地区改良事業】 ・改良住宅新棟建設 ・事業計画変更</p>	<p>【土地区画整理事業】 ・取組の推進 【住宅地区改良事業】 ・改良住宅新棟(53棟)建設 ・崇仁市営住宅(21~27棟)基本設計</p>	<p>【土地区画整理事業】 ・取組の推進 【住宅地区改良事業】 ・崇仁市営住宅(21~27棟)建替実施設計 ・団地再生計画及び土地利用計画策定に向けた基礎調査(崇仁南部)</p>			まちづくり計画の策定等	○	
			実績							
			<p>【土地区画整理事業】 ・都市計画変更 ・施行規程の一部改正 ・北部第二地区事業計画決定 【住宅地区改良事業】 ・崇仁市営住宅53棟建設工事着工</p>	<p>【住宅地区改良事業】 ・崇仁市営住宅53棟しゅん工 ・崇仁市営住宅(第21~27号棟)建替基本計画策定</p>	<p>【住宅地区改良事業】 ・崇仁市営住宅(21~27棟)建替基本設計完了</p>					
19	東九条地区のまちづくり	<p>住宅市街地総合事業の完了に向けて取り組むとともに、京都駅、地下鉄九条駅から近いという立地特性を活かし、地区内の市有地の有効活用を進め、地区の活性化や交流促進につなげる。</p>	<p>公園・緑地整備に係る埋蔵文化財調査</p>	<p>土壌汚染対策工事</p>	<p>道路整備工事</p>			まちづくり計画の策定等	○	
			実績							
			<p>・市用地活用に係る土壌調査の実施 ・公園・緑地整備に係る埋蔵文化財試掘調査の実施</p>	<p>・土壌汚染対策工事の実施</p>	<p>・道路整備工事の実施(年度内完了予定)</p>					
20	三条京阪駅周辺地域のまちづくり	<p>都市計画マスタープランにおいて、商業・業務機能の立地誘導、多様な都市機能の集積を図る地域として位置付けている三条京阪駅周辺について、地下鉄をはじめ交通至便な立地環境にある地域のポテンシャルを最大限に生かした土地活用となるよう、三条鴨東地区の改良事業計画の見直しも含め、魅力あるまちづくりを進める。</p>	<p>住宅地区改良事業計画変更</p>	<p>住宅地区改良事業計画に基づき、買収交渉・将来的な土地活用の方向性についても検討を進める。</p>	<p>住宅地区改良事業計画に基づき、買収交渉・将来的な土地活用の方向性についても検討を進める。</p>			まちづくり計画の策定等	○	
			実績							
			<p>・住宅地区改良事業計画変更を実施。事業完了年度を平成31年度末に延長。</p>	<p>・買収物件の除却工事実施 ・住宅地区改良事業に基づく買収交渉等</p>	<p>・買収物件の除却工事実施 ・住宅地区改良事業に基づく買収交渉等継続</p>					
21	楽只・鷹峯市営住宅団地再生プロジェクト	<p>楽只・鷹峯市営住宅については、「京都市市営住宅ストック総合活用計画」に基づき、広域的な視野で地域力を高めるまちづくりに向けて、住棟や敷地の有効活用等の団地再生事業に取り組んでいくこととしている。 そのため、楽只・鷹峯地区にとどまらず、広く地区外からも多様な人材の参画を得て、民間活力を導入した魅力あるまちづくりを進める。</p>	<p>・土地利用計画の策定に向けた基礎調査業務 ・賑わい創出事業 ・高齢化対策に係る学生シェアハウス事業</p>	<p>・土地利用計画の策定 ・賑わい創出事業 ・高齢化対策に係る学生シェアハウス事業</p>	<p>・土地利用計画の策定 ・賑わい創出事業 ・高齢化対策に係る学生シェアハウス事業</p>	<p>取組の推進</p>		まちづくり計画の策定等	○	
			実績							
			<p>・土地利用計画の策定に向けた基礎調査業務の実施 ・賑わい創出事業の推進 ・高齢化対策に係る学生シェアハウス事業</p>	<p>・土地利用計画(案)の策定 ・賑わい創出事業 ・高齢化対策に係る学生シェアハウス事業</p>	<p>・賑わい創出事業によるイベントの開催(第1回6月19日) ・高齢化対策に係る学生シェアハウス事業</p>					

【建設局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	広告付きバス停上屋の設置に向けた関係機関の調整	広告付きバス停上屋の設置によるバス待ち環境の向上により増客を図るため、関係機関による協議会を設置し、必要な免許等を円滑に行うための調整を行う。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	利便性向上	○	
			実績							
2	自動販売機等駅利便施設の設置に係る道路占用許可申請手続の簡素化	地下鉄利用者の利便性向上による増客を図るため、地下鉄施設内における自動販売機等利便施設の道路占用について、歩行者の通行に支障のない範囲で地下鉄事業者の自主管理に委ねる取扱いを平成20年10月1日から実施している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	利便性向上	○	
			実績							
3	駐輪場の整備	地下鉄駅及び市バス停留所周辺で駐輪場を整備し、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	施設の整備・誘致	○	
			実績							
4	京都駅八条口駅前広場の整備	本市最大のターミナル駅である京都駅の八条口駅前広場について、年間5,000万人を超える観光客が訪れる国際文化観光都市・京都の玄関口にふさわしい交通結節機能の向上や、安全で快適な歩行者空間の創出など、利用者の視点に立った広場の整備を行う。	6月：機械式地下駐輪場工事着手 11月：駅前広場整備工事着手	3月：駅正面の拠点広場デッキ完成(プレオープン)	・駅前広場整備工事完成予定			利便性向上	○	
			実績							
5	梅小路公園グリーンフェア等の開催	市民の皆様により京都市を代表する都市公園「梅小路公園」の広大な緑や、季節の花々に親しんでいただくために年2回、春と秋にグリーンフェアを開催、公共交通機関の利用促進を図る。	取組の推進 ・梅小路グリーンフェア2014春の開催(5/3～5/4) ・梅小路グリーンフェア2014秋の開催(10/4～10/5)	取組の推進 ・梅小路グリーンフェア2015春の開催(5/3～5/4) ・梅小路グリーンフェア2015秋の開催(10/3～10/4)	取組の推進 ・梅小路グリーンフェア2016春の開催(5/3～5/4) ・梅小路グリーンフェア2016秋の開催(10/1～10/2)	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
6	春のこどもまつり	大宮交通公園にて年1回春に開催している。子供に楽しみながら交通に関する知識や、正しい交通ルールを身につけてもらうことを目的につくられた本公園の取組を広く理解してもらうために開催している。	・春のこどもまつりの開催(3/27)	・春のこどもまつりの開催(3/25)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							

【建設局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
7	京都市記念植樹奨励事業	「花の名所」づくりを目指して、結婚、誕生等の慶事を迎えた市民の皆様や発展祈念等をされる企業・団体のみなさんに費用の一部を負担していただき、公園等において花木を記念植樹する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	未定	施設の整備・誘致	○	
			実績							
			竹田公園<地下鉄くいな橋>(募集)チラシ配布1,600枚パンフ配布700部ポスター配布73枚(植樹)14本	東山自然緑地<地下鉄山科駅>(募集)パンフ配布700枚ポスター配布130枚(植樹)17本	東山自然緑地<地下鉄御陵駅>(募集)チラシ配布500枚パンフ配布600枚ポスター配布80枚(植樹予定)15本					
8	宝が池公園新景観創造事業	本市北部の主要公園の一つである宝が池公園内に、まとまった本数のサクラ等のエリアを整備し、公園の魅力向上を図るとともに、新たな花の名所となるよう、サクラ等による新景観の創造を目指す。	・シンポジウムの開催 ・実施設計	・実施設計	・園路整備 ・植樹	・植樹	・植樹	施設の整備・誘致	○	
			実績							
			・国立京都国際会館でシンポジウムを開催(3月22日)参加者数約200人 ・実施設計							
9	パークアンドライド駐車場の設置	阪神高速8号京都線(鴨川西出入口～上鳥羽口駅付近)高架下等を利用し、パークアンドライド駐車場を設置することで、地下鉄の利用促進を図る。 ※鴨川西ランプ駐車場において、PiTaPa、ICOCAで地下鉄十条駅を降車すると、駐車料金300円割引。上鳥羽ランプ駐車場において、PiTaPa、ICOCAで地下鉄くいな橋駅を降車すると、駐車料金300円割引	駐車場設置、PR	駐車場設置、PR	駐車場設置、PR	駐車場設置、PR	駐車場設置、PR	施設の整備・誘致、公共交通への転換、特典付与、広報・PR	○	
			実績							
			PRチラシ5,000枚配布	PRチラシ6,000枚配布	9月末時点で実績なし					
10	左京岡崎における神宮道と公園の再整備	神宮道(冷泉通～二条通)を歩行者のための空間とし、隣接する公園と一体的に再整備するとともに、ルームシアター京都と一体性をもたせることにより、創造的で豊かなオープンスペースや優れた景観の形成、安全性と回遊性の向上を図る。	実施設計、工事	・工事 ・9月に供用開始				施設の整備・誘致	□	
			実績							
			・実施設計完了 ・整備工事中	・整備工事了 ・9月1日より供用開始						
11	名勝円山公園の再整備(修復)	本市の貴重な文化遺産である「名勝円山公園」の歴史的環境を保存するとともに、さらに多くの市民や観光客に親しんでいたため、「名勝円山公園保存管理計画」を策定し、再整備(修復)及び適切な維持管理を実施していく。 再整備(修復)については、東京オリンピックが開催される平成32年の夏に向け、平成28年度(開園130周年)からの着手を目指す。	計画の策定の検討	計画の策定	再整備(修復)	再整備(修復)	再整備(修復)	施設の整備・誘致	○	
			実績							
			策定委員会の開催(2回)	策定委員会の開催(3回)						

【建設局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
12	高瀬川周辺一帯の魅力ある水辺づくり	高瀬川は、石積護岸の老朽化が著しく、水枯れがたびたび発生し、良好な水辺環境の保全が困難な状況になったため、護岸の補修工事を実施する。実施に際しては、高瀬川の景観に重要な役割を果たしている街路樹のサクラやヤナギ等に配慮した整備を行うとともに、沿川における他事業や地域との連携も含め、周辺一帯の魅力ある水辺づくりを目指す。	・改修工事実施中 (三条通～車屋橋) ・高瀬川開削400周年の地元イベント開催	改修工事 (車屋橋～備前島橋)	改修工事 (備前島橋～四条通)	改修工事	改修工事	施設の整備・誘致	○	
			実績							
			改修工事完成 地元イベントで 事業PR	改修工事実施 中	改修工事実施 中					
13	自転車のルール・マナーの周知徹底	地下鉄駅周辺でのイベントを開催するとともに、イベント周知用のポスター、チラシ等において、市バス・地下鉄を利用した来場方法を分かりやすく周知し、その利用促進を図る。	イベントの開催	イベントの開催	イベントの開催	未定	未定	イベント	○	
			実績							
			6月1日(日)に市役所前広場において「自転車マナーアップフェスタin京都」を開催。来場者数約9,800人。	5月17日(日)に市役所前広場において「自転車マナーアップフェスタin京都」を開催。来場者数約23,000人。	5月15日(日)に市役所前広場において「自転車マナーアップフェスタin京都」を開催。来場者数約28,850人。					

【北区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	北区民ふれあい事業 (公共交通機関の利用促進)	ふれあいまつり等の北区民ふれあい事業、人権啓発事業等の実施にあたり、参加者に公共交通機関の利用を積極的に呼び掛ける。	ふれあい事業のポスター・チラシ等において公共交通機関の利用案内を掲載	ふれあい事業のポスター・チラシ等において公共交通機関の利用案内を掲載	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			参加者数 約17,000人	参加者数 約16,500人	参加者数 約6,200人 (9月末現在)					
2	北区民ふれあいまつりにおける交通局コーナーの設置	市バス・地下鉄の利用を呼びかけるとともに、市バス1日乗車券等や交通局オリジナルグッズの販売を行う。	取組の推進 交通局ブースの設置 (6月1日)	取組の推進 交通局ブースの設置 (6月6日)	取組の推進 交通局ブースの設置 (6月5日)	取組の推進	取組の推進	イベント 乗車券販売・広告 収入等	○	
			実績							
3	柵野学区におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域と地元京都産業大学との連携のもと、北区役所・交通局も協働して、「柵野地域における公共交通利用促進会議」を発足させ、地域の方が主体的に地域の公共交通のあり方を検討し、その利用促進を図る取組を進める。	取組の推進 ・柵野地域・バス利用促進ワークショップの開催(第1回7月、第2回8月) ・柵野地域・市バス特37号沿線おでかけマップ・ニュースレターの作成・配布(11月発行)	取組の推進 ・柵野地域における公共交通利用促進会議の開催 ・地域イベントにおける啓発活動 ・ニュースレターの作成・配布(予定) ・市バス特37号沿線おでかけマップの増刷(予定)・お試し乗車券(アンケート)配付	取組の推進 ・柵野地域における公共交通利用促進会議の開催 ・地域イベントにおける啓発活動 ・ニュースレターの作成・配布			公共交通 への転換	○	
			実績							
			おでかけマップ・ニュースレターの作成・配布(11月発行4,000部)	おでかけマップ(500枚)・ニュースレターの作成・配布(10月・3月発行3,000部)・お試し乗車券配布(427枚)	柵野まつり啓発活動(7/30)ニュースレター作成中					
4	雲ヶ畑松上げ鑑賞ツアー	雲ヶ畑で行われる松上げ行事鑑賞のための交通手段として、地元自治会がバスをチャーターし、バスの出発点を北大路とすることで、地下鉄・市バスの利用を促進する。	事業の実施なし	事業の実施なし	事業の実施なし	29年度以降は未定		イベント	□	
			実績							
5	大学生向けチラシへの市バス・地下鉄情報の掲載	大学生向けに配布するチラシ「大学生の“これ知ってる!?”」に、市バス・地下鉄の情報を掲載し、公共交通機関の積極的な利用を促進する。	チラシ作製・配布	チラシ作製・配布	チラシ作製・配布予定			広報・PR	○	
			実績							
			チラシ8,000部配布	チラシ6,700部配布	未定					

【北区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
6	職員の利用促進	北区厚生会事業など、職員が企画するイベント等について、参加者に集合場所までの交通手段として、公共交通機関を積極的に利用するよう呼び掛ける。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			参加者数 77人	参加者数 33人	参加者数 38人					
7	市バス利用の啓発	庁舎1階に市バスの時刻表を掲示し来庁者の利用を促進している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			—	—	—					
8	広告付き周辺案内図における市バス・地下鉄の利用案内	庁舎内に設置している広告付き周辺案内図に、庁舎周辺のバス乗り場及び地下鉄乗り場の案内を掲載している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			—	—	—					
9	行政情報案内テレビモニター広告による公共交通機関の利用促進	庁舎内設置のテレビモニター広告により、公共交通機関の利用促進、啓発を行っている。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			—	—	—					
10	記念品等としてのトラフィカ京カード等の利用	各種事業の記念品等に一日乗車券やトラフィカ京カードなどを利用する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			授与者数 9人	授与者数 33人						
11	北区制60周年記念事業	平成27年度に北区制60周年を迎えるのを記念して、集客が見込めるような事業を実施し、公共交通機関利用促進につなげる。		・記念式典・区民交流事業の開催(9月) ・ワークショップの開催(7・8・11・2月) ・ショートムービーコンテストの実施(7~1月)				イベント	□	
			実績							
				記念式典等参加者数約450人						

【上京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	ホームページコンテンツ(撮っておき上京!)における市バス・地下鉄情報の掲載	観光の際の公共交通機関の利用を促進するため、上京区ホームページコンテンツ「撮っておき上京!」において、現地への市バス・地下鉄での行き方を交通局に依頼し明記。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
2	上京ふれあいネット・カミングにおける市バス・地下鉄利用の呼びかけ	来庁時や観光の際の公共交通機関の利用を促進するため、上京ふれあいネット・カミングにおいて、市バス・地下鉄利用を呼びかける書き込みを断続的に掲載。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
3	上京まち歩きツアー「京・上京探訪」のマップにおける市バス・地下鉄情報の掲載	まち歩きツアーの行き帰りの際の公共交通機関の利用を促進するため、参加者に配布するマップに、ツアーの始点と終点の市バス・地下鉄の最寄り駅を記載し、利用を促す。 また、同内容のデータを区にホームページにもアップロードしている。	11月24日開催	11月21日開催	5月21日開催	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			参加者数 53人	参加者数 41人	参加者数 34人					
4	まち歩きツアー開催案内への地下鉄・市バス情報の掲載	実行委員として上京区役所が参加している「まいまい京都」実行委員会が主催するまち歩きツアーにおいて、各コースの集合場所を電車・バスの駅前等に設定し、公共交通機関の利用を促している。	11月24日開催	11月21日開催				広報・PR	□	
			実績							
			参加者数 68人	参加者数 41人						
5	「上京区民ふれあいまつり」における市バス等のPR	交通局にPRブースの出店を依頼し、トラフィカカードや交通局オリジナルグッズの販売や「地下鉄に乗って「上・中・右京」ふれあいまつりリレー!」スタンプラリーを実施するなど市バス・地下鉄の利用を呼び掛ける。(28年度はスタンプラリー実施なし)	10月26日開催	10月26日開催	10月30日開催 予定	イベントの開催 (10月頃予定)	イベントの開催 (10月頃予定)	イベント 乗車券販売・広告 収入等	○	
			実績							
			来場者数 8,000人	来場者数 8,000人						
6	上京区憲法月間「映画のつどい」・上京区人権月間「講演のつどい」における公共交通機関の利用促進	同志社大学寒梅館ほか、上京区内の施設を利用して開催する事業において、ポスター・チラシに市バス・地下鉄の案内を表示するとともに、地下鉄主要駅へポスターの掲示・チラシの配架を行う。	取組の推進(映画のつどい:5月22日開催、講演のつどい:12月6日開催)	取組の推進(映画のつどい:5月開催、講演のつどい:12月開催)	取組の推進(映画のつどい:5月開催、講演のつどい:12月開催)	取組の推進(映画のつどい:5月開催、講演のつどい:12月開催)	取組の推進(映画のつどい:5月開催、講演のつどい:12月開催)	広報・PR	○	
			実績							
			5月分:842人 12月分:206人	5月分:1,045人 12月分:170人	5月分:1,059人					

【上京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
7	職員の利用促進	職員内で企画する催しの際に、会場までの移動手段として、利用可能な場合は、臨時バスを手配。または、市バスの利用を勧奨。(開催時期未定)	7月29日、9月12日開催	8月7日開催	7月29日開催	イベントの開催	イベントの開催	職員等利用・臨時バスの運行	○	
			実績							
			臨時バス手配 2回	臨時バス手配 1回	臨時バス手配 1回					
8	来庁者に向けた公共交通機関の情報提供	庁舎内に公共交通機関の時刻表を設置し、情報提供することで、来庁者の利用促進を図る。	取組の推進(庁舎のバスロケ付近に時刻表を設置)	取組の推進(庁舎のバスロケ付近に時刻表を設置)	取組の推進(庁舎のバスロケ付近に時刻表を設置)	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
9	行政情報案内テレビモニター広告による公共交通機関の利用促進	庁舎内設置のテレビモニター広告により、公共交通機関の利用促進、啓発を行っている。	新庁舎にてテレビモニター広告の設置を検討	27年度中に設置	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
				庁舎内にテレビモニター広告を設置						

【左京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	ふれあい事業等区主催事業での公共交通機関利用促進	ふれあい事業等区主催事業を市バス・地下鉄沿線で開催する際には、パンフレットに最寄駅やバス停、系統を記載。また、関係団体、参加者に市バス・地下鉄利用を呼び掛ける。啓発ブースを設ける場合は、交通局も開設できるよう配慮する。	取組の推進 7月27日(日) みやこめっせにて実施	取組の推進 7月26日(日) みやこめっせにて実施	取組の推進 7月31日(日)みやこめっせにて実施	取組の推進	取組の推進	イベント 広報・PR	○	
			実績							
			参加者数 6,500人	参加者数 6,000人 ※交通局の啓発ブースを開設	参加者数 5,500人 ※交通局の啓発ブースを開設					
2	来庁者に向けた公共交通機関の情報提供	庁舎内に公共交通機関の時刻表を設置し、情報提供することで、来庁者の利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
3	行政情報案内テレビモニター広告による公共交通機関の利用促進	庁舎内設置のテレビモニター広告により、公共交通機関の利用促進、啓発を行っている。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
				地下鉄に乗るっDVDの放映						
4	広告付き周辺案内図による公共交通機関の利用促進	広告付き周辺案内図において、庁舎周辺のバス停留所等の案内を掲載している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
5	「歩くまち松ヶ崎マップ」の配布	「左京区総合庁舎前」バス停の時刻表とともに、同バス停からの散策モデルコースを掲載したポケット時刻表「歩くまち松ヶ崎マップ」を作成・配布している。	26年度は発行なし	27年度以降の新規作成は予定なし				広報・PR	□	
			実績							
6	来庁者向け市バス・地下鉄情報のホームページへの掲載	左京区役所ホームページにおいて、左京区役所への市バス・地下鉄によるアクセスマップを掲載している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							

【左京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
7	市民しんぶん左京区版の川柳掲載者への(H27～読者プレゼントとして)謝礼に「トトラフィカ京カード」を利用	市民しんぶん左京区版の川柳掲載者への(H27～読者プレゼントとして)謝礼に「トトラフィカ京カード」を利用する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			謝礼として18人にトトラフィカ京カードを送付	読者プレゼントとして36人にトトラフィカ京カードを送付						
8	「左京旬の朝市」の開催	「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画(第2期))に基づき、農林業の振興やエコライフの実践を目指し、地元の旬の農産物を地元で消費することで、農業を守り、地域活性化や二酸化炭素の抑制を図る「地産地消」に向けた「左京旬の朝市」を開催する。	取組の推進	取組の推進				イベント	□	
			実績							
			7/4、12/31に開催	7/10、12/31に開催	取組終了					
9	「伝統行事ぐるり旅」の発行	左京区内の国指定・市登録無形民俗文化財をはじめとした地域の伝統行事の解説・実施日時・アクセス等を掲載した冊子を発行する。	取組の推進	27年度以降の新規作成は予定なし				広報・PR	□	
			実績							
			「左京伝統行事ぐるり旅2015」を区役所・出張所、図書館、大学、観光案内所等へ3,000部配布							
10	「おつぎのまつり 左京伝統行事ガイド」の発刊	左京区内の国指定・市登録無形民俗文化財をはじめとした地域の伝統行事の解説・実施日時・アクセス等を掲載した冊子を発行する。	取組の推進	28年度以降の新規作成は予定なし				広報・PR	□	
			実績							
				「おつぎのまつり 左京伝統行事ガイド」を7,000部発刊						

【中京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	テレビモニター広報による市バス・地下鉄利用の呼びかけ	区役所設置のテレビモニターを利用し、市バス・地下鉄の利用を呼び掛ける。	区役所庁舎内のテレビモニターによる広報の実施	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績	—	地下鉄に乗るDVDの放映	地下鉄に乗るDVDの放映				
2	「はんなり中京マップ」拡大版の掲示	地下鉄等の駅やバス停などを掲載している同マップの拡大版を庁内等に掲示することで来庁者や観光客等の公共交通機関利用を促進。	区役所庁舎内等への掲示	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績	—						
3	中京しんぶんの読者プレゼントとして「トライフ리카カード」利用	中京しんぶん(市民しんぶん中京区版)の読者プレゼントとして同カードを利用し、地下鉄(市バス)の利用を促進	22年7月15日号以降、同カードを利用(毎号3枚)	引き続きクイズの景品として「トライフ리카カード」を使用	引き続きクイズの景品として「トライフ리카カード」を使用	引き続きクイズの景品として「トライフ리카カード」を使用予定		乗車券販売・広告収入等	○	
			実績	中京区民世帯数 58,251世帯 (26.4.1現在)	中京区民世帯数 58,927世帯 (27.4.1現在)	中京区民世帯数 59,582世帯 (28.4.1現在)				
4	「中京区民ふれあいまつり」における地下鉄利用の促進	ふれあいまつり開催の広報活動を通じて、地下鉄(市バス)利用を呼び掛けるとともに、当日は交通局ブースを出店しトライフ리카カードの販売等を行う。(平成25年度から、「地下鉄に乗って「上・中・右京」ふれあいまつりリレー！」スタンプラリー」を実施。)	10月26日(日)実施	10月25日(日)実施	10月30日(日)実施	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績	来場者数 23,000人	来場者数 23,000人					
5	広告付き周辺案内図における公共交通機関利用促進	庁舎内広告付き周辺案内図において、庁舎周辺バス停留所及び地下鉄時刻表を掲載。	周辺地図を利用した公共交通機関の利用促進の呼び掛け	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績	—	バス・地下鉄の時刻表と乗り場マップを掲示	バス・地下鉄の時刻表と乗り場マップを掲示				
6	高瀬川開削400周年記念事業の推進	高瀬川開削400周年を記念に、地元団体等と連携した事業を開催する。	地元中心に開削400周年記念事業を実施(8月～H27.1月)					イベント、広報・PR	□	
			実績	関連イベント数 15件						
7	職員の利用促進	職員が企画するイベント等について、参加者に集合場所までの交通手段として、公共交通機関を積極的に利用するよう呼び掛ける。	利用促進の呼びかけ	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント、広報・PR	○	
			実績	—	—	—	—			

【中京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
8	各種イベントへの公共交通機関利用促進	中京区が実施する各種イベント参加者に公共交通機関の利用を積極的に呼び掛ける。	利用促進の呼びかけ	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント、広報・PR	○	
			実績							
			-	-	-	-	-			
9	中京ベビーズサポートマーケット「抱っこで楽々！なかまち歩き」	中京ベビーズサポートマーケット事業のイベントとして、親子で地下鉄に乗って外出する手助けをするとともに、地下鉄乗換方法の説明や、運転手さんの帽子を被って記念撮影等、地下鉄に親しんでもらう。また、地下鉄1DAYチケットをプレゼントし、公共交通機関の利用促進を図る。	-	10月30日開催				イベント、広報・PR	□	
			実績							
			-	14組参加						

【東山区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	東山区来訪者向けホームページへの市バス・地下鉄情報の掲載	公共交通機関の利用を促進するため、東山区各名所へのアクセス情報を公共交通機関の情報に限定し、また、区内各観光名所やイベント情報の掲載には、市バス・地下鉄の最寄り駅などを紹介するほか、交通局や便利な乗車券を紹介するページにもリンクさせる。 (URL: http://higashiyama-kanko.jp/access/index.html)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			当HPに市バス・地下鉄情報を掲載	当HPに市バス・地下鉄情報を掲載	当HPに市バス・地下鉄情報を掲載					
2	東山「観光・交通・環境」協力会議との協働による取組の推進	市バス・地下鉄などの公共交通機関利用を促す観光散策マップの発行など、歩いて楽しむ観光を推進する。また、連休や秋の観光シーズンなど、人出の混雑が予想される際には交通誘導員を配置し、安全に散策できるような環境づくりに取り組む。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			・観光散策マップの発行 ・交通誘導員の配置等	・観光散策マップの発行 ・交通誘導員の配置等	・観光散策マップの発行 ・交通誘導員の配置等					
3	東山区民ふれあいひろばにおける参加者の市バス・地下鉄の利用促進	広報時に、会場までの交通手段として公共交通機関の利用を促す文言を掲載する。また、当日は交通局ブースを出店しトラフィカ京カードの販売等を行う。	取組の推進 5月25日(日)開催	取組の推進 5月24日(日)開催	取組の推進 5月22日(日)開催	取組の推進	取組の推進	イベント 乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			来場者数 14,000人	来場者数 14,000人	来場者数 14,000人					
4	職員の利用促進	職員向けに企画する催しにおいて、トラフィカ京カードの利用を促進する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	職員等利用 乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			区厚生会事業における賞品として千円×20枚購入	区厚生会事業における賞品として千円×45枚購入	区厚生会事業における賞品として購入予定					
5	各種ふれあい事業における景品等でのトラフィカ京カードの活用	ふれあいひろばにおける景品にトラフィカ京カードを選定する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			各事業の運営ボランティアへの謝礼としてトラフィカ京カードを配付	各事業の運営ボランティアへの謝礼としてトラフィカ京カードを配布	ふれあいひろばの景品としてトラフィカ京カードを配布					
6	ふれあい文化財鑑賞会における公共交通機関の利用促進	東山区内の社寺等をスタンプラリー方式で巡るふれあい文化財鑑賞会事業において、パンフレットに最寄りのバス停を記載するなどし、公共交通機関の利用促進を図る。	取組の推進 10月11日(土)開催	取組の推進 10月17日(土)開催	取組の推進 10月22日(土)開催	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			参加者数232人	参加者数208人						

【東山区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
7	こちら東山(市民しんぶん東山区版)の読者プレゼントとして「トラフィカ京カード」利用	こちら東山(市民しんぶん東山区版)の読者クイズの景品として同カードを利用し、地下鉄(市バス)の利用を促進	26年4月15日号以降、読者クイズの連載を開始(隔月連載)その景品として同カードを利用(千円分を3枚)	引き続きクイズの景品として「トラフィカ京カード」を使用	同左	同左	同左	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			4月15号から隔月で実施。計18人にトラフィカ京カードをプレゼント	4月15号から隔月で実施。計15人にトラフィカ京カードをプレゼント	4月15号から隔月で実施。計18人(予定)にトラフィカ京カードをプレゼント					
8	「未来への光～東山 天空のライトアップ～」の実施	東山「観光・交通・環境」協会創設10周年記念事業として、清水寺、高台寺、建仁寺、六波羅蜜寺及び東山区役所の5箇所から、西の夜空に向けて期間中五色の光を照射した他、地域の方々が案内する東山の「まち歩き」や清水焼窯元による「子ども陶芸くらぶ」などのイベントを実施		9月19日～23日開催				イベント	□	
			実績							
				・「未来への光～東山 天空のライトアップ」臨時バスの運行 ・地下鉄、市バス車内でのポスター広報の実施						

【山科区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	京都・やまな観光ウィークの実施	10月から12月までの区内でイベントが集中する期間を「観光ウィーク」として設定し、この期間内のイベントを区内外に広く周知した。 また、「琵琶湖疏水通船復活」試行事業にあわせて、山科で乗下船される方をはじめ山科を訪れる方に、疏水近辺を歩いて楽しんでいただけるよう「山科散歩 疏水編」を発行した。 ※27年度から、山科・感動ツーリズム推進事業に統合し実施。	区内開催イベントの周知	27年度より、No.4の「山科・感動ツーリズム推進事業」に統合				広報・PR	□	
			実績							
			観光ウィークチラシ配布枚数：約15,000部 「山科散歩 疏水編」発行部数：3,000部							
2	「おこしやす“やまな”協議会」による市バス・地下鉄の利用促進の取組	以下の取組を実施。 ①京都観光一日乗車券(山科・醍醐拡大版)の販売促進(乗車券利用当日、提示した方に山科区の4寺院の拝観料割引を実施。乗車券販売期間中) ②協議会HPによる広報・PR(地下鉄を利用した山科区へのアクセス方法などを掲載)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			観光マップ等を、草津駅前(滋賀県)等で配布。配布枚数：年間約10,000部	観光マップ等を配布。配布枚数：年間約10,000部	-	-	-			
3	京都観光一日乗車券(山科・醍醐拡大版)の販売促進	販売促進策として、市民しんぶん山科区版でのPR、区内イベントのPRに合わせたPR等を実施。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			京都サンガF.C.山科区民デー(平成26年9月28日開催)でチラシを配布。チラシ配布枚数：約500部	京都サンガF.C.山科区民デー(平成27年9月23日開催)でチラシを配布。同日、同乗車券がもらえるキャンペーンを実施。チラシ配布枚数：約500部	京都サンガF.C.山科区民デー(平成28年9月25日開催)でチラシを配布。チラシ配布枚数：約500部	-	-			
4	京都・やまな観光ウィーク事業	地下鉄東西線の乗客増と山科地域の観光活性化を図るため、地元住民と行政、交通事業者等との協働の下、山科地域の潜在的な観光資源の掘り起し、磨き上げを実施。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PRイベント	○	
			実績							
			①来場者数：10,012人(平成26年11月15日～30日) ②区内各地で、計11回のプログラムを実施 ③会員情報と利用時の特典付のマップを配布(平成26年10月11日～) ④随心院(平成26年11月15日、16日)、東野公園(平成26年12月13日、平成27年2月21日、22日)にて実施 ⑤サポータークラブの会員店舗等めぐるスタンプラリーを実施(平成26年10月11日～12月31日) ⑥山科駅前の飲食店を中心に実施(平成26年11月15日～30日) ⑦コトチカ京都にて、事業のチラシを配布(平成26年11月7日)	区内寺社の紅葉情報や、やまな駅前陶灯路など、区内の秋のイベント情報を紹介する冊子(山科散歩秋)とポスターを作成。山科散歩秋発行部数：6,000部	区内寺社の紅葉情報や、やまな駅前陶灯路など、区内の秋のイベント情報や区内の観光地等を紹介する冊子(山科ぶらり)とポスターを作成。発行部数：10,000部	-	-			

【山科区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
5	アートロードなぎつじ	柳辻駅の地下通路壁面に設置した芸術作品を展示できるスペースを活用し、山科区民に作品発表の機会を提供することにより、創作活動を支援するとともに、駅の賑わいを創出した。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			展示申込数：11件	展示申込数(累計、平成28年3月31日現在)：27件	展示申込数(累計、平成28年10月25日現在)：11件	-	-			
6	「山科区エコアクションNo.1宣言」参加者の地下鉄利用促進	山科区役所(柳辻駅)で開催予定のイベントの実施に当たり、案内チラシ等で地下鉄利用を呼び掛ける。また、地球温暖化防止の取組を推進することで、地下鉄等の公共交通機関の利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進				広報・PRイベント	□	
			実績							
			9月13日実施 参加者約500名 みんなのエコアクション山科表彰式賞品として トラフィカを贈呈(6枚)	9月12日実施 参加者約500名 みんなのエコアクション山科表彰式賞品として トラフィカを贈呈(6枚)						
7	「ふれあい“やましな”区民ふれあい文化祭」参加者の地下鉄利用促進	開催場所を東部文化会館(柳辻駅付近)とし、案内チラシ等で地下鉄利用を呼び掛ける。また、「区民ギャラリー」の賞品等に、できる限りトラフィカ京カードを利用する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進 (2月実施予定)	取組の推進 (2月実施予定)	取組の推進 (2月実施予定)	広報・PRイベント、乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			2月22日実施 参加者延べ約4,400人	2月28日実施 参加者延べ約4,600人	-	-	-			
8	山科区公共交通利用促進協議会の取組の推進	平成22年度の「山科区交通問題研究会報告書」において、既存の交通システムの改善方策として、平成23年度に設立することとした「山科区公共交通利用促進協議会」を立ち上げた。協議会では、山科区の公共交通ネットワークの充実に向けて、公共交通の利用促進と利便性向上を図るため、公共交通事業者と関係行政機関が情報共有と意見交換を行う。	山科区の交通問題の改善に向けた取組の推進	山科区の交通問題の改善に向けた取組の推進	山科区の交通問題の改善に向けた取組の推進	山科区の交通問題の改善に向けた取組の推進	山科区の交通問題の改善に向けた取組の推進	その他	○	
			実績							
			-	-	-	-	-			
9	市民啓発事業における公共交通機関の利用促進	人権月間の啓発イベント実施にあたり、案内チラシ等で地下鉄利用を呼びかける。	取組の推進	取組の推進	取組の推進 (12月実施予定)	取組の推進 (12月実施予定)	取組の推進 (12月実施予定)	広報・PR	○	
			実績							
			12月5日実施 参加者約550名	11月28日実施 参加者約550名	-	-	-			
10	山科区役所職員に対する市バスの利用喚起	山科区役所全職員に対して、市バスの現状を周知し、通勤利用及び私的利用を促進。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	職員等利用	○	
			実績							
			職員数 278人 (再任用、非常勤含む。)	職員数 237人 (再任用、非常勤含む。)						

【山科区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
11	山科区「区民歩こう会」参加者の地下鉄利用促進	毎年12月に開催している山科区「区民歩こう会」では事前にコースを設定し、集合場所まで及び解散場所から地下鉄を利用することを促進している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進 (12月実施予定)	取組の推進 (12月実施予定)	取組の推進 (12月実施予定)	広報・PR	○	
			実績							
			12月7日実施 参加者約300人	12月6日実施 参加者約300人	-	-	-			
12	山科区制40周年記念事業の実施	平成28年は山科区制40周年を迎えることから、区内各所でそれを祝した記念事業を実施する。			【山科疏水花見大会】 日程:4月3日(日) 実施 場所:一燈園付近 参加者:約3,000名 【子ども文化芸術体験(仮称)】 日程:8月11日(木・祝)他 場所:東部文化会館他 【山科区制40周年記念切手】 発売日:8月22日(月) 場所:山科区役所 販売部数:1000シート 【光のアートフェスタin山科】 日程:10月29日 場所:新十条通 【ART FESTA(仮称)】 日程:11月2日(水)他 場所:東部文化会館 【山科検定】 日程:12月18日(日) 場所:山科区役所(予定) 【グルメフェスタ(仮称)】 日程:延期(実施日未定) 場所:東野公園(予定)			広報・PR イベント	○	
			実績							
					【山科疏水花見大会】 参加者:約3,000名 【やましな古代体験教室】 参加者:57名 【やましなサマーコンサート】 参加者: (1部)30名 (2部)230名 【山科区制40周年記念切手】 販売実績:791 シート(10月25日現在)					

【下京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	下京区総合庁舎来庁者への駐輪場等利用促進	身体障害者用3台を除き、駐車を廃止し、駐輪場を拡充を図った。引き続き自動車中心社会から公共交通機関と徒歩、自転車の利用への転換を促す。	22年10月15日供用開始	継続推進	継続推進	継続推進	継続推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-						
2	「下京区ふれ愛ひろば」参加者の市バス・地下鉄の利用促進	梅小路公園でイベントを開催。参加者に公共交通機関の利用を呼びかける。	参加者に公共交通機関の利用を呼び掛け。(11月9日(日))	参加者に公共交通機関の利用を呼び掛け。(11月8日(日))	参加者に公共交通機関の利用を呼び掛け。(11月13日(日))	継続推進	継続推進	イベント	○	
			実績							
			参加者数約7,000人	参加者数約5,000人						
3	モニター広告による市バス・地下鉄の利用案内の放映	モニター広告を利用し、市バス・地下鉄の利用を呼び掛ける。	来庁時の公共交通機関利用を呼び掛け	継続推進	継続推進	継続推進	継続推進	広報・PR	○	
			実績							
			来庁時の公共交通機関利用を呼び掛け	・来庁時の公共交通機関利用を呼び掛け ・地下鉄に乗るっDVDの放映	・来庁時の公共交通機関利用を呼び掛け ・地下鉄に乗るっDVDの放映	-	-			
4	市バス利用の啓発	庁舎入口に市バスの時刻表を掲示し来庁者の利用を促進している。	庁舎入口に市バスの時刻表を掲示	継続推進	継続推進	継続推進	継続推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-						
5	広告付き周辺案内図における市バス利用の利用案内	庁舎入口に設置している広告付き周辺案内図に、庁舎周辺及び京都駅にバス乗り場の案内を掲載している。	庁舎1階に周辺案内図を設置	継続推進	継続推進	継続推進	継続推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-						
6	公共交通情報チラシの配布	下京区内の公共交通マップを配架し、公共交通の利用を促進している。	公共交通マップを配架	継続推進	継続推進	継続推進	継続推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-						

【下京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度				
7	しもぎょう、歴史、文化、まち探訪スタンプラリーへの参加記念品として市バス1日乗車券を配付(3月22日利用拡大のPRをかねて)	区内にある魅力ある施設を、徒歩や市バス等の公共交通機関を使って個々に巡るスタンプラリー等を開催。また、参加の際は、公共交通機関の利用を呼び掛ける。	参加者に公共交通機関の利用を呼び掛け。(3月14日(土))						イベント	□	
			実績								
			参加者数 349人								
8	フォトロゲイニングにおける参加者への公共交通利用促進及び会場での1日乗車券の販売	市内の史跡や文化施設をチームごとに巡るフォトロゲイニングを開催。特別ルールとして市バス・地下鉄など公共交通機関の利用を可能とするなど公共交通の利用促進を図る。また、大会当日、1日乗車券を会場で販売する。	参加者に公共交通機関の利用を呼び掛け。(3月19日(土)) 参加者への1日乗車券の購入案内	参加者に公共交通機関の利用を呼び掛け。(3月18日(土)予定) 参加者への1日乗車券の購入案内	継続推進	継続推進			イベント	○	☆
			実績								
			参加者数209人 1日乗車券販売数(大人73枚、子ども9枚)								
9	市民しんぶん下京区版「下京のひびき」の読者プレゼントとして「トラフィカ京カード」利用	市民しんぶん下京区版「下京のひびき」の読者プレゼントとして「トラフィカ京カード」を利用し、地下鉄(市バス)の利用を促進を図る。	偶数月に掲載のクイズの景品として「トラフィカ京カード」を利用(毎月2枚)	継続推進					乗車券販売・広告収入等	□	
			実績								
			2枚 (大人500円)	5枚 (大人500円)							
10	職員の利用促進	定例所属長会等を通じ、下京区役所職員に対し、市バス、地下鉄の利用促進を図る。	公共交通機関利用の協力依頼	継続推進	継続推進	継続推進	継続推進		職員等利用	○	
			実績								
			下京区役所職員206人	下京区役所職員217人	下京区役所職員194人						
11	「区歩こう会」参加者への利用啓発	下京区厚生会事業「歩こう会」を実施するにあたり、公共交通機関の利用促進を図る場所の設定や、参加者に公共交通機関の積極的な利用を促す。	公共交通機関利用を呼び掛け。(3月21日(土・祝))	公共交通機関利用を呼び掛け。(3月21日(月・祝))	継続推進(11月5日(土)予定)	継続推進	継続推進		イベント	○	
			実績								
			参加者数 約50人	参加者数 約40人							
12	下京区「サマーフェスタ」参加時における市バス等の利用促進	事業の周知を行う際には、チラシ、ポスター、市民しんぶん区版に、地下鉄・市バス等公共交通機関の利用を呼び掛ける。	イベントへの公共交通機関利用を呼び掛け。(8月2日(土))	イベントへの公共交通機関利用を呼び掛け。(8月1日(土))	イベントへの公共交通機関利用を呼び掛け。(8月20日(土))	継続推進	継続推進		広報・PR	○	
			実績								
			約17,500人	約18,000人	約27,000人						
13	憲法月間、人権月間の参加における市バス・地下鉄の利用促進	事業の周知を行う際には、チラシ、ポスター、市民しんぶん区版に、地下鉄・市バス等公共交通機関の利用を呼び掛ける。	イベントへの公共交通機関利用を呼び掛け	イベントへの公共交通機関利用を呼び掛け	イベントへの公共交通機関利用を呼び掛け	継続推進	継続推進		広報・PR	○	
			実績								
			憲法月間:192人 人権月間:161人	憲法月間:84人 人権月間:196人	憲法月間:232人 人権月間:12月6日						

【下京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
14	下京歩歩(ぼっぼ)塾歩こう会参加者の市バス・地下鉄利用促進	ウォーキングによる地域ぐるみの健康づくり活動を行っている下京歩歩(ぼっぼ)塾による「歩こう会」を開催する際、参加者に公共交通機関の利用を呼び掛ける。	・第2回歩こう会の実施 (6月14日) ・第3回歩こう会の実施日時(11月29日)	・第4回歩こう会の実施 (12月5日)				イベント	□	
			実績							
			第2回参加者数 91人 第3回参加者数 66人	参加者数65人						
15	区役所主催・関連事業における市バス等のPR・公共交通機関の利用促進	事業の周知を行う際には、チラシ、ポスター、市民しんぶん区版に、地下鉄・市バス等公共交通機関の利用を呼び掛ける。	イベントへの公共交通機関利用を呼び掛け	継続推進	継続推進	継続推進	継続推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-						
16	観光施設等のパンフレット等において市バス等のPR・公共交通機関の利用促進の掲載依頼	観光施設等のパンフレット、ポスター等に、地下鉄・市バス等公共交通機関を利用した経路や、利用促進の協力についての掲載を依頼する。	公共交通機関利用を呼び掛け	継続推進	継続推進	継続推進	継続推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-						
17	「下京区シニアおでかけマップ」において地下鉄・市バス等の利用啓発	地域や高齢サポート(地域包括支援センター)等の関係機関に平成26年度に作成した「下京区シニアおでかけマップ」を配布し、区内の身近な場所にあるお薦めスポット等を紹介することにより地下鉄・市バス等の利用促進を図る。	マップを配布	継続推進	継続推進	継続推進	継続推進	広報・PR	○	
			実績							
			24種類 各1,000部発行	・5月15日号市民しんぶん区版に掲載 ・ケーブルTV「京都みやびじょん」で放映(6/16~6/30) ・下京区ホームページに掲載(7/17) ・「下京区高齢者の便利帳・シニアお出かけマップ」(地域包括支援センターが発行)に移行・継承した。 公共交通の情報をより盛り込んだ改訂版を継承先にて作成中						
18	「下京親子Deおさんぽ公園Map」において地下鉄・市バス等の利用促進	市民しんぶん下京区版平成27年3月15日号の挟み込み誌面に掲載した「下京親子Deおさんぽ公園Map」において、各公園の紹介欄に最寄駅やバス停を併記することにより、公共交通機関の利用促進を図る。	しんぶん挟み込みMapを配布					広報・PR	□	
			実績							
			約42,000部発行							

【南区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	投票所における市バス時刻表の掲示	各種選挙の期日前投票所に最寄りのバス停の時刻表を掲示。	期日前投票所に市バス時刻表を掲示。	取組推進	取組推進	取組推進	取組推進	広報・PR	○	
			実績							
			府知事選挙及び衆議院選挙の際に掲示。	京都市長選挙の際に掲示。	参議院選挙の際に掲示。					
2	南区役所が主催する屋外イベント等における参加者に対する公共交通機関の利用促進	参加者に対して、パンフレットや区民しんぶん等による広報の際に、市バス・地下鉄の利用促進を呼び掛ける。	南区民ふれあいまつり(11月)、みなみちびっこエコひろば(2月)の際に実施。	南区民ふれあいまつり(11月)、みなみちびっこエコひろば(2月)の際に実施。	南区民ふれあいまつり(11月)、みなみちびっこエコひろば(2月)の際に実施予定。	取組推進	取組推進	広報・PR	○	
			実績							
			・南区民ふれあいまつり(11月9日) 来場者約20,000人 ・みなみちびっこエコひろば(2月28日) 来場者約700人	・南区民ふれあいまつり(11月8日) 来場者約20,000人 ・ちびっこエコひろば(2月20日) 来場者約850人						
3	南区が主催する講演会やシンポジウムにおける公共交通機関の利用促進	参加者へ来場の際に市バス・地下鉄を利用するよう啓発活動を行う。	人権映画鑑賞会(8月)や人権講演会(12月)文化芸術フェスティバル(2月)の際に実施。	人権映画鑑賞会(8月)や人権講演会(12月)文化芸術フェスティバル(2月)の際に実施。	取組推進	取組推進	取組推進	イベント	○	
			実績							
			・人権映画鑑賞会(8月5日) 来場者約350人 ・人権講演会(12月12日) 来場者約340人 ・文化芸術フェスティバル(2月22日) 来場者約300人	・人権映画鑑賞会(8月7日) 来場者約250人 ・人権講演会(12月18日) 来場者約230人 ・文化芸術フェスティバル(2月28日) 来場者約300人	・人権映画鑑賞会(8月5日) 来場者約350人					
4	南区と区内の企業で共催する見学会における公共交通機関の利用促進	見学会のしおりや市民しんぶん南区版の案内記事において、公共交通機関の利用促進を記載している。	南区企業の“知”活用促進事業の際に実施	取組推進	取組推進	取組推進	取組推進	イベント	○	
			実績							
			3企業で実施(参加者数計74人)	3企業で実施(参加者数66人)	1企業で実施(参加者数27人)					
5	職員の利用促進	南区役所職員厚生会事業等において、トライフ리카カード等の交通局乗車券も活用し、交通局の臨時バスの利用を検討する。	職員厚生会事業等の景品としてトライフ리카カード等を利用	取組推進	取組推進	取組推進	取組推進	臨時バスの運行乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			ボウリング大会の景品として活用。	ボウリング大会及び、かるた大会の景品として活用。						

【南区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
6	南区が発行・更新する市民しんぶんやHPなどの広報媒体を利用した公共交通機関の利用促進	南区が発行・更新する市民しんぶんやHPなどの広報媒体を利用し、公共交通機関の利用促進についても情報発信を積極的に行っていく。	市民しんぶん発行時やHP更新時に適宜実施	取組推進	取組推進	取組推進	取組推進	広報・PR	○	
			実績							
			・市民新聞発行: 4万7千部(毎月) ・HP閲覧: 9千人(毎月)	・市民新聞発行: 4万7千部(毎月) ・HP閲覧: 1万人(毎月)	・市民新聞発行: 4万7千部(毎月) ・HP閲覧: 8千人(毎月)					
7	南区役所関連事業の参加者等への記念品としてトラフィカ京カード等の交通局乗車券の活用	南区役所が実施する事業等に参加していただいた市民等に記念品としてトラフィカ京カード等の交通局乗車券を提供することで、公共交通機関の利用促進を図る。	南区企業の“知”活用促進事業の参加者や市民しんぶん南区版のクイズコーナー「ぶらり散策」の当選者等にトラフィカ京カードを贈呈	取組推進	取組推進	取組推進	取組推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			3企業で実施(参加者数74人)	3企業で実施(参加者数66人)	1企業で実施(参加者数27人)					
8	来庁者に向けた公共交通機関の情報提供	庁舎内で公共交通機関の時刻表を設置し、情報提供をすることで、来庁者の利用促進を図る。	庁舎内に市バスの時刻表を掲示	取組推進	取組推進	取組推進	取組推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-						
9	南区の行政機関における公共交通機関利用促進の連携	区内の行政機関で構成される南区行政推進会議において、公共交通機関の利用促進について議題に取り上げ、促進に向けた連携について考える。	公共交通機関の利用促進、連携について検討	取組推進	取組推進	取組推進	取組推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-						
10	広告付き周辺案内図における公共交通機関利用促進	庁舎内広告付き周辺案内図において、庁舎周辺バス停留所及び経路案内を掲載している。	周辺地図を利用した公共交通機関の利用促進の呼び掛け	取組推進	取組推進	取組推進	取組推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-						
11	広告モニターを利用した公共交通機関利用促進及び交通局関連情報の放映	庁舎内広告モニターにおいて、公共交通機関の利用促進、啓発を行っている。	モニターを利用した公共交通機関の利用促進の呼び掛け及び交通局関連情報放映	取組推進	取組推進	取組推進	取組推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	地下鉄に乗るっDVDの放映						
12	区制60周年記念「だいきっ!南区、マンガ記念誌」の発行・配布	平成27年度に迎える南区制60周年記念事業の第一弾として、区民参加のもと、漫画による記念誌を制作し、南区の観光資源や魅力を発信することによって、観光客を誘致し、公共交通機関利用促進につなげる。	記念誌の発行	記念誌の配布・配架	記念誌の配布・配架			広報・PR	○	
			実績							
			4つのテーマで各1万部発行	4つのテーマで計2万9千部配布又は配架	区役所の窓口で配布					

【南区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
13	南区制60周年記念事業	平成27年度が南区制60周年を迎えるのを記念して、区内・区外からも集客が見込めるような事業を実施し、公共交通機関利用促進につなげる。		・区民交流事業 ・羅城門、西寺のARによる再現 ・ウォーキングイベント等を検討				イベント公共交通への転換	□	
			実績							
			—	・区役所ロビー及び南区民ふれあいまつりで開催した「南区なつかしの写真展」で路面電車と市バスを紹介。 ・写真提供者10人に記念品としてトラフィカ京カードを進呈。						
14	AR「羅城門」、AR「西寺」	花園大学と連携して、「羅城門」等をコンピューターグラフィックスで復元し、スマートフォンやタブレットなどで見ることができるAR(拡張現実)を作成する。これにより、南区の新たな観光資源の創出と地域の活性化を図るとともに、国内外から訪れる観光客に広く発信する。		・AR「羅城門」等のARによる再現	・AR「羅城門」の配信、西寺等のARによる再現			イベント公共交通への転換	○	
			実績							
			—	・AR「羅城門」アプリダウンロード数:470 ・AR「羅城門」広報チラシを日英計1千400部配布又は配架						

【右京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	サンサ右京の施設設備を活用した地域振興事業等の実施	自治会連合会をはじめとする区民団体等とのきょうかんにより、サンサ右京「区民ロビー」をはじめとする施設設備を、福祉屋台（福祉施設の手づくり製品の展示販売）など、柔軟な発想で幅広く活用し、地下鉄の利用促進につながる事業を展開。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
2	区役所主催・関連事業における市バス等のPR・公共交通機関の利用促進	事業の周知を行う際には、市民しんぶん区版やポスターに、市バス等公共交通機関の利用を呼び掛ける。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
3	ふれあい事業等での公共交通機関利用促進	右京区民ふれあいフェスティバルにて、「地下鉄に乗って」「上・中・右京」ふれあいまつりリレー！「スタンプラリー」を実施。	10月25日開催	10月24日開催	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント、公共交通への転換、広報・PR	○	
			実績							
4	テレビモニター広告による市バス・地下鉄の利用案内の放映	区役所に設置している5台の広告用テレビモニターを利用し、市バス・地下鉄の利用を呼び掛ける。22年6月から実施中。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
5	来庁者に向けた地下鉄・市バスの情報提供	区役所内に市バス・地下鉄時刻表を貼り出し、来庁者の利便性向上とともに利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
6	南太秦学区におけるモビリティ・マネジメントの取組	地下鉄東西線の延伸に合わせて市バス70号系統が新設されたことを契機に、ワークショップの開催、啓発冊子やポケット時刻表の制作など、モビリティ・マネジメント（一人ひとりが歩く暮らしを大切にすることによって、クルマを重視したまちと暮らしから、歩くことを中心としたまちと暮らしに転換するための施策）の取組を展開。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	公共交通への転換	○	
			実績							
7	サンサ木づかい大作戦「ベレットストーブ展示会」	サンサ木づかい大作戦「ベレットストーブ展示会」をサンサ右京で開催するにあたり、交通局・嵐電と連携し、イベントを同日開催することで集客の相乗効果を生みだす。	12月20日開催	26年度で展示会終了				イベント、広報・PR	□	
			実績							
8	住民と利用者にやさしいまち・西院プロジェクト	地域の協議体を立ち上げ、放置自転車問題解決と公共交通利用促進を目指した啓発を行うと同時に、西院地域が抱える安心・安全に関する様々なテーマについて、住民や警察等とのワークショップを実施。	ワークショップの開催 公共交通利用促進のための施策実施	刑犯罪防止を目的とする活動となるため終了扱いとする。				公共交通への転換、その他	□	
			実績							

【西京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	市バスの利用促進に向けたPR	イベント等の参加者や区役所への来庁者に対して、できるだけ多くの方に市バスを御利用いただけるようPRに努める。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-	-	-	-			
2	来庁者向け市バス情報のホームページへの掲載による市バスの利用促進	西京区役所へのアクセスに関する市バスの情報をホームページに掲載し、来庁者に活用してもらうことを通じ、市バスの利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			引き続き、HPに掲載	引き続き、HPに掲載	-	-	-			
3	「西京ウォーキングマップ～地域の魅力再発見～」の配付やホームページへの掲載を通じた市バス等公共交通の利用促進	市バスの停留所等を起終点とする8つのコースを設定した「西京ウォーキングマップ～地域の魅力再発見～」を西京区役所等で配布するとともに、コースごとに主要駅と起終点を結ぶ市バス等の系統番号など、より詳細な情報も加えホームページに掲載することを通じ、区民はもとより、市民や観光客にも幅広く活用してもらい、市バス等公共交通の利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			冊子の配付及びHPへの掲載	冊子の配付及びHPへの掲載(上半期で冊子の配付終了)	冊子の配付及びHPへの掲載	-	-			
4	西京塾との連携により作成した「市バス29号系統で巡る西京区の自然環境」の配布を通じた市バスの利用促進	自主的なまちづくり活動を行う「西京塾」のメンバーと協働し、西京区内を走る市バス沿線の見所を紹介する「市バス29号系統で巡る西京区の自然環境」を作成し、広く配布することにより、市バスの利用促進を図る。	マップの配布	マップの配布	マップの配布	マップの配布	マップの配布	広報・PR	□	
			実績							
			-	-	-	-	-			
5	西京区魅力再発見ふれあいウォーキングを通じた市バス等公共交通の利用促進	「西京ウォーキングマップ」を活用して、区民との協働により実施する「ふれあいウォーキング」について、市バスの停留所が起点や終点となることを考慮しながらコースを設定する等、市バス等公共交通の利用促進を図る。	取組の推進(6月8日に実施)	取組の推進(6月7日に実施)	別事業で実施(区制40周年事業として「歩こう会」を実施するため、ふれあいウォーキングは実施せず)	取組の推進		イベント	○	
			実績							
			参加者数 87人	参加者数 94人	-	-	-			
6	職員の利用促進	職員間において企画する催し等の交通手段として、できるだけ市バス、地下鉄を利用するよう周知する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	職員等利用	○	
			実績							
			厚生会事業の実施時に周知	厚生会事業の実施時に周知	-	-	-			

【西京区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
7	「DO YOU KYOTO? 西京デー」を通じた公共交通機関の利用促進	<p>(平成27年度) 「DO YOU KYOTO? 西京デー」の取組として、希望者を対象にした、無料のゆかた着付け教室を開催し、自分でゆかたを着られるようにしてもらい、夏祭りなどのイベントに市バス・地下鉄などの公共交通機関を利用して、ゆかた姿で積極的に外出してもらうようにする。 (平成28年度) 「DO YOU KYOTO? 西京デー」の取組として、子どもを対象とした環境教室を開催し、環境に関する興味・関心を高め、環境にやさしいライフスタイルの不急等を図る。</p>	取組の推進 (平成26年9月6日に実施)	取組の推進 (平成27年7月4日・5日に実施)	事業内容の見直しを行い、子どもを対象とした「環境にやさしい取組」をテーマにした環境教室として実施。(アクションプランとしては実施せず。)			イベント	□	
			実績							
			参加者数 24人	参加者数 38人						
8	人権月間「西京区民映画のつどい」における市バス等公共交通の利用促進	西文化会館ウエスティで開催する人権月間「西京区民映画のつどい」の取組において、公共交通機関を活用して来場するよう入場はがきに記載すること等を通じ、市バス等公共交通の利用促進を図る。	取組の推進 (12月13日に実施)	取組の推進 (12月12日に実施)	取組の推進 (12月10日に実施予定)			イベント	○	
			実績							
			参加者数 233人	参加者数 362人	-	-	-			
9	松陽学区におけるモビリティ・マネジメントの推進	25年度から松陽学区で実施しているモビリティ・マネジメントを他の学区においても実施できるよう働きかけ、市バス・地下鉄の増客を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-	-	-	-			

【洛西支所】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	市バスの利用促進に向けたPR	イベント(西京区民ふれあいまつり、「風土・food大原野」事業等)の参加者や区役所への来庁者に対して、できるだけ多くの方に市バスをご利用いただけるようPRに努める。	11月15日(ふれあいまつり)、11月29日(風土・food大原野)に実施	9月19日(え！？今頃ひまわり大原野)、10月23日～27日(フジバカマ祭り)に実施 11月21日(ふれあいまつり)、11月28日(風土・food大原野)に実施	11月19日(西京区民ふれあいまつり)、11月26日(風土・food大原野)に実施予定			取組の推進	取組の推進	〇
			実績							
			来場者数 ・14,800人(ふれあいまつり) ・7,000人(風土・food大原野)	来場者数 ・4,000人(え！？今頃ひまわり大原野) ・3,500人(フジバカマ祭り)						
2	来庁者の市バス利用促進に向けた取組	洛西支所の最寄りのバス停(洛西バスターミナル及び境谷大橋)に停車する市バスの発着時刻表を配布し、市バスの利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	〇
			実績							
3	西京区民ふれあいまつりにおける洛西地域公共利便性向上検討ワーキンググループの出展による公共交通機関利用のPR	4バス事業者・2鉄道事業者及び京都市で構成する洛西地域公共利便性向上検討ワーキンググループが、西京区民ふれあいまつりにおいて、バス4台の展示等を行うとともにブースを出展し、公共交通機関利用促進の啓発を行う。	取組の推進 (11月15日に実施)	開催場所が隔年で変更されるため、27年度は開催なし	取組の推進 (11月19日実施予定)					〇
			実績							
			来場者数 ・14,800人(ふれあいまつり)							
4	らくさいさくら祭における洛西地域公共利便性向上検討ワーキンググループの出展による公共交通機関利用のPR	4バス事業者・2鉄道事業者及び京都市で構成する洛西地域公共利便性向上検討ワーキンググループが、毎年4月に開催されるらくさいさくら祭において、バスの展示等を行うとともにブースを出展し、公共交通機関利用促進の啓発を行う。	4月5日に実施	4月4日、5日に実施	4月2日、3日に実施			取組の推進	取組の推進	〇
			実績							
			来場者数 20,000人	来場者数 22,000人	来場者数 33,000人					
5	洛西の魅力発見・発信事業を通じた市バスの利用促進	洛西地域の魅力を発見・発信する事業を実施する際に、市バスの利用を呼びかけるとともに、洛西ニュータウンポータルサイト「まちボタン」を通して広く内外へ情報発信することにより、市バスの利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進						□
			実績							
6	洛西ニュータウン創生推進委員会における交通局との連携	洛西ニュータウンの住民や事業者等で構成される洛西ニュータウン創生推進委員会が主催する各種事業において、市バス利用のPRを行うなど、交通局との連携を行い、市バスの利用促進を行う。	取組の推進	取組の推進						□
			実績							
7	「歩くまち洛西ウォーキング」の実施	洛西ニュータウンの住民や事業者等で構成される洛西ニュータウン創生推進委員会が「歩くまち洛西ウォーキング」を開催し、地域住民と協働で洛西地域の魅力を発信するとともに、環境にやさしいライフスタイルを提案する。	取組の推進 (4月5日に実施)	取組の推進 (開催せず)						□
			実績							
			参加者数 20人							

【洛西支所】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
8	洛西ニュータウン創生推進委員会の各種事業における協力者謝礼にトラフィカ京カードを利用	洛西ニュータウン創生推進委員会の主催する各種事業において、協力者への謝礼として、トラフィカ京カードを配布する。	取組の推進	取組の推進				乗車券販売・広告収入	□	
			実績							
			配布枚数4枚	・配布枚数0枚 ・アンケート 応募者数414人						
9	大原野地域における観光交通対策	住民、交通事業者、関係行政機関等で構成する「大原野地域観光交通対策協議会」において、春秋の観光シーズンの交通渋滞対策を協議し、連携して対策に取り組むとともに、寺院のホームページにおいて公共交通機関の利用を呼び掛けることにより、住民の生活路線を確保し、観光客の利便性の向上を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
10	健康ウォーキングマップ(四季の洛西路)を活用した取組	西京区洛西エリアの魅力あるウォーキングコース(6コース)を掲載した健康ウォーキングマップを活用し、健康づくりのためのウォーキングを行うとともに公共交通機関の利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			参加者数 315人(全6回)	参加者数 426人(全6回)	5回実施予定 (10月～)					
11	職員の利用促進	職員間において企画する催し等の交通手段として、できるだけ市バスを利用するよう周知する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	職員等利用	○	
			実績							
			職員数128人 (臨時的任用職員除く)	職員数108人 (臨時的任用職員除く)	職員数109人 (臨時的任用職員除く)					
12	福西地域におけるモビリティ・マネジメントの推進	福西自治連合会が中心となり、市バス利用促進や乗車啓発を行い、住民の公共交通利用促進を図るモビリティ・マネジメントを行う。	取組の推進	取組の推進	取組の推進			公共交通への転換	○	
			実績							
			アンケート実施 (11月、12月)	アンケート実施 (7月)、市バス乗車啓発チラシの配布(11月、3月)、町内回覧チラシの配布(2月)	アンケート実施 (7月)					

【伏見区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	各種イベントチラシにおける市バス・地下鉄でのアクセスルート掲載	区役所が主催・共催等する各種イベントの周知チラシにおいて、市バス・地下鉄でのアクセスルートを掲載し、公共交通機関の利用を呼びかける。	イベント毎に市バス・地下鉄でのアクセスルートを掲載	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			・伏見ふれあいプラザ2014 チラシ 4,900枚 ポスター1,240枚 ・第20回ふしみ人権の集い チラシ 3,500枚 ポスター2,600枚	・伏見ふれあいプラザ2015 チラシ 5,000枚 ポスター1,400枚 ・第21回ふしみ人権の集い チラシ 3,500枚 ポスター2,500枚	・伏見ふれあいプラザ2016 チラシ 5,000枚 ポスター1,400枚					
2	市バス・地下鉄利用の啓発	庁舎1階の玄関や各課の窓口において、区役所来庁時には、市バス・地下鉄を利用してもらうよう啓発。また、各種送付文書や行事等の案内文で公共交通機関利用促進を啓発。	庁舎1階入口に市バスの時刻表を掲示、市民窓口課ロビーに市バス・地下鉄路線図を配架	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-	-					
3	広告モニターを使つての公共交通機関の利用促進	庁舎内設置の広告モニターを活用し、来庁される方や職員に市バス・地下鉄を中心とする公共交通機関利用について啓発。	広告モニターで地下鉄・市バスの利用を啓発	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			・テレビモニタ 広告の掲載	・テレビモニタ 広告の掲載 ・地下鉄に乗るっDVDの放映	・テレビモニタ 広告の掲載					
4	職員の利用促進	定例課長会や所属掲示板等あらゆる機会をとらえ、職員に対して、市バス・地下鉄を利用するよう協力を依頼。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	職員等利用	○	
			実績							
			職員数341人 (再任用、嘱託含む)	職員数293人 (再任用、嘱託含む)	職員数296人 (再任用、嘱託含む)					
5	広報・PR(情報提供)	近隣の市バス停留所を示した簡素な案内地図をA4サイズ程度で作成し、総合案内等で配布。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-						
6	地下鉄駅周辺を拠点とした事業の実施	地下鉄駅、もしくは駅に近い場所を拠点とした事業を実施し、区民や関係者の利用を促進する。	取組の推進(12月の人権月間に竹田駅にて人権絵画ポスター展を開催)	取組の推進(12月の人権月間に竹田駅にて人権絵画ポスター展を開催)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			・竹田駅にて、竹田小学校の作品を展覧。	・竹田駅にて、久我の社の作品を展覧。						

【伏見区】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
7	敬老乗車証の利用促進	生活保護受給世帯のうち、敬老乗車証の交付を受けていない70歳以上の方を対象に、制度の周知を図り増客につなげる。	6月以降、家庭訪問の際に個別に働きかけた。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	その他	○	
			実績							
			-	-	-	-	-			
8	市民しんぶん伏見区版「きらり伏見」の読者プレゼントとして「トラフィカ京カード」利用	市民しんぶん伏見区版「きらり伏見」の読者プレゼントとして同カードを利用し、公共交通機関の利用を促進する。	3箇月に1回、1名の方へ送付	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			-	アンケート応募者数414人	-					
9	市民しんぶん伏見区版「きらり伏見」や区ホームページなどの広報媒体を利用し、公共交通機関の利用促進	市民しんぶん伏見区版「きらり伏見」や区ホームページなどの広報媒体を利用し、公共交通機関の利用促進についても情報発信を積極的に行っていく。	市民しんぶん発行時やHP更新時に適宜実施(しんぶん発行部数約12万部)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-	-					
10	久我・久我の杜・羽東師域におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域住民の意識と行動に直接働きかけ、過度なクルマ利用を控え、歩くこと、公共交通等を利用することへの転換を促す取組であるコミュニケーション施策(モビリティ・マネジメント)を、久我・久我の杜・羽東師域において実施する。	取組の推進 ・啓発ちらしの配架(伏見、神川出張所) ・神川出張所において時刻表の作成	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	公共交通への転換	○	
			実績							
			・地域のイベントにおける啓発活動(2回) ・啓発ちらしの配架(伏見区役所、神川出張所) ・神川出張所において、近隣路線の主要なバス停ごとに時刻表を作成し、待合いロビーにて配架。	・京都市バスガイドブックの全戸配布(7,800部) ・地域のイベントにおけるガイドブック配布(1回) ・神川出張所において、近隣路線の主要なバス停ごとに時刻表を作成し、待合いロビーにて配架。	・神川出張所において、近隣路線の主要なバス停ごとに時刻表を作成し、待合いロビーにて配架。					
11	伏見南部の観光振興における観光モビリティ・マネジメントの推進	伏見南部地域(旧伏見市)まで観光客を呼び込むため、関係団体などが協働し、観光客に日本酒や風情ある街並などの観光スポットなどの魅力を発信し、地元の活性化につながる観光モビリティ・マネジメントの取組も実施する。			新規及び既存のイベントと連携した啓発	取組の推進	取組の推進	公共交通への転換	○	☆
			実績							

【深草支所】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	テレビモニタ広告を 使った公共交通 機関利用促進	22年度から導入したテレビモニタ広告において、公共交通機関による来庁及び市バス・地下鉄利用の促進を図っている。25年度においても、同様に利用促進を継続している。	テレビモニタ 広告の掲載	テレビモニタ 広告の掲載の継 続	テレビモニタ 広告の掲載の継 続	テレビモニタ 広告の掲載の継 続	テレビモニタ 広告の掲載の継 続	広報・PR	○	
			実績							
			・テレビモニタ 広告の掲載	・テレビモニタ 広告の掲載 ・地下鉄に乗 るDVDの放 映	・テレビモニタ 広告の掲載 ・地下鉄に乗 るDVDの放 映					
2	深草トレイル	深草地域は、伏見稲荷大社や藤森神社などに代表される多くの名所・旧跡や広大な竹林を有し、各所を結ぶ散策路(トレイル)を平成20年度に整備した。22年度には大岩山周辺の里山づくりを進め、大岩山展望所コースとして拡充整備し、深草トレイルの魅力を上させた。 コースは京阪伏見稲荷駅、藤森駅、墨染駅をスタートとするため、竹田駅や、地下鉄三条京阪駅等での乗り継ぎを通して地下鉄利用者の増加が見込まれる。	トレイルの維持 整備・魅力向上 深草トレイル マップの配布	トレイルの維持 整備・魅力向上 深草トレイル マップの配布	トレイルの維持 整備・魅力向上 深草トレイル マップの配布	トレイルの維持 整備・魅力向上 深草トレイル マップの配布	トレイルの維持 整備・魅力向上 深草トレイル マップの配布	施設の整 備・誘致	○	
			実績							
			・深草トレイル の維持管理作 業の実施(随 時) ・深草トレイル マップ約3,500 部配布	・深草トレイル の維持管理作 業の実施(随 時) ・深草トレイル マップ約3,000 部配布	・深草トレイル の維持管理作 業の実施(随 時) ・深草トレイル マップの英語版 を3,000部作成					
3	深草ふれあいプラザ	深草の良さを再発見し、地元への愛着を更に深めることを目的として、幅広い世代の住民相互の交流を促す各種事業を展開する。 事業の実施において、公共交通機関の利用を呼びかける。	第24回深草ふ れあいプラザ 10月19日(日) 実施	第25回深草ふ れあいプラザ 10月18日(日) 実施	第26回深草ふ れあいプラザ 10月16日(日) 実施予定	第27回深草ふ れあいプラザ	第28回深草ふ れあいプラザ	イベント	○	
			実績							
			参加者数 15,000人	参加者数 15,000人						
4	琵琶湖疏水(鴨川運 河)の魅力発信	琵琶湖疏水(鴨川運河)は、四季折々の自然景観や歴史的・文化的価値を有する魅力的な空間である。この運河の価値を多くの人に認識していただき、地域の活性化や観光振興に生かすことを目的に、地域で活動する学生や有識者を中心とした取組を支援する。 琵琶湖疏水(鴨川運河)の魅力を発信し、関心を高めることで、竹田駅や、地下鉄三条京阪駅等での乗り継ぎを通して地下鉄利用者の増加が見込まれる。	・鴨川運河会 議」の開催 ・魅力発信のた めの冊子作成 ・まち歩きツ アーの開催 ・活用策等の検 討	鴨川運河の魅 力を活かしたイ ベントの実施や 魅力発信のた めの冊子配布 等				その他	□	
			実績							
			・冊子の完成 ・まち歩きツ アーの開催(2 回) 延べ20人参加 ・鴨川運河会 議の開催(4回) 延べ72人参加	・活動周知の冊 子配布 ・鴨川運河会 議の開催(4回) 延べ約100人参 加						
5	市民しんぶん伏見 区版「きらり伏見」の 読者プレゼントとし て「トラフィカ京カ ード」利用	市民しんぶん伏見区版「きらり伏見」の読者プレゼントとして同カードを利用し、公共交通機関の利用を促進する。	3箇月に1回、 1人の方へ送付	3箇月に1回、 1人の方へ送付	3箇月に1回、 1人の方へ送付	取組の推進	取組の推進	乗車券販 売・広告 収入等	○	
			実績							
			3箇月に1回、 1人の方へ送付	3箇月に1回、 1名の方へ送付	3箇月に1回、 1名の方へ送付					

【深草支所】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
6	市民しんぶん伏見区版「きらり伏見」や区ホームページなどの広報媒体を利用した公共交通機関の利用促進	市民しんぶん伏見区版「きらり伏見」や区ホームページなどの広報媒体を利用し、公共交通機関の利用促進についても情報発信を積極的に行っていく。	市民しんぶん発行時やHP更新時に適宜実施	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			取組の継続	取組の継続	取組の継続					
7	職員の利用促進	支所全職員に対し、地下鉄5万人増客アクションプログラムの要旨を周知するとともに、交通手段として、出来る限り公共交通機関を利用するよう呼びかける。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	職員等利用	○	
			実績							
			取組の継続	取組の継続	取組の継続					
8	来庁者に向けた公共交通機関の情報提供	庁舎内で公共交通機関の時刻表を設置し、情報提供をすることで、来庁者の利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			取組の継続	・取組の継続 ・アンケート 応募者数414人	取組の継続					
9	深草文化交流	豊かな自然と歴史が息づく深草地域において、地域における文化活動をより一層推進するとともに、地域に愛着を持ち、住民相互の交流とふれあいを深めることを促す。事業の実施において、公共交通機関の利用を呼びかける。	第12回深草文化交流 1月10日実施	第13回深草文化交流 1月9日実施	第14回深草文化交流 1月14日実施予定	第15回深草文化交流	第16回深草文化交流	イベント	○	
			実績							
			参加者数 222人	参加者数 200人						
10	「伏見人権の集い」学習会	「伏見人権の集い」学習会の実施にあたり、公共交通機関の利用を呼びかける。	12月13日実施	11月28日実施	12月4日実施予定	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			参加者数 約500人	参加者数 約150人						
11	深草まるごとつながりネットワーク	深草地域に「住みたい、住み続けたい」と思えるまちづくりの実現を目指すための「出会いと学びの場」を立ち上げ、活動していく。その取組の中で、地域資源の活用について考え、その魅力を発信し、深草地域への関心を高めることで、竹田駅や、地下鉄三条京阪駅等での乗り継ぎを通して地下鉄利用者の増加が見込まれる。		深草地域にある地域資源を洗い出し、その魅せ方を考える。	深草トレイル大岩山展望所コースに在る大岩神社周辺の整備の活動を通じて人の輪(ネットワーク)を広げる。	取組の推進	取組の推進	その他	○	
			実績							
				5回(ワークショップ2回、フィールドワーク3回)開催。延べ約100人参加	5回(ワークショップ3回、フィールドワーク2回)開催					

【醍醐支所】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	「京の醍醐めぐり-観る・味るの魅どころ満載!おさんぽまっぶ-」及びPRポスターを活用し、地下鉄・バスなどの公共交通機関の利用促進	平成22年度に作成した、「京の醍醐めぐり-観る・味るの魅どころ満載!おさんぽまっぶ-」及びPRポスターを活用し、地下鉄や醍醐コミュニティバスなどの公共交通機関の利用促進につなげる。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
2	「醍醐ふれあいプラザ」における交通局ブースの出店	ふれあいプラザにおいて交通局にブース出店を依頼し、地下鉄・バスの利用を呼び掛ける。	9月14日開催	9月20日開催	9月18日、19日(予備日)	取組の推進	取組の推進	広報・PRイベント	○	
			実績							
3	刊行物等への交通アクセスの記載の働き掛け	寺社・各種団体等が作成する行事のパンフレット等に、交通アクセスとして地下鉄東西線の記載を働き掛ける。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
4	広告用TVモニターによる地下鉄・バスの利用促進の周知	22年4月から支所に設置している広告用TVモニターを利用して、来庁者へ地下鉄・バスの利用を呼び掛ける。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
5	市民しんぶん伏見版「きらり伏見」の読者プレゼントとして「トラフィカ京カード」利用	市民しんぶん伏見版「きらり伏見」の読者プレゼントとして同カードを利用して、公共交通機関の利用を促進する。	3箇月に1回、1名の方へ送付	3箇月に1回、1名の方へ送付	取組の推進	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
6	市民しんぶん伏見版「きらり伏見」や区ホームページなどの広報媒体を利用した公共交通機関の利用促進	市民しんぶん伏見版「きらり伏見」や区ホームページなどの広報媒体を利用し、公共交通機関の利用促進についても情報発信を積極的に行っていく。	市民しんぶん発行時やHP更新時に適宜実施	市民しんぶん発行時やHP更新時に適宜実施	市民しんぶん発行時やHP更新時に適宜実施 予定	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							

【醍醐支所】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
7	「醍醐ふれあいプラザ」への公共交通機関利用促進の呼びかけ	地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを推進し、住民相互のふれあいと交流を一層深めることを目的とする「醍醐ふれあいプラザ」の実施にあたり、開催場所を折戸公園（醍醐駅付近）とし、案内チラシ等で地下鉄利用を呼び掛けている。	26年9月実施	27年9月実施	28年9月実施	取組の推進	取組の推進	広報・PRイベント	○	
			実績							
			ふれあいかわら版に交通局、京阪バス、醍醐コミバスと連携をした公共交通機関利用促進の記事を掲載	ふれあいかわら版に交通局、京阪バス、醍醐コミバスと連携をした公共交通機関利用促進の記事を掲載	ふれあいかわら版に交通局、京阪バス、醍醐コミバスと連携をした公共交通機関利用促進の記事を掲載					
8	「人権を考える講演会」の実施	「人権を考える講演会」の実施にあたり、開催場所を地下鉄醍醐駅にある、醍醐交流会館とし、地下鉄等の公共交通機関の利用促進を図る。	26年12月実施	27年12月実施	28年12月実施予定	取組の推進	取組の推進	広報・PRイベント	○	
			実績							
			来場者数183人	・来場者数170人 ・アンケート 応募者数414人						
9	「福祉のまち・醍醐交流大会」の実施	醍醐地域の福祉施設や保育園等が連携して日頃の活動成果を発表する「福祉のまち醍醐・交流大会」の実施にあたり、開催場所を地下鉄醍醐駅にある、醍醐交流会館とし、地下鉄等の公共交通機関の利用促進を図る。	27年1月実施	28年1月実施	29年1月実施予定	取組の推進	取組の推進	広報・PRイベント	○	
			実績							
			来場者数 2,300人	来場者数 2,300人						
10	「醍醐もちもちいんウォーク」の実施による公共交通機関の利用促進の呼びかけ	史跡等が点在する醍醐の魅力新たに発見し、より深く醍醐を知ってもらうため、「醍醐もちもちいんウォーク」を実施。事業の実施において、公共交通機関の利用を呼び掛ける。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PRイベント	○	
			実績							
			実施概要に、醍醐駅からの案内図と石田駅の時刻表を添付	実施概要に、石田駅からの案内図を添付						
11	職員の利用促進	支所全職員に対し、地下鉄5万人増客アクションプログラムの要旨を配布するとともに、職員間において企画する催し等の交通手段として、出来る限り公共交通機関を利用するよう周知する。	アクションプログラム配布	アクションプログラム配布	アクションプログラム配布	取組の推進	取組の推進	職員等利用	○	
			実績							
			支所職員数 181人（嘱託等含む）	支所職員数 175人（嘱託等含む）	支所職員数 175人（嘱託等含む）					
12	「醍醐支所地下鉄利用促進会議」の設置	支所課長会を中心に、醍醐支所地下鉄利用促進会議を設置し、地下鉄利用促進に関する意見交換を定期的に行う。	取組の推進 12月に会議開催	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	その他	○	
			実績							
			-	-	-					

【醍醐支所】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
13	来庁者に向けた公共交通機関の情報提供	庁舎内で公共交通機関の時刻表を設置し、情報提供をすることで、来庁者の利用促進を図る。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			-	-	-					
14	敬老乗車証の利用促進	生活保護受給世帯のうち、敬老乗車証の交付を受けていない70歳以上の方を対象に、制度の周知を図り増客につなげる。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	その他	○	
			実績							
			-	-	-					

【消防局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	京都市消防団定例表彰式	市民の生命と財産を守るため、業務に精励する消防団及び消防団員に対する表彰式を立命館大学朱雀キャンパスで開催する際に、市バス・地下鉄での来場を勧奨する。	26年11月1日 (土)開催	27年11月1日 (日)開催	28年11月6日 (日)開催予定	11月 表彰式の開催	11月 表彰式の開催	イベント	○	
			実績							
			参加者数 約400人	参加者数 約300人						
2	京都市消防出初式	訓練や行進等を通じ、力強い姿を披露するとともに、「安心・安全のまち京都」の推進に努めていく決意を新たにするを目的として京都市勤業館前付近(予定)で開催する「京都市消防出初式」を案内する際に、市バス・地下鉄での来場を勧奨する。	27年1月11日 (日)開催	28年1月10日 (日)開催	29年1月8日 (日)開催予定	30年1月7日 (日)開催予定	31年1月13日 (日)開催予定	イベント	○	
			実績							
			来場者数 約4,500人	来場者数 約4,500人						
3	消防記念日表彰式・講演会	防火防災活動に尽力されている自主防災組織等を表彰することで、市民の防火防災意識の高揚を図るとともに、消防行政の推進を図るため立命館大学朱雀キャンパスホールで開催する際に、市バス・地下鉄での来場を勧奨する。	27年3月8日 (日)開催	28年3月6日 (日)開催	29年3月12日 (日)開催予定	30年3月4日 (日)開催予定	31年3月3日 (日)開催予定	イベント	○	
			実績							
			来場者数 約400人	来場者数 約400人						
4	消防救助技術東近畿地区指導会	7府県の救助隊員が一堂に会し、様々な救助事故現場を想定した訓練において、日頃鍛え抜いた高度な消防救助技術を披露する「消防救助技術東近畿地区指導会」を開催する際に、市バス・地下鉄での来場を勧奨する。	26年8月1日 (金)開催	27年7月31日 (金)開催	28年7月29日 (金)開催	29年7月頃開催 予定	30年7月頃開催 予定	イベント	○	
			実績							
			参加者数 約500名	来場者数 約700名	来場者数 約1,200人					
5	防火ふれあいコンサート	多くの市民に音楽を通じて防火・防災の啓発を行うため、消防音楽隊による「防火ふれあいコンサート」を毎月各1回、市内5箇所(キタオオジタウン、ゼスト御池、ポルタプラザ、バセオダイゴロー、イオンモール京都桂川)の地下鉄沿線で開催する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			来場者に対し、 6,896部のパンフレットを配布	来場者に対し、 9,141部のパンフレットを配布	来場者に対し、 4,517部のパンフレットを配布					
6	京都市市民防災センターの利用勧奨	京都市市民防災センター(南区西九条菅田町7)における災害の疑似体験、イベント等へ参加する際、市バス・地下鉄の利用を勧奨する(通年)。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			来館者数 104,892人	来館者数 101,331人	来館者数 40,784人 (8月末)					

【消防局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度				
7	消防図画・ポスター・作文表彰式	各消防署において、園児や小・中学生から応募があった消防図画、ポスター、作文の優秀作品を表彰する「消防図画・ポスター・作文表彰式」を開催する際に、市バス・地下鉄での来場を勧奨する。	取組の推進	平成27年11月から平成28年2月まで開催	平成28年11月から平成29年2月まで開催予定	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績								
			来場者数 約3,800人	来場者数 約3,700人							
8	市民消防表彰式	各消防署において、地域の防火・防災の充実・強化に尽力した区内の自主防災組織等を表彰する「市民消防表彰式」を開催する際に、市バス・地下鉄での来場を勧奨する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績								
			来場者数 約900人	・来場者数 約900人 ・アンケート 応募者数414人							
9	少年消防クラブ修了式・入会式	各消防署において、少年少女に防火防災に関する知識及び技術を普及し、防火防災マナーを身につけた社会人を育成する「少年消防クラブ」の修了式・入会式を開催する際に、市バス・地下鉄での来場を勧奨する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績								
			来場者数 約800人	来場者数 約500名	来場者数 約500名						
10	京都市内で実施する各種会議、研修会等	京都市内で実施する各種会議、研修会等を実施する際に、市バス・地下鉄でのアクセス方法を紹介する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績								
			-	-	-						
11	京都市消防団フェスタ	梅小路公園で実施するため、市バス、地下鉄等でのアクセス方法を勧奨する。	26年11月30日(土)開催	27年11月29日(日)開催	28年11月27日(日)開催予定	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績								
			参加者数 約3,000人	参加者数 約3,500人							
12	京都市消防団協力事業所表示証交付式	市民の生命と財産を守るため、業務に精励する消防団及び消防団員に対する表彰式をウエスティン都ホテルで開催する際に、市バス・地下鉄での来場を勧奨した。平成27年度以降は、各消防署において引き続き実施する。	26年11月1日(日)開催	取組の推進(各消防署にて随時実施)	取組の推進(各消防署にて随時実施)	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績								
			参加者数 約50人	参加者数 約10名							
13	京都市防火基準適合表示制度に係る表示マーク交付式	開催場所を地下鉄で来場できる、池坊会館に設定し、勧奨した。平成27年度以降は、各消防署において引き続き実施する。	26年9月20日(土)開催	27年10月1日(木)各消防署で開催	取組の推進	取組の推進	取組の推進		イベント	○	
			実績								
			参加者数 約100名	参加者数 137名							

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	市バス・地下鉄友の会	市民の皆様やお客様を対象とした会員制の市バス・地下鉄のファンクラブとして、会報誌の発行や交通局のイベントへの参加などを通じて、局事業のPRを行い、市バス・地下鉄事業への理解を深めていただく。	会員募集、会の運営、会報誌等を通じたイベント・事業等の紹介	会員募集、会の運営、会報誌等を通じたイベント・事業等の紹介				広報・PR	□	
			実績							
			会員数188人 (27年3月末現在)	会員数190人 (28年3月末現在)						
2	職員の福利厚生事業における地下鉄・市バスの活用	職員の福利厚生事業の開催場所について、可能な限り地下鉄駅及び市バス停留所付近に設定する。また、移動にあたり、交通機関を利用する場合は、可能な限り地下鉄・市バスを利用する。	福利厚生事業の実施	福利厚生事業の実施	福利厚生事業の実施	福利厚生事業の実施	福利厚生事業の実施	職員等利用	○	
			実績							
			・京都水族館&梅小路蒸気機関車館見学 参加者数約250人 ・非公開文化財めぐり 参加者数43人	・東映太秦映画村 参加者数約340人 ・友禅染体験&京都国際マンガミュージアム 参加者数129人	・東映太秦映画村 参加者数約300人 ・京都鉄道博物館 参加者数200人 (予定)					
3	「全国一お客様サービス実践プロジェクトチーム」による取組の推進	「交通事業者全国一のお客様接客」を実践するため、「全国一お客様サービス実践プロジェクトチーム」を設置し、お客様に心から満足いただける、より質の高いサービスの提供に局が一体となった取組を推進する。	「全国一お客様サービス実践PT」の設置、取組の推進	取組の推進、総括				利便性向上	□	
			実績							
			市バス・地下鉄お客様サービス向上サポート会議による外部評価・提言	提言を踏まえた取組の推進						
4	交通局マスコットキャラクターの着ぐるみの製作・活用	未来のお客様であるお子様に、市バス・地下鉄に親しみを持ってもらうため、交通局のマスコットキャラクターの着ぐるみを製作し、様々なイベントで活用する。	・イベント等での着ぐるみの活用 ・着ぐるみ(京ちゃん・都くん)各1体の追加製作(9月初旬)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			90件のイベント出演	63件のイベント出演	20件のイベント出演 (9月末時点)					
5	企画乗車券等の販売促進	他社局と連携して発売している企画乗車券等について、PRを積極的に行うなど、販売促進に努める。	企画乗車券の販売 ・新たな企画乗車券として、「ひらパーGo!Go!チケット(京都市交通局版)」を発売(9月13日～)	企画乗車券の販売 ・「歩くまち・京都レールきっぷ」を発売(12月11日～3月21日)	企画乗車券の販売 ・「KANSAI ONE PASS」を発売(4月8日) ・新たな企画乗車券として「バス&えいでん鞍馬・貴船日帰りきっぷ」を発売(4月29日～) ・「歩くまち・京都レールきっぷ」を発売(7月1日～9月30日)			乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			企画乗車券販売枚数 56万枚	企画乗車券販売枚数 60万枚	企画乗車券販売枚数 25万枚 (8月末時点)					

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
6	民間交通事業者と連携した取組の推進	関西の公共交通各社と連携し、神戸や大阪の他社駅等で観光リーフレットの配布会やPRポスターの掲示を行うことで、相互に観光客の獲得を図る。	取組の推進(他社局と連携した事業の実施)	取組の推進(他社局と連携した事業の実施)	取組の推進(他社局と連携した事業の実施)	取組の推進(他社局と連携した事業の実施)	取組の推進(他社局との連携した事業の実施)	広報・PR	○	
			実績							
			・京都駅にて神戸観光PR(4月) ・京阪神の大規模イベントを3都市にて共同PR(7月、12月) ・金沢にて京阪神観光PRイベントを開催(10月)	・京都駅にて神戸観光PR(4月) ・京阪神の大規模イベントを3都市にて共同PR(7月、12月) ・三宮駅にて京都観光PR(10月)	・京都駅にて神戸観光PR(4月)					
7	市バス・地下鉄愛好会事業の推進	大学などが自主的に企画・運営する、市バス・地下鉄の増客につながるイベント等について、交通局がPRなどの協力を行う。	平女祭(10月26日)のPR(駅へのポスター掲出、ちらし配布)	平成27年度より、「沿線大学との連携による地下鉄利用促進策の推進」に一本化				イベント	□	
			実績							
8	地下鉄北山駅における京都市立芸術大学生の作品展示	交通局、市立芸術大学、(公財)京都市音楽芸術文化振興財団が協働し、京都コンサートホールの最寄駅である地下鉄北山駅で、市立芸術大学生が制作した音楽をテーマとした作品の発表を通じて、地下鉄駅の賑わいを創出する。	作品のリニューアル(9月4日～)及び、京都北山街協同組合との協働によるPRの実施	作品のリニューアル(9月3日～)及び、京都北山街協同組合との協働によるPRの実施	作品のリニューアル(9月13日～)及び、京都北山街協同組合との協働によるPRの実施	作品の展示	作品の展示	広報・PR	○	
			実績							
			アンケート 応募者数234人	アンケート 応募者数414人	アンケート 募集中					
9	通勤・通学定期券のPR強化	定期券の利用促進を図るため、通勤定期券PRチラシのバス車内への吊下げ広告や、大学入学時のオリエンテーションでの通学定期券PRリーフレットの配布など、様々な機会を通じてPRを徹底して行う。	積極的なPRの実施(PRリーフレットの作成、配架)	積極的なPRの実施(PRリーフレットの作成、配架)	積極的なPRの実施(PRリーフレット・チラシ等の作成、配架)	積極的なPRの実施	積極的なPRの実施	広報・PR	○	
			実績							
			・定期券の買い替え時期に約30大学にてPRリーフレットを配布(3月)	・通勤定期券PRチラシ・ポスターを地下鉄・バス車内へ掲出(3～4月) ・通学定期券PRリーフレットを約30大学にて配布(3～4月)						

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
10	地下鉄・市バスグッズの発売	こどもから大人まで幅広い層のお客様が市バス・地下鉄に親しみを持ってもらえるよう、市バス・地下鉄関連のグッズを発売する。	グッズの製作・販売 ・ブック型附箋(太秦萌、松賀咲、小野ミサ)の制作・販売 ・スルッとKANSAI関連グッズ(ぶくぶくシート、ペンポーチ、カレンダー) ・市バス「チョロQ」の制作・販売	グッズの製作・販売 ・方向幕タオル(実寸大)制作・販売 ・ハローキティ根付(地下鉄丸線) ・ハローキティパタパタメモ(交通局版) ・スルッとKANSAI関連グッズ(タンブラー、バスケース、カレンダー)の制作・販売 ・「太秦萌」ジグソーパズルの制作・販売	グッズの製作・販売 ・“地下鉄に乗るっ”シリーズグッズ(うちわ、Tシャツ、リングノート、クリアファイル)の制作・販売 ・方向幕タオル(実寸大)制作・販売 ・市バス「チョロQ」の制作・販売 ・スルッとKANSAI関連グッズ(ペーパークラフトブロック、カレンダー)の制作・販売	グッズの製作・販売	グッズの製作・販売	広報・PR	○	
			実績							
			5種類制作・販売	7種類制作・販売	8種類制作・販売					
11	駅ナカビジネスの積極的な展開	駅構内の配置を見直すことにより、活用可能な公共空間を最大限創出するとともに、民間のノウハウも活用して積極的に取組を展開する。	・コトチカ御池の拡充、今出川駅構内店舗の出店者募集受付(7月) ・コトチカ山科のオープン(10月) ・丸太町駅構内店舗のオープン(12月)	・コトチカ京都の拡充、コトチカ四条再公募の出店者募集受付(8月) ・今出川駅構内店舗の開業(11月) ・コトチカ御池の拡充(4店舗の新規開業)(1月)	・コトチカ京都の拡充工事、開業予定(平成29年春頃) ・コトチカ北大路及びコトチカ御池にける出店者募集受付(8月)	・コトチカ北大路の開業予定	取組の推進	利便性向上	○	
			実績							
12	バスICカードの取組	市バスへICカードサービスを導入することにより、お客様サービスの向上を図る。	市バスICカードサービスの開始	26年度に導入済のため、ICカードの普及促進の取組に一本化				利便性向上	□	
			実績							
			12月24日開始							

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
13	ICカードの普及促進の取組	市バスへのICカードサービスの導入を契機として、ICカードの普及促進を図るとともに、更なる利便性の向上に向け、IC定期券の導入などの検討を進める。	ICカードの普及促進	ICカードの普及促進	ICカードの普及促進(IC定期券導入のPRを重点)	ICカードの普及促進	ICカードの普及促進	利便性向上	○	
			実績							
			<ul style="list-style-type: none"> ・交通局ニュース、デジタルサイネージ、主要停留所でのPOP掲出 ・地下鉄窓ステッカーや各種広告媒体によるPR実施 ・京都プラスOS AKA PiTaPa キャンペーンの実施(11月～1月末) ・上記キャンペーンのPRイベントの開催(11月9日間) ・市バスIC導入PR(ポスター、映画CM等) ・地下鉄窓ステッカー、シティリビング掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車内へのPRシート掲出(5月) ・烏丸御池駅可動柵へのPR広告掲出(7月) ・京都プラスOS AKA PiTaPa キャンペーンの実施(8月～12月、3～5月) ・大学での定期出張販売と合わせたPR ・シティリビングへのPR記事掲載 ・新ガイドブックを各駅、案内所等に設置 ・ペーシックカード入会申込書を各駅に設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都プラスOS AKA PiTaPa キャンペーンの実施(8月～12月) ・新ガイドブックを各駅、案内所等に設置 ・ペーシックカード入会申込書を各駅に設置 ・バス車載器、駅務機器等の改修に着手 ・IC定期券の運用試験に着手 					
14	大学での通学定期券出張販売	定期券発売所でしか販売していない通学定期券を大学で出張販売することにより、地下鉄・市バスの増客を図る。	4月、10月に同志社大学、仏教大学での出張販売の実施	4月、10月に各大学での出張販売の実施	4月、10月(予定)に各大学での出張販売の実施	出張販売の実施	出張販売の実施	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			4月 (同志社:183件、佛大:368件) 10月 (同志社:68件、佛大:117件)	4月 (同志社:135件、佛大:416件、学園大:72件) 9月 (佛大:148件) 10月 (同志社:31件)	4月 (佛大:373件、洛星中:133件) 9月 (佛大:151件)					

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規		
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度					
15	区役所・支所等と連携した取組の推進	地下鉄5万人の増客目標の達成に向け、区役所・支所と連携して、区からの情報発信により、区外から集客できるような取組を展開する。また、各局区等のイベントにブース出展することにより、地下鉄の利用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各区役所訪問(6月) ・高瀬川開削400周年記念事業との連携(8月～11月、中京区、下京区) ・京都・やまなし観光ウィークとの協同PR(11月、山科区) ・区役所ふれあいまつり等イベントへの出展(16件) ・地下鉄駅発！京都エリアウォーク 京都あるく第一弾「くいな橋から歩く」との連携(3月、伏見区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各区役所訪問の実施(6月) ・区役所ふれあいまつり等イベントへの出展(18件) ・地下鉄駅発！京都エリアウォーク 京都あるく第二弾「北山から歩く」との連携(10月24日実施、北区・左京区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各区役所訪問の実施(6～8月) ・区役所ふれあいまつり等イベントへの出展 ・「地下鉄開業35周年・国立京都国際会館開館50周年記念イベント」との連携(7月30日実施、左京区) 	取組の推進	取組の推進	イベント、公共交通への転換	○			
			実績									
			取組件数19件	取組件数19件	取組件数4件(9月末時点)							
16	地下鉄駅周辺散策ガイドの作成	駅ごとの個性を活かし、地下鉄駅周辺の見どころをめぐる散策ガイドを作成し、地下鉄のお客様の増客に繋げる。	ガイドマップ制作	取組の推進	更新版のガイドマップ制作	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○			
			実績									
			駅毎15バージョン、計19万部制作(3月)	制作なし	駅毎15バージョン、計19万部制作(4月)							
17	コトチカ広場の活用推進	各局区との連携による各種イベント等の開催場所として、コトチカ広場など駅スペースを活用することにより、地下鉄の増客につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア誘致PRイベント(5月) ・KYOTOエコマネーPRイベント(8月) ・骨髄バンク登録促進キャンペーン(10月) ・京都・山科観光ウィークPRイベント(11月) ・エイズ予防普及啓発キャンペーン(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア誘致PRイベント(5月) ・祇園祭ごみゼロ大作戦PRイベント(7月) ・骨髄バンク登録促進キャンペーン(10月) ・エイズ予防普及啓発キャンペーン(12月) ・4園館連携記念イベント(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・震災復興支援チャリティーライブ(5月、6月) ・リニア・北陸新幹線誘致PRイベント(5月) ・骨髄バンク登録促進キャンペーン(10月) 	活用の促進	活用の促進	イベント	○			
			実績									
			5回開催	5回開催								
18	サブウェイパフォーマー事業の推進	駅の賑わい、駅周辺の活性化のためにサブウェイパフォーマーの取組を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回キング・オブ・パフォーマー開催(5月31日) ・ニュー・プランシュKYOTO2014への参加(10月4日) ・コトチカ山科開業イベントへの参加(10月11日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回キング・オブ・パフォーマー開催(5月31日) ・ニュー・プランシュKYOTO2015への参加(10月3日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回キング・オブ・パフォーマー開催(5月31日) ・ニュー・プランシュKYOTO2016への参加(10月1日予定) 	取組の推進	取組の推進	イベント	○			
			実績									
			73組登録 1,085回出演	78組登録 1,371回出演								

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規		
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度					
19	沿線大学との連携による地下鉄利用促進策の推進	沿線大学との連携により、地下鉄・市バスなどの公共交通の利用促進や駅周辺地域の活性化を促進する。	京都学園大学 ・協定締結(4/28) ・大学のPR キャラクター「太秦その」とのコラボレーションによる共同PRの実施 ・右京区役所でのシンポジウム開催(10/18) 平安女学院大学 ・協定締結(3/25)	平安女学院大学 ・駅ごとの情報誌「キュンキュン京都」の発行(6回) ・「1日学生駅長」の活動実施(2/1)	平安女学院大学 ・駅ごとの情報誌「キュンキュン京都」の発行(4回発行:5.7.9.11月) ・「1日学生駅長」の活動実施(4回実施:4/5.5/29.7/30.10/1)			取組の推進	取組の推進	イベント、公共交通への転換	○	
			実績									
20	「地下鉄Cityliving」を活用した地下鉄の利用促進	京都リビングとのタイアップにより発行する「地下鉄Cityliving」において、地下鉄・市バスの便利情報を発信することにより、更なる利用を促進する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進			広報・PR	○	
			実績					毎月2回 計23回発行	毎月2回 計23回発行			
21	カーフリーデーの取組の推進	関係団体との連携により、「モビリティウィーク&カーフリーデー」の啓発や公共交通の利用促進の取組を展開することにより、地下鉄・市バスの増客に繋げる。	「モビリティウィーク&カーフリーデー」のPR及びイベントへの出展(9月) 地下鉄・市バスの利用により映画鑑賞料が割引となる「レールdeシネマ」の実施(9/16～10/31)	「モビリティウィーク&カーフリーデー」のPR及びイベントへの出展(9月)	「モビリティウィーク&カーフリーデー」のPR及びイベントへの出展(9月) 地下鉄の利用により映画鑑賞料が割引となる「電車deシネマ」の実施(9/22～10/30)			取組の推進	取組の推進	公共交通への転換	○	
			実績					カーフリーデーイベントの参加者数4,500人	カーフリーデーイベントの参加者数4,000人			
22	北山延伸25周年記念事業の実施	平成27年10月に、烏丸線北山延伸25周年を迎えるのを記念して、北山周辺施設(京都府立植物園、京都コンサートホール等)や地域(北山街協同組合)との協働により、北山駅周辺地域の活性化を図る取組を展開することにより、地下鉄増客につなげる		北山駅周辺施設と連携し、「地下鉄烏丸線北山延伸25周年記念祭 地下鉄に乗って北山に行く」を植物園で開催(10月24日)						広報・PR、イベント	□	
			実績						植物園 入場者数 11,000人			

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
23	夏休み自由研究「地下鉄・市バスのヒミツを知らう」の実施	愛される市バス・地下鉄を目指すとともに、将来のお客様を獲得するため、夏休みに小学生の子どもとその親を対象に、地下鉄・市バス関連施設の見学会を実施する。		竹田車両基地にて自動車整備工場・地下鉄検車区の見学会を実施(8月10,12,17,19日)	竹田車両基地にて自動車整備工場・地下鉄検車区の見学会を実施(8月4,9,12日)	取組の推進	取組の推進	広報・PR、イベント	○	
			実績							
				参加者数93人	参加者数179人					
24	地下鉄駅発！京都エリアウォーク 京都あるくの実施	地下鉄の増客と駅周辺地域の魅力を伝えることを目的に、地下鉄駅を起点としたウォーキングイベントを実施する。	第1弾「くいな橋から歩く」を実施 平成27年3月21日(土)開催	第2弾「北山から歩く」を実施 平成27年10月24日(土)開催	第3弾「山科から歩く」を実施予定 平成29年3月18日(土)開催予定	取組の推進	取組の推進	広報・PR、イベント	○	
			実績							
			参加者数402人	参加者数202人						
25	地下鉄開業35周年・国際会館開館50周年記念イベントの実施	平成28年度に、地下鉄開業35周年と国立京都国際会館開館50周年を迎えるのを記念して、地下鉄の増客や沿線地域の活性化につながる事業を、駅周辺地域の団体との連携で実施する。			国際会館駅周辺の団体等と連携し、「地下鉄開業35周年・国立京都国際会館50周年記念祭 地下鉄に乗って国際会館に行くっ」を国際会館イベントホールで開催(7月30日)			広報・PR、イベント	□	
			実績							
					入場者数6,000人					

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
26	「地下鉄の日」の取組	5月29日の地下鉄の日の取組として、駅周辺でのイベント等を行い、お客様への感謝の気持ちの表明と、増客及びPRに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ヒーロートレイン運行(5/29～6/13) ◆ヒーロー握手会&写真撮影会 ◆太秦萌のぬりえの募集と展示の実施 ◆地下鉄の日限定「トリアカ京カードセット」の販売会実施 ◆第4回キング・オブ・パフォーマー決勝戦の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ニンニンジャトレイン運行(5/29～6/11) ◆ヒーロー握手会&写真撮影会 ◆太秦萌のぬりえ作品募集と展示 ◆地下鉄の日限定「1dayフリーチケットセット」の販売 ◆第5回キング・オブ・パフォーマー決勝戦の開催 ◆映画村とタイアップしたイベント列車の運行 ◆コトチカ記念セールの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆京都学園大学にて地下鉄の日特別企画PRイベントの開催 ◆地下鉄の日限定「1dayフリーチケットセット」等の販売 	イベント及びPRの実施	イベント及びPRの実施	イベント 広報・PR	○	
			実績							
			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒーロートレイン運行(5/29～6/13) ・ヒーロー握手会&写真撮影会:5/29約800人参加 ・太秦萌のぬりえ:約120人応募 ・カードセット100セット完売 	<ul style="list-style-type: none"> ・映画村とタイアップしたイベント列車(ニンニンジャートレイン)の運行:5/29 50組100人参加 ・ニンニンジャータグ大会:5/29約500人参加 ・ニンニンジャータグ大会:5/29約500人参加 ・地下鉄に乗るっ”キャラクターぬりえ”作品募集と展示:約240人応募 ・地下鉄の日限定「1dayフリーチケットセット」86セット販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・京都学園大学にて地下鉄の日特別企画PRイベント:約600人来場 ・地下鉄の日限定「地下鉄に乗るっ1dayフリーチケットセット」200セット販売 ・「地下鉄に乗るっ特製手ぬぐいセット」200セット販売 					

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規	
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度				
27	地下鉄沿線の集客施設等との連携によるイベントの実施	地下鉄沿線の集客施設や集客イベント等と連携し、地下鉄の増客やイメージアップにつながるイベントを実施する。	◆京都駅周辺8ホテル共同企画「グルメストーリー(4月～9月)」とのタイアップ ◆「京の七タ」との連携 ・七タ列車運行 ◆「京まふ」との連携によるアニメ列車運行 ◆「京都国際マンガミュージアム」、「東映太秦映画村」、「よしもと祇園花月」とタイアップしたスタンプラリーの実施	◆京都駅周辺8ホテル共同企画「グルメストーリー(4月～6月)」とのタイアップ ◆「京の七タ」との連携 ◆「京まふ」との連携によるアニメ列車運行 ◆「東映太秦映画村」、「嵐電」とタイアップしたクイズ&スタンプラリーの実施	◆京都駅周辺8ホテル共同企画「シェフの饗宴(4月～6月)」(10月～12月)とのタイアップ ◆「京の七タ」との連携 ◆「京まふ」との連携によるアニメ列車運行 ◆「東映太秦映画村」とタイアップしたスタンプラリーの実施	取組の推進	取組の推進	イベント	○		
			実績								
			・グルメストーリー(4月～6月)参加者数約200人 ・グルメストーリー(10月～12月)約100人参加 ・「京の七タ」連携「七タ列車」の運行(8/1～8/11) ・「京まふ」との連携によるアニメ列車運行(9/1～10/31) ・「京都国際マンガミュージアム」、「東映太秦映画村」、「よしもと祇園花月」とタイアップしたスタンプラリーの実施(7月～8月)参加者数約1,000人	・グルメストーリー(4月～6月)参加者数約150人 ・シェフの饗宴(10月～12月)約200人参加 ・「京の七タ」連携「七タ列車」の運行(8/1～8/10) ・「京まふ」との連携によるアニメ列車運行(7/23～10/2) ・「東映太秦映画村」、「嵐電」とタイアップしたクイズ&スタンプラリーの実施(7月～8月)参加者数約300人 ・「東映太秦映画村」とタイアップしたスタンプラリーの実施(11月～12月)参加者数約200人 (1月～2月)参加者数約200人 ・「嵐電」とタイアップしたクリスマススタンプラリーの実施(12月)参加者数約700人	・シェフの饗宴(4月～6月)参加者数約150人 ・「京の七タ」連携「七タ列車」の運行(8/1～8/15) ・「京まふ」との連携によるアニメ列車運行(8/11～10/28) ・「東映太秦映画村」とタイアップしたスタンプラリーの実施(4月～5月)参加者数約1,200人(7月～8月)参加者数約230人(9月～10月)実施中(9月～12月)実施中						
28	区役所・支所との連携による駅周辺でのポスティング	地下鉄駅周辺地域に対し、各区役所・支所等と連携して、地下鉄の便利情報の紹介や地下鉄の利用促進の呼びかけを記載したリーフレットの制作・配布を行い、地下鉄の増客を図る。	区役所・支所との連携により、烏丸線北大路駅以南12駅で実施						公共交通への転換 広報・PR	□	
			実績								
			・北大路～竹田12駅を所管区内に有する6区1支所と連携し、市民しんぶんへ便利情報を挟み込み(3月)全31駅での取組を完了								
29	醍醐車庫見学会の実施	醍醐車庫を一般に公開する見学会を実施し、増客を図る。	イベントの実施 10月12日(日)開催	イベントの実施 10月18日(日)開催	イベントの実施 10月16日(日)開催	イベントの実施	イベントの実施	イベント	○		
			実績								
			参加者数 1,184人	参加者数 1,112人							

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
30	「ナイス・ミートin山科」の実施	平成25年度まで、月1回地下鉄山科駅前「音の広場」において実施していた「アートパフォーマンスin山科駅」をリニューアルし、山科区役所及び東部文化会館との共催により、毎月1回、「音の広場」において、音楽等のパフォーマンスを出演者に披露していただく「ナイス・ミートin山科」を実施する。	山科駅周辺工事のため未定	イベントの実施	イベントの実施	イベントの実施	イベントの実施	イベント	○	
			実績							
			山科駅周辺工事のため未実施	1,200人	1,200人(予定)					
31	「太秦萌」を活用した地下鉄利用促進に向けたPR活動	地下鉄5万人増客応援キャラクターのポスターやチラシ、グッズ、ノベルティなどの活用により、地下鉄の利用促進を図る内容のPR活動を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆沿線施設とコラボレーションしたPRポスターの展開 ◆グッズの製作・販売 ◆アニメCMの制作・放映 ◆「京まふ」との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ◆沿線施設とコラボレーションしたPRポスターの展開 ◆グッズの製作・販売 ◆アニメCM放送範囲の拡大 ◆「京まふ」との連携 ◆4コママンガ等を活用した新たなPR展開 ◆ウォーキングコース紹介アプリ「いしぶみアプリ」との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ◆PRポスターの展開 ◆新キャラクターの制作 ◆グッズの製作・販売 ◆「京まふ」でのPR ◆4コママンガ等を活用したPR展開 ◆公式ホームページの制作 ◆他事業者(池坊、京都検定、アニメイト、ステーションメモリーズ!)との連携企画 	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			<ul style="list-style-type: none"> ◆PRポスター・動物園(8~9月) ・二条城(11~12月) ・マンガミュージアム(2~3月) ◆グッズ・クリアファイル1,000セット(「京まふ」ブースで販売(約108万円)) ◆アニメCM・四条駅、映画館、YouTube等で放映 ◆「京まふ」との連携 ・ノベルティ(うちわ)の共同制作・配布 3万枚 ・立命館大学事業連携プロジェクトとのコラボレーションの実施 ・声優コンテスト(声優魂)での声優決定 ◆沿線施設連携キャラクター・太秦その(京都学園大学) ・烏丸ミュ(マンガミュージアム) ◆ウォーキングコース紹介アプリ「いしぶみアプリ」との連携 ・第1弾 2/22~ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆PRポスター・京都文化博物館(8~11月) ・京都コンサートホール(10~11月) ・ロームシアター(1月~2月) ◆グッズ・クリアファイル766セット、手ぬぐい206セット(「京まふ」ブースで販売(約63万円)) ◆アニメCM・四条駅、映画館、区役所、YouTube等で放映 ◆「京まふ」との連携 ・立命館大学事業連携プロジェクトとのコラボレーションの実施 ◆ウォーキングコース紹介アプリ「いしぶみアプリ」との連携 ・第2弾 4/11~ ・第3弾 5/25~ ◆京都検定とのコラボレーションポスターの展開 	<ul style="list-style-type: none"> ◆PRポスター・夏やし地下鉄(7~9月) ◆グッズ・クリアファイル700セット ・アクリルキーホルダー650個 ・缶バッジ400セット (「京まふ」ブースで販売(約106万円)) ◆京まふ・オープンステージ2回 観客700人 ・ライトノベルサイン会 参加者数200人 ・フィギュアの展示 ◆4コママンガ等を活用したPR展開 ・ポスター展示 ・leafに掲載 ・Hello KYOTOアプリに掲載 ◆他事業者との連携 ・池坊「春のいけばな展」との連携 ・京都検定とのコラボレーションポスターの展開 ・アニメイトとの連携によるスタンブラリーの実施 ・「ステーションメモリーズ!」との連携によるスタンブラリーの実施 					

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
32	京都エリアウォーク 京都ぐるりの実施	賑わいまちづくりコンソーシアムとの連携により、地下鉄の増容と地下鉄駅周辺地域の魅力の発信を目的として、駅を基点としたウォーキングツアーを実施する。	イベント開催のサポート(集合場所の提供等), PRの推進	イベント開催のサポート(集合場所の提供等), PRの推進	イベント開催のサポート(集合場所の提供等), PRの推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			実施回数:72回 参加者数:728人	実施回数:48回 参加者数:793人	実施回数:24回 参加者数:422人 (9月末時点)					
33	地下鉄駅構内の案内サインの充実	駅構内の案内サインについて、25年度に作成したサインマニュアルを基に見やすく統一された標示のものにしていく。	サインマニュアルに基づき全駅の案内サインを更新				以後、必要に応じて適宜改善	利便性向上	○	
			地下鉄駅ホーム階のエレベーター等の案内表示を全駅で増設							
			東西線全駅の列車案内表示を刷新							
				4箇国語表示機能付きの券売機、精算機を全駅に導入						
			実績							
			・地下鉄駅構内の案内サインを更新(3駅実施) ・地下鉄駅ホーム階のエレベーター等の案内表示を増設(全駅実施) ・東西線の列車案内表示を刷新(3駅実施)	・地下鉄駅構内の案内サインを更新(3駅実施) ・東西線の列車案内表示を刷新(5駅実施) ・4箇国語表示機能付きの券売機、精算機の導入(10駅実施)						
34	地上部における地下鉄案内サインの充実	地下鉄各駅の出入口地上部に設置している駅名標を、お客様にわかりやすい表示となるよう、ピクトグラム(絵文字等の視覚記号)を用いた表示に刷新する。また、駅名標以外にも、駅への誘導案内の充実にも努める。	・出入口地上部の駅名標を地下鉄のピクトグラムを用いた表示に刷新(東西線)	・出入口地上部の駅名標を地下鉄のピクトグラムを用いた表示に刷新(烏丸線)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	利便性向上	○	
			実績							
			・出入口地上部の駅名標を地下鉄のピクトグラムを用いた表示に刷新(東西線全駅実施)	・出入口地上部の駅名標を地下鉄のピクトグラムを用いた表示に刷新(烏丸線)						

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
35	駅ナカアートプロジェクトの推進	地下鉄駅周辺の大学及び協賛企業との連携により、駅に学生によるアート作品を装飾することにより、地下鉄の増客及びPR、イメージアップを図る。	・9大学9駅で作品を展開 ・協賛企業確保の推進	・9大学9駅で作品を展開 ・協賛企業確保の推進	・大谷大学に新たに参加してもらい、10大学9駅で作品を展開 ・協賛企業確保の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			・9大学と海外からの特別参加大学1校(仏ボザール校)の計10校により10駅で実施 ・7企業からの協賛を確保 ・琳派400年記念祭委員会と連携 ・ゼスト御池を会場として感謝状贈呈とジョイントミーティング開催	・9大学により9駅で実施 ・7企業からの協賛を確保 ・京都商工会議所が後援 ・ゼスト御池を会場として感謝状贈呈とジョイントミーティング開催						
36	地下鉄のダイヤ見直しの検討	地下鉄の更なる利用促進と利便性向上のため、終電の延長も含め、ダイヤの見直しを検討する。	増客に向けた地下鉄ダイヤ見直しの検討					利便性向上	○	
			実績							
			9月21日 烏丸線ダイヤ改正実施(混雑緩和の為、午前時間帯に一往復増便)	10月2日～ 烏丸線・東西線金曜日に30分の終電延長を実施						
37	地下鉄における通信環境の整備	地下鉄全駅にインターネット無料接続拠点である「KYOTO.WIFI」を整備するとともに、全線の走行中の地下鉄車内において、携帯電話による通信を可能とすることにより、お客様の利便性の向上を図る。	全駅に「KYOTO.WIFI」を整備					利便性向上	□	
			走行中の車内における通信環境の整備							
			実績							
			・全駅に「KYOTO.WIFI」を整備 ・全線の走行中の車内で携帯電話による通信を可能にする整備を完了							

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
38	地下鉄駅トイレの美化推進	お客様にトイレを気持ちよくご利用いただくために、北大路～京都間のトイレの改修を進めるとともに、全駅のトイレの悪臭の原因調査を行い、便器の取り換えや床洗浄・コーティング等のオーバーホールを実施する。	北大路駅、今出川駅のトイレの改修		取組の推進 (京都駅、五条駅、鞍馬口駅)			利便性向上	○	
			トイレのオーバーホールの実施							
			実績							
			・北大路駅・今出川駅のトイレ改修の実施設計を完了し、北大路駅については工事契約を締結 ・上記2駅を除く、烏丸線・東西線全駅でトイレのオーバーホールを完了	・北大路駅・今出川駅のトイレ改修工事を完了	・京都駅ホーム階トイレ改修工事に着手 ・五条駅トイレ改修工事実施設計に着手					
39	「地下鉄道しるべ」事業の推進	駅までの経路等を示す案内表示の看板やパネル、ラミネートシート等を交通局が作成し、駅周辺の商店等にご協力いただき無償で設置・掲出する。	・東山駅の案内サインを地元商店街の協力のもと設置	・蹴上駅、二条城前駅、烏丸御池駅、東山駅の周辺施設に展開・設置	取組の推進 (28年度は3駅10箇所程度を予定)			利便性向上	○	
			・東山駅の案内サインを神宮道商店街の3店舗に設置	・二条城前駅2箇所、東山駅4箇所、烏丸御池駅5箇所、蹴上駅6箇所の計17箇所に設置		・山科駅周辺の4箇所に設置(9月)				
			実績							
				・全駅の全改集札機をICカード対応化 ・ICカードチャージ機能付きの券売機、精算機を全駅に導入						
40	地下鉄駅におけるIC対応化の促進	改集札機、券売機及び精算機の更新に合わせてICカード対応を進め、ICカード利用環境の向上を図る。			・IC対応機能付きインターホンを、全無人改札口に設置			利便性向上	○	
				・改集札機18台をIC対応機に更新 ・烏丸線、東西線各5駅の券売機、精算機をICカードチャージ対応機に更新	・改集札機4台(蹴上駅)をIC対応機に更新					
			実績							

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
41	市バスの系統・ダイヤの編成と発信	<p>地下鉄をはじめ民間交通機関とのネットワークを活かしたお客様の増加につながる系統・ダイヤを編成する。利用者からの目線で分かりやすさを追求した路線やダイヤの実施に努める。</p>	<p>【平成26年10月】 市バス路線・ダイヤの一部変更 ・「イオンモール京都桂川」のオープンに合わせて、特西4号系統の新設(土曜・休日の運行)及び69号系統の経路変更を行うことで、JR桂川駅へのバス路線を強化 ・平日の昼間時間帯の「バスの駅」四条河原町に、17号系統が新たに停車することで、高島屋をはじめとする商業施設への買い物利用の利便性を向上</p>	<p>【平成27年9月】 市バス路線・ダイヤの一部変更 ・岡崎エリアをきめ細かく循環し、エリア内の移動はもろろん、地下鉄や京阪電車の鉄道駅、市内中心部河原町通とを結ぶ「京都岡崎ループ」を新設 ・5号系統の運行回数の半数を新たに設定する「五条通経由」に変更し、四条通経由と交互に運行 ・51号系統について、四条河原町から四条烏丸経由としていた運行を、四条京阪・三条京阪経由に変更</p>	<p>【平成28年3月】 市バス新ダイヤの実施 ・地域主体のモビリティ・マネジメントと一体となった路線・ダイヤの拡充を実施 ・京都駅からのシャトルバスをはじめ、地下鉄、JR、阪急、京阪等の鉄道駅から京都鉄道博物館が開業する梅小路公園へのアクセスを強化 ・京都駅南口駅前広場の整備にあわせて、京都駅八条口への乗入れを、3系統から7系統に拡大し、あわせて伏見稲荷大社や東寺、東福寺など市南部の主要観光スポットとを結ぶ路線を増強</p>	増容に向けた系統・ダイヤの編成と発信	増容に向けた系統・ダイヤの編成と発信	増容に向けた系統・ダイヤの編成と発信	利便性向上	○
			<p>【平成27年3月】 市バス新ダイヤの実施 ・主要系統や直行系統、観光地へのアクセス系統の増便 ・阪急西京極駅前広場の整備に合わせて、84号系統と特27号系統を同駅前広場に乗り入れる経路に変更 ・23時台の201号系統について、二条駅・四條大宮での乗継利便性を向上 ・京都学園大学太秦キャンパス開校にあわせて、11号系統、特71号系統を京都学園大学前経由に変更</p>	実績						
			市バスの平均旅客数(1日) 34万1千人	市バスの平均旅客数(1日) 35万1千人	市バスの平均旅客数見込(1日) 35万3千人					
42	観光地向け臨時急行系統の運行	<p>京都駅をはじめとした主要地下鉄駅と観光地を結ぶ臨時急行系統を運行するとともに、京の七夕等のイベント開催に伴い臨時増発や臨時系統を運行し、地下鉄から市内主要観光地へのアクセス向上を図る。</p>	<p>観光シーズンを中心に、臨時急行バスを運行する。また、京の七夕、京都岡崎ハレ舞台及び東山花灯路等のイベント開催に伴い、臨時増発や臨時系統を運行する。</p>	<p>観光シーズンを中心に、臨時急行バスを運行する。また、京の七夕、京都岡崎ハレ舞台及び東山花灯路等のイベント開催に伴い、臨時増発や臨時系統を運行する。</p>	<p>観光シーズンを中心に、臨時急行バスを運行する。また、京の七夕、京都岡崎ハレ舞台及び東山花灯路等のイベント開催に伴い、臨時増発や臨時系統を運行する。</p>	<p>観光シーズンを中心に、臨時急行バスを運行する。また、京の七夕等のイベント開催に伴い、臨時増発や臨時系統を運行する。</p>	<p>観光シーズンを中心に、臨時急行バスを運行する。また、京の七夕等のイベント開催に伴い、臨時増発や臨時系統を運行する。</p>	利便性向上・臨時バスの運行	○	
			実績							
			市バスの平均旅客数(1日) 34万1千人	市バスの平均旅客数(1日) 35万1千人	市バスの平均旅客数見込(1日) 35万3千人					

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
43	バス待ち環境の向上	インターネット環境を活用した「モニター型」バス接近表示器の導入、バスの駅整備、広告付き上屋の設置などバス待ち環境の向上に努める。	・バス接近表示器の整備 60基 ・バスの駅の整備 5箇所程度 ・広告付き上屋 50箇所 ・バス停案内表示の充実	・バス接近表示器の整備 80基 ・バスの駅の整備 10箇所程度 ・広告付き上屋 50箇所 ・簡易ソーラー式照明器具 30箇所	・バス停上屋の整備 25基 ・バス接近表示器の整備 80基 ・バスの駅の整備 10箇所以上 ・ソーラー式バス停照明の設置 100基				利便性向上	○
			実績							
			・バス接近表示器 64箇所整備 ・バスの駅 12箇所設置 ・広告付き上屋 49箇所設置 ・バス停案内表示の充実(北大路バスターミナル)	・バス接近表示器 84箇所整備 ・バスの駅 20箇所設置 ・広告付き上屋 21箇所設置 ・簡易ソーラー式照明器具 30箇所設置	・バス停上屋 10箇所設置 ・バス接近表示器 3箇所整備 ・バスの駅 4箇所設置 ・ソーラー式バス停照明 4箇所設置					
44	スタンプラリーなどのイベントの実施	市バス利用によるお出かけの機会を提供するスタンプラリーなどのイベントを実施する。	・「岡崎・東山・梅小路エクスプレス」利用促進の取組として京都市立芸術大学、京都水族館と連携したキーワードラリーの実施(10月～)	・京都岡崎ループで巡ろう！キーワードラリーの実施(2月～3月) ・京都水族館、京都市立芸術大学と連携し東山花灯路開催にあわせた「ベタベタスタンプラリー」の実施(3月)	・京都水族館、京都市立芸術大学と連携し京の七夕2016開催にあわせた「すいすいスタンプラリー」の実施(8月) ・岡崎エリアを巡るクイズラリーの実施(8月～9月)		スタンプラリーなどの実施	スタンプラリーなどの実施	イベント	○
			実績							
			・参加者数 660人 ・Wチャンス応募者数573人	キーワードラリー ・参加者数 566人 スタンプラリー ・参加者数 906人 ・Wチャンス応募者数745人	すいすいスタンプラリー ・参加者数 1074人 ・Wチャンス応募者数934人 岡崎クイズラリー ・参加者数734人					
45	「京ちゃんバス」の運行	公共交通100周年を記念して製作したデコレーションバス5両及び観光系統である洛バス4両の車内に、市内小学生の絵画等を掲出して「京ちゃんバス」として運行し、子どもたちとご家族の利用促進を図る。	掲出作品を年3回変更	掲出作品を年3回変更	掲出作品を年3回変更		「京ちゃんバス」の運行	「京ちゃんバス」の運行	イベント 広報・PR	○
			実績							
			93校792枚の作品を掲出	52校731枚の作品を掲出	33校450枚の作品を掲出(～9月)					

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
46	地域、集客施設等との連携事業	地域、集客施設等と連携して公共交通の利用促進をPRし、増客を図る。	地域、集客施設等と連携し、公共交通利用促進施策を実施	地域、集客施設等と連携し、公共交通利用促進施策を実施	地域、集客施設等と連携し、公共交通利用促進施策を実施	地域、集客施設等と連携し、公共交通利用促進施策を実施	地域、集客施設等と連携し、公共交通利用促進施策を実施	イベント 公共交通への転換	○	
			実績							
			【高島屋京都店・京都マルイとのecoスタンブキャンペーン】 計5回 【四条河原町フェスタにおける公共交通利用促進キャンペーン】 計4回 【大丸京都店、嵐電との連携による「乗車券付きお買い物券」の発売】 発売期間：平成27年10月14日～11月10日 販売枚数86枚	【高島屋京都店・京都マルイとのecoスタンブキャンペーン】 計4回 【大丸京都店、嵐電との連携による「乗車券付きお買い物券」の発売】 発売期間：平成27年10月14日～11月10日 販売枚数86枚	【高島屋京都店・京都マルイとのecoスタンブキャンペーン】 計3回 【ファインディング・ドリー公開記念キーワードラリー】 平成28年7月16日～7月31日					
47	市バスアートプロジェクトの推進	市内の芸術系を専攻する大学生にご協力いただき、アート在市バスに展開することにより、市バスのPR、イメージアップ等を図るとともに利用促進を試みる。	イベントの実施	イベントの実施	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			駅ナカアートプロジェクトと連携し、市バス1両の車内にアートを展開 3月7日市役所前にてお披露目を実施。 運行期間(3月8日～5月31日)	駅ナカアートプロジェクトと連携し、市バス1両の車体にアートを展開 3月23日市役所前にてお披露目を実施。 運行期間(3月24日～5月31日)						
48	大学との連携による市バス利用促進策の推進	大学との連携により、市バスの利用促進及び地域の活性化を促進する。		・京都産業大学生とのPBL科目における連携取組「市バスで巡ろう！スタンプラリー」の実施(8月8日、9日)	・京都産業大学生とのPBL科目における連携取組「人生〇度目の修学旅行in京都伏見」の実施(7月10日)	取組の推進	取組の推進	イベント、 公共交通への転換	○	
			実績							
				参加者数 193人	参加者数 43人					
49	京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”事業	京都観光の起点として最も多くのお客様のご利用がある京都駅前バスのりばや主要観光地最寄りのバス停等で、市バス・地下鉄をはじめとする交通案内はもとより、沿線の観光情報等をお客様に親切丁寧案内するとともに、市バス・地下鉄のPR活動を行う市バス“おもてなしコンシェルジュ”を配置する。		10月より、繁忙期間中、京都駅前バスのりばや主要観光地最寄りの市バス停留所で案内活動を実施	取組の推進	取組の推進	取組の推進	利便性向上	○	
			実績							
				活動時間数 (年) 約320時間						

【交通局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
50	海外からのお客様へのサービス向上	急増する外国人観光客が、市バス・地下鉄を御利用される際の利便性を向上させるため、コミュニケーションツールや観光マップの充実等に取り組む。		<ul style="list-style-type: none"> ・市バス観光マップ「バスナビ」(中国語・韓国語版)の作成 ・4か国語対応コミュニケーションボードの配備 ・ゴールデンウィークに、市バス車内(100号系統)において、多言語指差し会話シートを試行実施 ・自動翻訳機能付きタブレット端末を全案内所に配備(11月17日～) ・市バス1日乗車券、地下鉄1Dayチケットの3箇国語表記(日・英・中) 	<ul style="list-style-type: none"> ・4か国語表示機能付き券売機、精算機の導入(27～28年で全駅に設置) ・スマートフォン対応ホームページ(4箇国語対応)の開設 	取組の推進	取組の推進	利便性向上	○	
			実績							
				<ul style="list-style-type: none"> ・市バス全車両にはコミュニケーション支援ボードを配備し、地下鉄全駅には自動翻訳付タブレットを配備した。 						

【上下水道局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	鳥羽水環境保全センター一般公開	施設の公開等の際に市バス・地下鉄の利用をPR(チラシ等での案内)する。また、鳥羽水環境保全センター一般公開の際は、地下鉄の駅(京都駅及び竹田駅)から市バスによる送迎を行うとともに、施設内の循環バスについても市バスを運行する。	4月26日(土)～29日(火)実施	4月25日(土)～28日(火)実施	4月28日(木)～5月2日(月)実施	取組の推進	取組の推進	イベント・臨時バスの運行	○	
			実績							
			来場者数 29,237人	来場者数 32,773人	来場者数 33,278人					
2	蹴上浄水場一般公開	施設の公開等の際に市バス・地下鉄の利用をPR(チラシ等での案内)する。	5月3日(土)～6日(火・祝)実施	5月3日(日)～6日(水・祝)実施	5月4日(水・祝)～5月8日(日)	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			来場者数 28,297人	来場者数 38,709人	来場者数 29,069人					
3	一般公開における「歩くまち・京都デー」の設置	鳥羽水環境保全センター一般公開及び蹴上浄水場一般公開の開催期間中、各1日を「歩くまち・京都デー」と定め、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の趣旨を知っていただき、公共交通の利用を呼び掛けるブース等を出展する。			5月1日(日)、5月7日(土)	取組の推進	取組の推進	イベント・広報・PR	○	
			実績							
					来場者数 合計13,535人					
4	地下鉄・市バスで巡る春の水道・下水道スタンプラリー	地下鉄・市バスの利用を促進するため、琵琶湖疏水記念館、鳥羽水環境保全センター一般公開及び蹴上浄水場一般公開、並びに各会場最寄りの地下鉄駅をスタンプの設置場所とするスタンプラリーを実施する。			3月26日(土)～5月8日(日)	取組の推進	取組の推進	特典付与	○	
			実績							
					参加者数 2,000人					
5	上下水道モニター	上下水道モニター事業の一環として実施する意識調査(アンケート)やモニターレポートの提出に対する協力の謝礼として、トラフィカ京カードをお渡しする。また、施設見学会、意見交換会等4回の活動について、公共交通機関を利用して来場するよう、モニターに周知する。	施設見学会、意見交換会等4回の活動を実施	施設見学会、意見交換会等4回の活動を実施	施設見学会、意見交換会等4回の活動を実施	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等・広報・PR	○	
			実績							
			モニター数30人	モニター数30人	モニター数30人					
6	地下鉄広告の活用	上下水道事業をPRするため、地下鉄駅構内及び車両を活用した広告事業を展開している。	横枠広告、指詰め広告、柱広告(烏丸御池駅)掲載期間:4～9月	横枠広告、指詰め広告、柱広告(烏丸御池駅)掲載期間:4～9月	横枠広告、指詰め広告、柱広告(烏丸御池駅)掲載予定期間:4～9月	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
7	トラフィカ京カードによるPR	上下水道事業をPRするトラフィカ京カードを作成する。	・「守る。Protect our kyoto」(「下水道事業プロジェクトチーム」によるデザイン)発売:9月20日枚数:1万枚	・「琵琶湖疏水竣工125周年記念」発売:11月21日枚数:1万枚	・上下水道局の事業を紹介するトラフィカ京カードを1万枚発行予定	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			10,000枚	10,000枚						

【上下水道局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
8	琵琶湖疏水記念館	琵琶湖疏水記念館のホームページで地下鉄・市バスでの来館方法を案内するとともに、交通局のホームページへのリンクを貼り付けている。また、琵琶湖疏水記念館においては最寄りの地下鉄駅・バス停への案内図を掲出している。	琵琶湖疏水竣工125周年記念パネル展の実施(3月27日～)	琵琶湖疏水竣工125周年記念パネル展の実施(3月27日～12月27日) 琵琶湖疏水竣工125周年記念特別展の実施(10月6日～12月13日)	蹴上発電所IEEマイルストーン認定記念の特別展を実施。(9月13日～12月4日)	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			入館者数 73,390人	入館者数 124,066人	入館者数 74,141人 (9月末時点)					
9	浄水場施設見学会等の実施	参加者に、公共交通機関を利用して来場するよう周知する。また、浄水場の施設見学会の際には、公共交通機関を使って来場していただくよう、周知する。	夏休み親子教室の実施(8月4日) 浄水場施設見学会(7月27日、10月4日、11月9日)	「蹴上浄水場で自由研究」の実施(7月26日) 浄水場施設見学会の実施(11月7日及び12月6日)	「蹴上浄水場で自由研究」の実施(7月24日) 浄水場施設見学会の実施(9月24日及び10月30日実施(予定))	取組の推進	取組の推進	イベント 広報・PR	○	
			実績							
			参加者数 合計308人	参加者数 合計159人	参加者数 133人 (9月末時点)					
10	疏水ウォーク	疏水沿いを歩くことで、琵琶湖疏水や水道事業についての理解を深めていただく。会場の告知の際に地下鉄・市バスを利用するよう周知する。	11月23日(日)	11月22日(日)	11月23日(水・祝)	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
			参加者数 283人	参加者数 388人						
11	市バスのラッピング広告	道路上の車、歩行者等に上下水道事業をPRするため、市バスラッピング広告を展開する。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	未定	未定	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			広告の掲載台数 2台	広告の掲載台数 2台	広告の掲載台数 2台					
12	おいしい！大好き！京(みやこ)の水キャンペーン	水道水のおいしさとかオリティの高さ(環境にやさしい、安全・安心、低価格)を多くの方に知っていただき、その大切さを再認識していただく双方向型のキャンペーンを展開する。キャンペーン場所の告知の際に地下鉄・市バスを利用するよう周知する。	おいしい！大好き！京(みやこ)の水宣言の受付 京(みやこ)の水カフェ(龍谷大学)の実施(7月) 京(みやこ)の水・利き水大作戦の実施(7月、8月) 京(みやこ)の水・利き水大作戦(琵琶湖疏水記念館、水カフェ、各最寄り駅を巡るキーワードラリー)の実施	おいしい！大好き！京(みやこ)の水宣言の受付 京(みやこ)の水カフェ in Zooの実施(9月) 京(みやこ)の水・利き水大作戦の実施(7月、8月)	取組の推進	取組の推進	イベント 広報・PR 特典付与	○		
			実績							
			水カフェ来店者数3,461人 利き水来場者数9,722人	水カフェ来店者数7,781人 利き水来場者数7,236人 サマラリー参加者数121人	水カフェ来店者数6,035人 利き水来場者数10,422人					

【上下水道局】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
13	京都駅地下通路への自動販売機の設置	地下鉄京都駅構内(連絡通路)に、災害用備蓄飲料水「京の水道 疏水物語」を販売する自動販売機を設置している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			増客効果をより具体的に表す実績数字は無し。	同左	同左					
14	ミスト装置の設置	交通局及び産業観光局と共同で、ドライ型ミスト装置を京都駅前市バスのりば及び四条通バス停(四条高倉・四条河原町)に設置し、バス待ち環境の向上に寄与する。	設置期間: 6月20日～9月30日	設置期間: 6月22日～9月30日	取組の推進 設置期間: 6月24日～9月30日	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			京都駅「京の駅ミスト」の実施	京都駅「京の駅ミスト」の実施	京都駅「京の駅ミスト」の実施 四条通「京のまちなかミスト」の実施(新規)					
15	職員への市バス・地下鉄利用促進に向けた取組	上下水道局職員を対象に市バス・地下鉄利用の促進を周知・PRする。庁内誌に、「若手職員増客チーム」に参加している職員による記事を掲載している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	職員等利用	○	
			実績							
			—	掲載済み	掲載予定					
16	所管施設におけるPR	営業所住所案内に最寄りの地下鉄駅・バス停から徒歩〇分といった記載をすることで、公共交通機関の利用を促進する。具体的には、上下水道局ホームページの営業所一覧において、最寄りの地下鉄駅・バス停からの所要時間を記載している。	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			—	—	—					
17	「バスの駅」設置事業	「バスの駅」整備事業は、地域、企業、関係機関と交通局との協働によって、バス待ち環境の向上に取り組んでいく事業である。基本コンセプトとしては、主要バス停にふさわしいバス待ち環境の創生・上下水道局事業の効果的な情報発信と事業PR及び交通事業者の連携による利便性の向上としている。	取組の推進	「東山安井」バスの駅 実施 未定	未定	未定	未定	広報・PR等	○	
			実績							
			「東山安井」バスの駅 実施	—						
18	「琵琶湖疏水通船復活」試行事業	琵琶湖疏水の通船の復活により、沿線の天津・山科・岡崎地域の活性化に寄与する。乗下船場を天津・山科・蹴上に設置し、市バス・地下鉄を含めた公共交通機関の利用をPRする。	琵琶湖疏水船下り実行委員会設置	試行事業実施 春: 3月28日～5月6日 秋: 11月14日～29日	試行事業実施 春: 4月2日～8日 秋: 11月19日～27日	未定	未定	イベント 広報・PR	○	
			実績							
			—	乗船者数 春: 1,231人 秋: 510人	乗船者数 春: 245人					
19	日本水道協会平成28年度全国会議におけるコンベンションバスの販売	平成28年11月9日から11日まで京都市で開催される日本水道協会平成28年度全国会議において、1日1枚700円で地下鉄・市バスが何度でも利用できるコンベンションバスを販売する。			11月9日(水), 10日(木), 11日(金)			イベント・ 広報・PR	○	☆
			実績							
					約300枚					

【教育委員会】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
1	教育施設への来館者に対する公共交通機関の利用啓発	施設の待合室等への地下鉄及び市バスの時刻表の掲示や、教育施設での各種講座等への参加者に対し、来場の際には公共交通機関を利用いただくよう、参加案内チラシ等に記載するなど、市バス・地下鉄の利用促進を促す。また、交通局主催のスタンブラーポイントも活用している。	取組の推進 (図書館、科学センター、こどもみらい館、学校歴史博物館)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
			来場者数 4,688,123人	来場者数 4,608,742人	来場者数 2,583,645人					
2	「青少年科学センター」の取組等	青少年科学センターでは、展示場やプラネタリウム等を一般開放しており、特に集客の見込める夏休み等には無休開館するとともに、特別展示等のイベントポスターを地下鉄駅構内へ掲示している。また、京都修学旅行パスポートやスルッとKANSAI3dayチケット等の提示で入場料を減免している。	取組の推進 以下のチケットの提示で入場料の削減を実施 (キャンパス文化、えらべる倶楽部、スルッとKANSAI、京都観光1日・2日乗車券、博物館ハンドブック、京都修学旅行パスポート)	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント特典付与	○	
			実績							
			781人を減額	746人を減額	398人を減額					
3	「リユース絵本提供事業」の実施、図書返却ポストの設置	リユースの絵本、児童書を親子で自由に選んで持ち帰ることのできる「はぐみ文庫」を、地下鉄駅近辺で開催。また、市図書館の図書返却ポストを地下鉄駅に設置(市役所前駅(21年度)、北大路駅(22年度))	「地下鉄子ども文庫」の実施。 返却ポストの取組の推進	「リユース絵本提供事業」の実施。 返却ポストの取組の推進	返却ポストの取組の推進	返却ポストの取組の推進	返却ポストの取組の推進	施設の整備・誘致イベント	○	
			実績							
			・地下鉄子ども文庫来場者数 147人 ・地下鉄返却ポスト返却数 71,461冊	・地下鉄子ども文庫来場者数 1,449人 ・地下鉄返却ポスト返却数 68,571冊						
4	コンサート・展覧会等の実施	京都市少年合唱団演奏会、不登校フォーラム、みらいっこまつり等の開催とともに、地下鉄二条城前駅に隣接する京都市立京都堀川音楽高校の音楽ホールやギャラリー等の音楽・美術活動の中核施設において、コンサートや展覧会を実施する(市民も利用可能)。	取組の推進 (音楽ホール・ギャラリーの活用等)	取組の推進 (音楽ホール・ギャラリーの活用等)	取組の推進 (音楽ホール・ギャラリーの活用等)	取組の推進 (音楽ホール・ギャラリーの活用等)	取組の推進 (音楽ホール・ギャラリーの活用等)	イベント	○	
			実績							
			36,003人	31,202人	21,214人					

【教育委員会】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
5	教育委員会主催事業等における公共交通機関の利用促進	教育委員会主催事業等に参加する学校が、児童生徒の移動手段として、民間貸切バス等を利用しているものについて、可能なものから順次、市バス・地下鉄利用に切り替えていく。 ・小学生のための音楽鑑賞教室 ・青少年科学センター学習 ・生き方探究館での学習 など	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	公共交通への転換	○	
			実績							
			○科学センター利用者数 36,683人 (市バス・地下鉄利用者2,945人) ○生き方探究館来館者数 25,385人 (市バス・地下鉄利用者8,361人) ○京都コンサートホールでのイベント参加者数 11,294人 (市バス・地下鉄利用者 10,525人) 合計73,362人	○学校指導課(2/8,2/9,2/16～2/18小学校のための音楽鑑賞教室開催市バス・地下鉄利用者10,792人) ○生き方探究館来館者数 25,521人 (市バス・地下鉄利用者 10,953人) ○科学センター学習利用者数 34,116人 (市バス・地下鉄利用者数 7,396人) 合計70,429人	○生き方探究館来館者数 26,816人 (市バス・地下鉄利用者 11,470人) ○科学センター学習利用者数 15,710人 (市バス・地下鉄利用者数 1,146人)					
6	審議会委員やボランティア活動、ジュニア京都観光大使、各種大会の役員謝礼	教育委員会所管の各種審議会や各市立学校・幼稚園、教育施設等でのボランティア活動、各種大会役員への謝礼について、可能なものから、「トラフィカ京カード」に切り替えていく。 ・ジュニア京都観光大使の活動謝礼 ・土曜塾運営会議委員への謝礼 ・こどもみらい館でのボランティア活動謝礼 ・企画推進会議委員への謝礼 等	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
			○科学センター706枚 ○こどもみらい館 4,523枚 ○学校歴史博物館 330枚 ○体育健康教育室大文字駅伝 1,006枚 ○小学校スポーツ連盟 421枚 ○中学校体育連盟 2,000枚 合計8,986枚 ○総合育成支援課 11枚	○生涯学習部・土曜塾運営会議委員6枚 ○科学センター611枚 ○こどもみらい館 4,270枚 ○学校歴史博物館 847枚 ○体育健康教育室・大文字駅伝 930枚 ・小学校スポーツ連盟 396枚 ・中学校体育連盟 2,000枚 合計6,917枚 ○総合育成支援課 14枚 ・京都駅にて神戸観光PR(4月) ・京阪神の大規模イベントを3都市にて共同PR(7月、12月) ・三宮駅にて京都観光PR(10月)	○科学センター307枚 ○学校歴史博物館 408枚 ○こどもみらい館2,010枚 ○体育健康教育室 ・大文字駅伝実績なし ・小学校スポーツ連盟 240枚 ・中学校体育連盟 2,000枚					

【教育委員会】

番号	事業項目		年次計画					類型	取組状況	新規
	事業名	事業概要	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
7	家庭教育新聞「あしたのために」の懸賞	全市立幼稚園、小・中・高・総合支援学校の保護者、市内の私立・国立幼稚園・小・中学校の保護者、市内の全保育所(園)の保護者、図書館、区役所等市関係施設を対象に配布する家庭教育新聞「あしたのために」(年4回発行。各号17万部)におけるクイズ等の応募の懸賞として「トラフィカ京カード(1000円相当)」を進呈。	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行(4, 7, 10, 1月号)	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
8	情報誌「GoGo土曜塾」での取組	私立・国立を含む市内小中学生と全保護者に学校を通じて配布するとともに、市役所、区役所・支所、図書館、郵便局等で配布している情報誌「GoGo土曜塾」(年8回発行。各号約13万部)に掲載しているクイズの懸賞を「トラフィカ京カード」(1000円相当)とするほか、エコサマー等市バス・地下鉄の利用促進につながる取組を掲載。	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	広報・PR 乗車券販売・広告収入	○	
			実績							
9	教育委員会主催事業等における公共交通機関の利用啓発	教育委員会主催事業等の参加者に対し、来場の際には公共交通機関を利用いただくよう、参加案内チラシ等に記載するなど、市バス・地下鉄の利用促進を図る。 ・人づくりフォーラム ・成人の日記念式典 ・PTA感謝の集い ・PTAフェスティバル など	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	広報・PR	○	
			実績							
10	地下鉄駅における生徒等の絵画展の開催	教育委員会主催事業等における生徒等の絵画展の全部または一部を地下鉄駅で展示し、子ども、保護者の地下鉄利用の促進を図る。	取組の推進 銅駝美術工芸高校生徒の作品展(蹴上駅)を実施	取組の推進	取組の推進	取組の推進	取組の推進	イベント	○	
			実績							
11	情報誌「人づくりニュース」の懸賞	人づくり21世紀委員会に参画する団体や市内の幼稚園、保育所、小・中・高・総合支援学校の保護者等を対象に配布する「人づくりニュース」(年3回発行。各号18万部)における感想応募の懸賞を「トラフィカ京カード」(1000円相当)とする。	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	懸賞として「トラフィカ京カード」の発行	乗車券販売・広告収入等	○	
			実績							
12	みやこ子ども土曜塾10周年記念事業	平成26年10月にみやこ子ども土曜塾10周年を迎えるため、10周年記念フェスティバルをゼスト御池にて開催する。また、10周年記念オリジナルトラフィカ京カードを発行する。そのデザインを公募し、最優秀賞及び優秀賞の受賞者にはカードを進呈する。	イベントの実施	10周年記念事業のため、平成27年度以降の実施				イベント 特典付与	□	
			実績							
13	地下鉄全駅構内等における生徒デザインポスターの掲示	京都市動物園グランドオープン記念事業の一環として、京都市立銅駝美術工芸高等学校デザイン専攻の生徒が月替わりに12種類の動物ポスターをデザインし、動物園、地下鉄全駅構内及び区役所・支所等に掲示。動物園のPRとともに、地下鉄・バスの利用を促進する。			取組の推進(平成28年4月～平成29年3月)			広報・PR	○	☆
			実績							